

知多市の未来を考える市民アンケート調査
調査結果報告書

令和7年3月

知 多 市

目次

1 調査概要.....	1
2 集計結果.....	2
(1)回答種別.....	2
(2)回答者の属性について.....	2
(3)日常生活の行動について.....	7
(4)市の取組や状況に対する考えについて.....	18
(5)市のデジタル化に対して感じていることについて.....	39
(6)市全般について.....	50
3 参考資料【調査票】.....	72

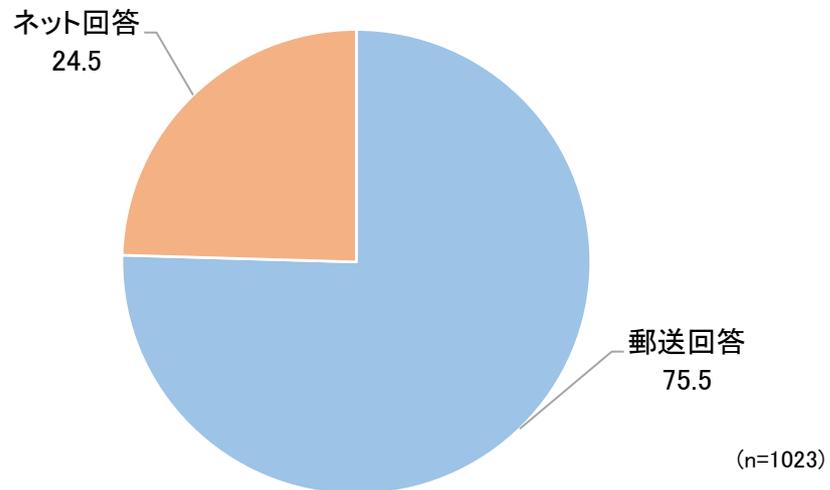
1 調査概要

調査目的	第6次知多市総合計画(計画期間令和2年～令和11年)の中間評価を行うもの
調査対象	市内在住の16歳以上の方
抽出方法及び条件	住民票から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送にて配布し、郵送又はオンラインにより回収
実施時期	令和6年6月27日(発送日)から7月17日
発送数	3,000件
回収数	1,023件(うちオンライン回答251件)
回収率	34.1%
調査票	A4版8ページ、無記名式、全20問(枝問を除く)
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 回答者の属性について(8問)・ 日常生活の行動について(3問)・ 市の取組や状況に対する考えについて(1問)・ 市のデジタル化に対して感じていることについて(6問)・ 市全般について(2問)
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 集計は無回答を除いた回答数を母数とした各選択肢の割合を算出している。・ 回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、各選択肢の割合の合計が100%にならない場合がある。・ 不明(無回答)については、基本的にコメントの対象外とした。・ 各設問に示した()内の表記について、SA は単一回答の設問、MA は複数回答の設問、FA は自由回答であることを示す。・ グラフ下もしくは右のnは回答者数を示す。・ 性別クロス集計結果では、「回答しない(0.2%)」を分析の対象外とした。

2 集計結果

(1) 回答種別

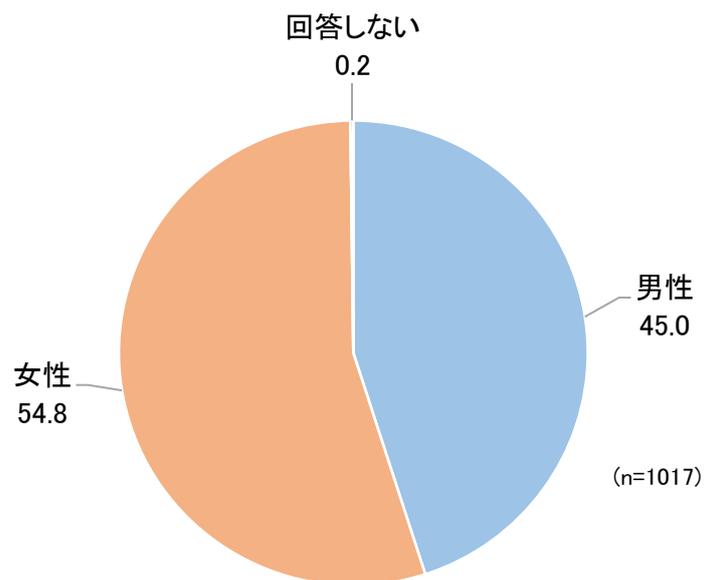
「郵送回答」の割合が75.5%である。次いで、「ネット回答(24.5%)」である。



(2) 回答者の属性について

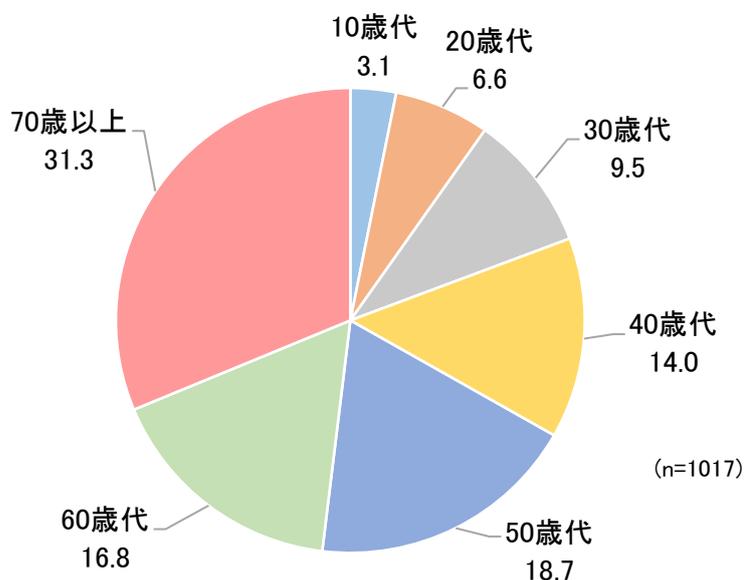
問1. 性別 (SA)

「女性」の割合が高く54.8%である。次いで、「男性(45.0%)」、「回答しない(0.2%)」である。



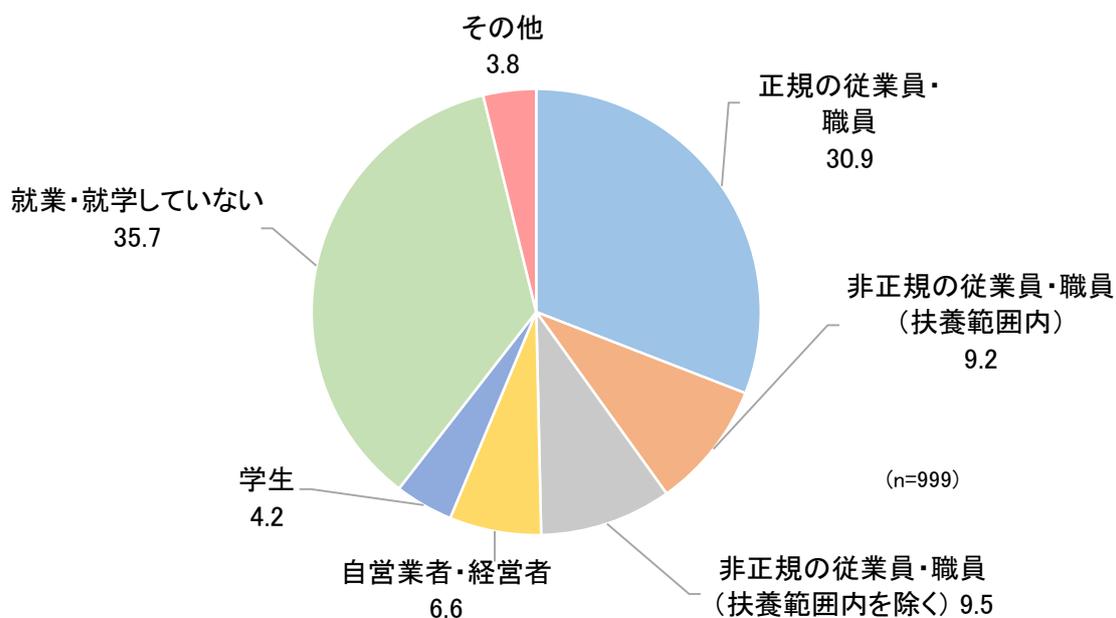
問2. 年齢 (SA)

「70歳以上」の割合が最も高く31.3%である。次いで、「50歳代(18.7%)」、「60歳代(16.8%)」である。60歳以上が約5割となっている。



問3. 主な職業の就業形態 (SA)

「就業・就学していない」の割合が最も高く35.7%である。次いで、「正規の従業員・職員(30.9%)」、「非正規の従業員・職員(扶養範囲内を除く)(9.5%)」である。

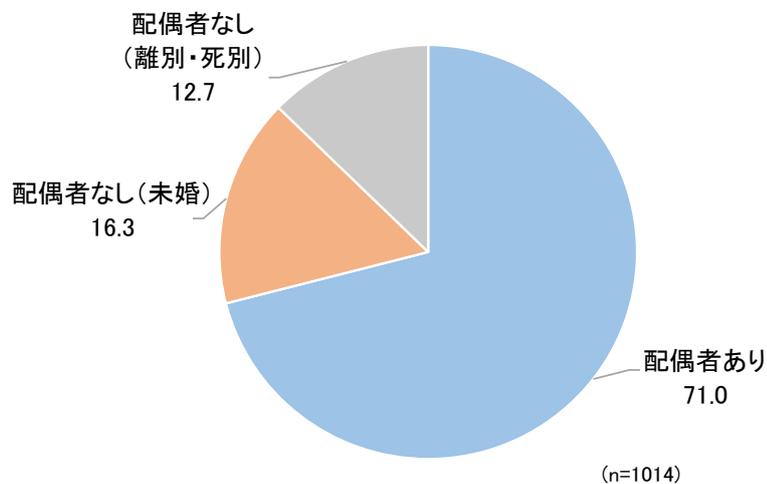


(その他の主な回答)

シルバー人材センター／派遣社員／育休中／休職中

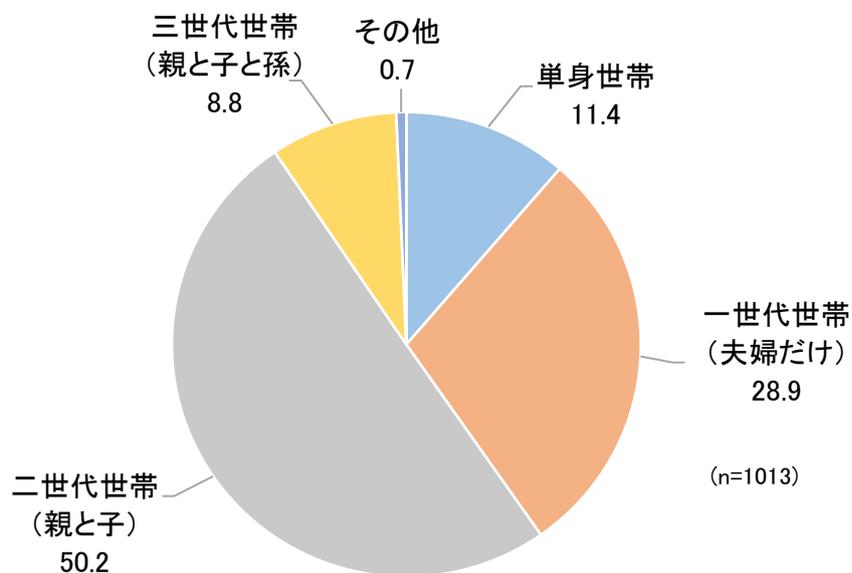
問4. 配偶者の有無 (SA)

「配偶者あり」の割合が高く71.0%である。次いで、「配偶者なし(未婚) (16.3%)」、「配偶者なし(離別・死別) (12.7%)」である。



問5. 家族構成 (SA)

「二世世代世帯(親と子)」の割合が高く50.2%である。次いで、「一世代世帯(夫婦だけ) (28.9%)」、「単身世帯 (11.4%)」である。

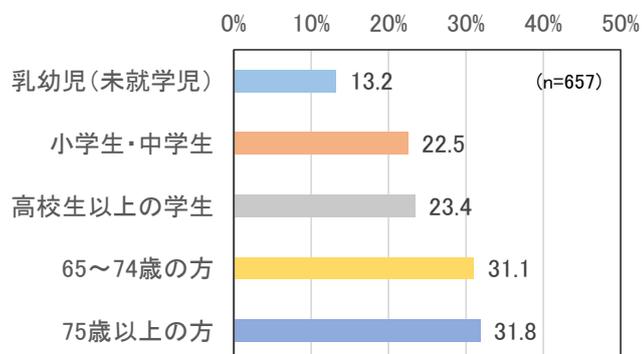


(その他の主な回答)

同棲／姉妹

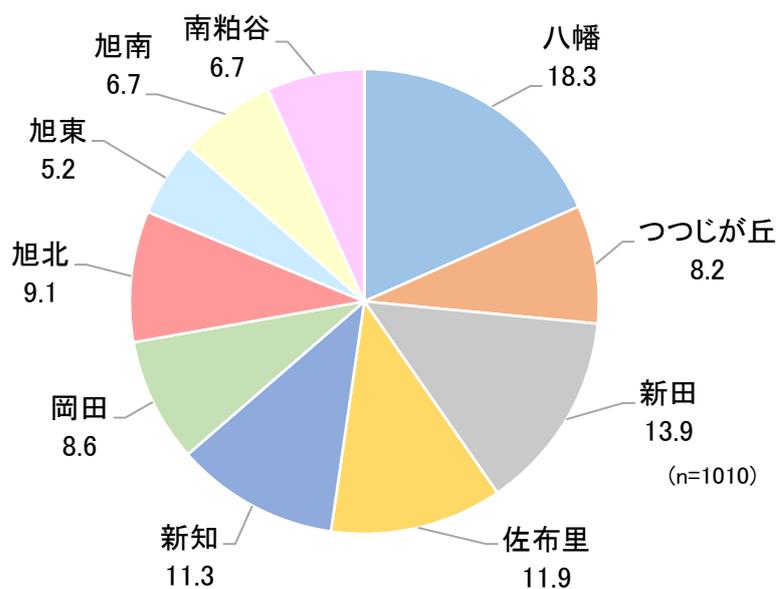
問6. 同居する家族 (MA)

「75歳以上の方」の割合が最も高く31.8%である。次いで、「65～74歳の方(31.1%)」、「高校生以上の学生(23.4%)」である。



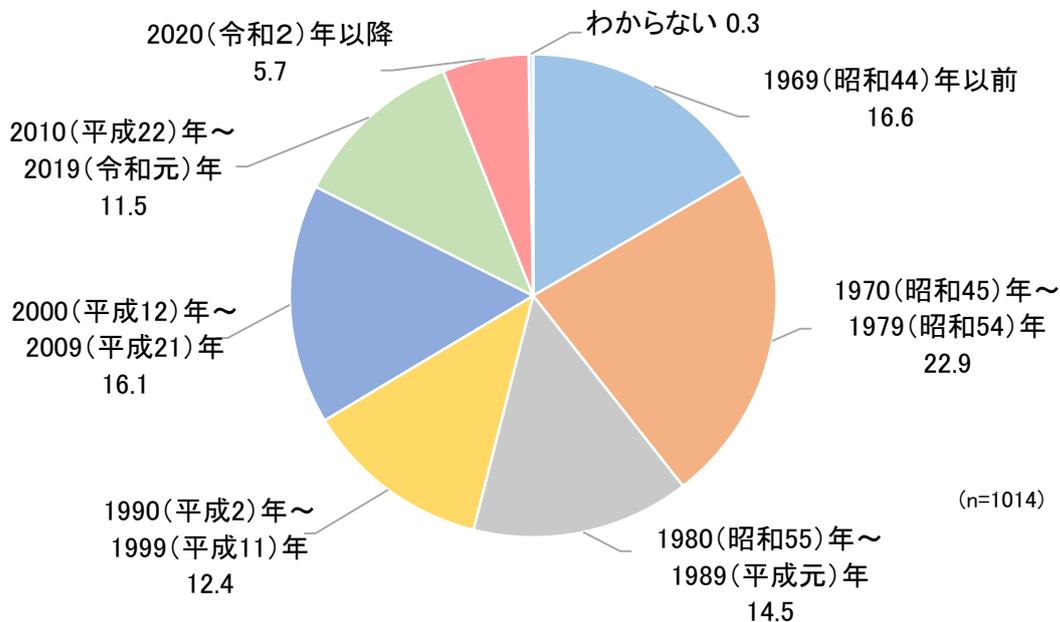
問7. 住まいの地区 (小学校区) (SA)

「八幡」の割合が最も高く18.3%である。次いで、「新田(13.9%)」、「佐布里(11.9%)」である。



問8. はじめて知多市に居住した時期 (SA)

「1970(昭和45)年～1979(昭和54)年」の割合が最も高く22.9%である。次いで、「1969(昭和44)年以前(16.6%)」、「2000(平成12)年～2009(平成21)年(16.1%)」である。



(3) 日常生活の行動について

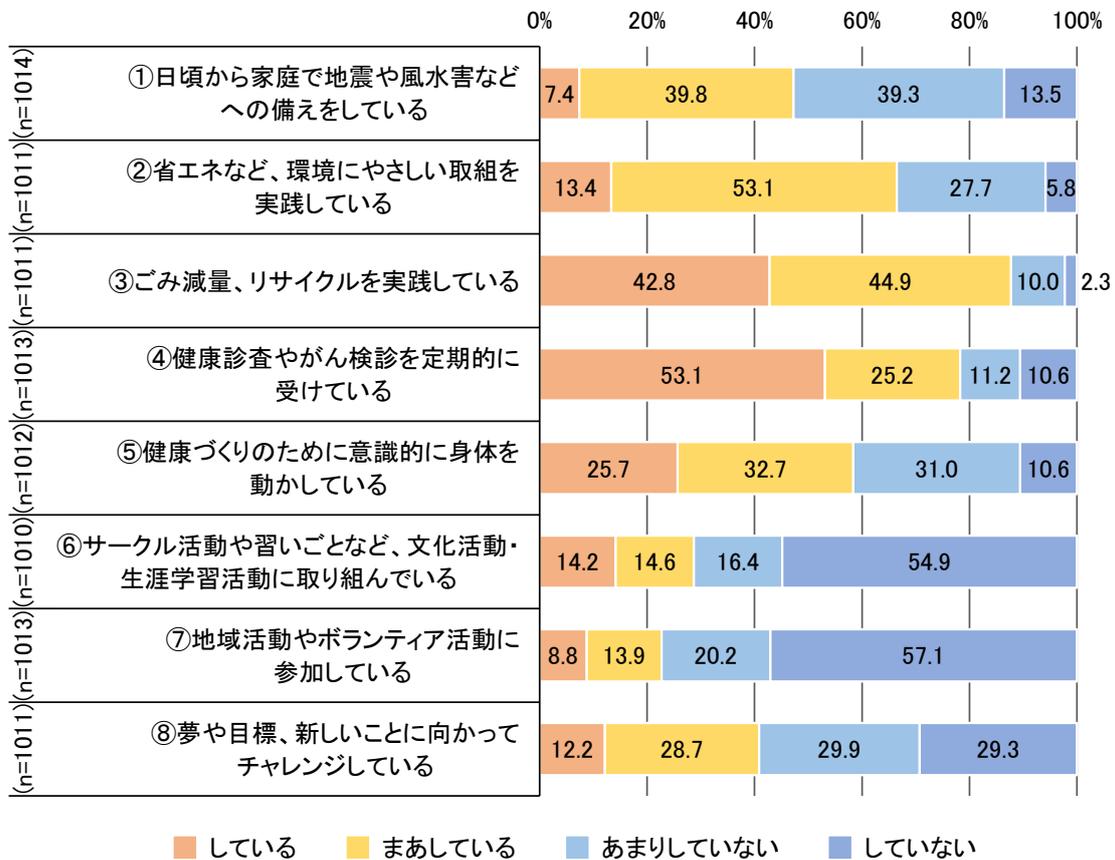
問9. 日常生活の行動に最も近いもの (SA)

「している」と「まあしている」の割合の合計に着目すると、「③ごみ減量、リサイクルを実践している」における割合が最も高く87.7%である。次いで、「④健康診査やがん検診を定期的に受けている(78.3%)」、「②省エネなど、環境にやさしい取組を実践している(66.5%)」である。

一方、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計に着目すると、「⑦地域活動やボランティア活動に参加している」における割合が最も高く77.3%である。次いで、「⑥サークル活動や習いごとなど、文化活動・生涯学習活動に取り組んでいる(71.3%)」、「⑧夢や目標、新しいことに向かってチャレンジしている(59.2%)」である。

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「③ごみ減量、リサイクルを実践している(+75.4ポイント)」、「④健康診査やがん検診を定期的に受けている(+56.5ポイント)」、「②省エネなど、環境にやさしい取組を実践している(+33.0ポイント)」、「⑤健康づくりのために意識的に身体を動かしている(+16.8ポイント)」では、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っている。

一方、「⑦地域活動やボランティア活動に参加している(-54.6ポイント)」、「⑥サークル活動や習いごとなど、文化活動・生涯学習活動に取り組んでいる(-42.5ポイント)」、「⑧夢や目標、新しいことに向かってチャレンジしている(-18.3ポイント)」、「①日頃から家庭で地震や風水害などへの備えをしている(-5.6ポイント)」では、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。



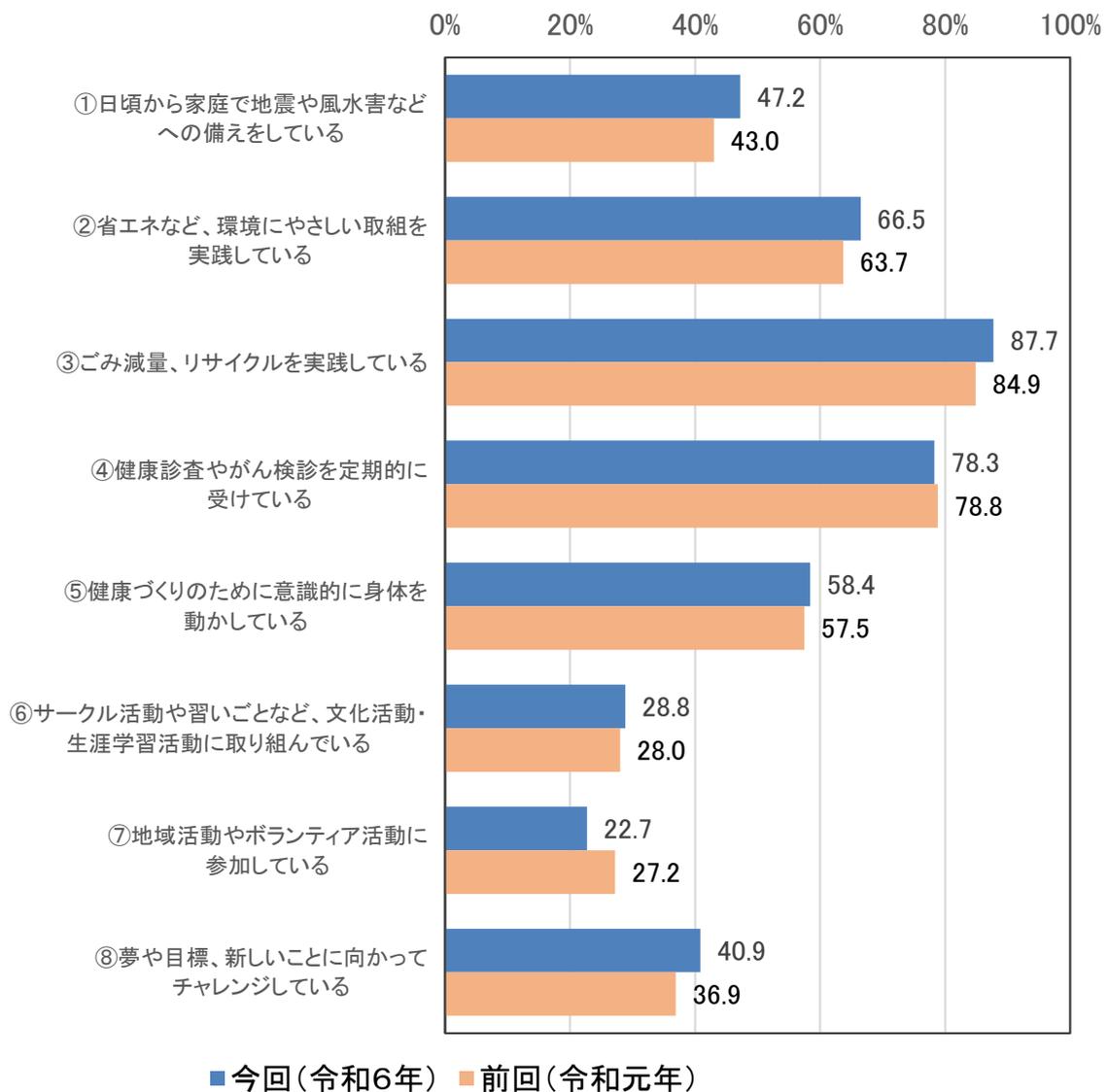
(参考)総合計画の目標値の進捗管理のための再集計

総合計画の目標値の進捗管理をするにあたり、「している」と「まあしている」を合わせた値を算出した。前回(令和元年)の結果と比べると、今回の方が上回ったのは、下記の6項目である。

- ・ 「①日頃から家庭で地震や風水害などへの備えをしている」(+4.2ポイント)
- ・ 「⑧夢や目標、新しいことに向かってチャレンジしている」(+4.0ポイント)
- ・ 「②省エネなど、環境にやさしい取組を実践している」(+2.8ポイント)
- ・ 「③ごみ減量、リサイクルを実践している」(+2.8ポイント)
- ・ 「⑤健康づくりのために意識的に身体を動かしている」(+0.9ポイント)
- ・ 「⑥サークル活動や習いごとなど、文化活動・生涯学習活動に取り組んでいる」(+0.8ポイント)

一方、前回(令和元年)の結果と比べ、今回の方が下回ったのは、下記の2項目である。

- ・ 「⑦地域活動やボランティア活動に参加している」(-4.5ポイント)
- ・ 「④健康診査やがん検診を定期的に受けている」(-0.5ポイント)

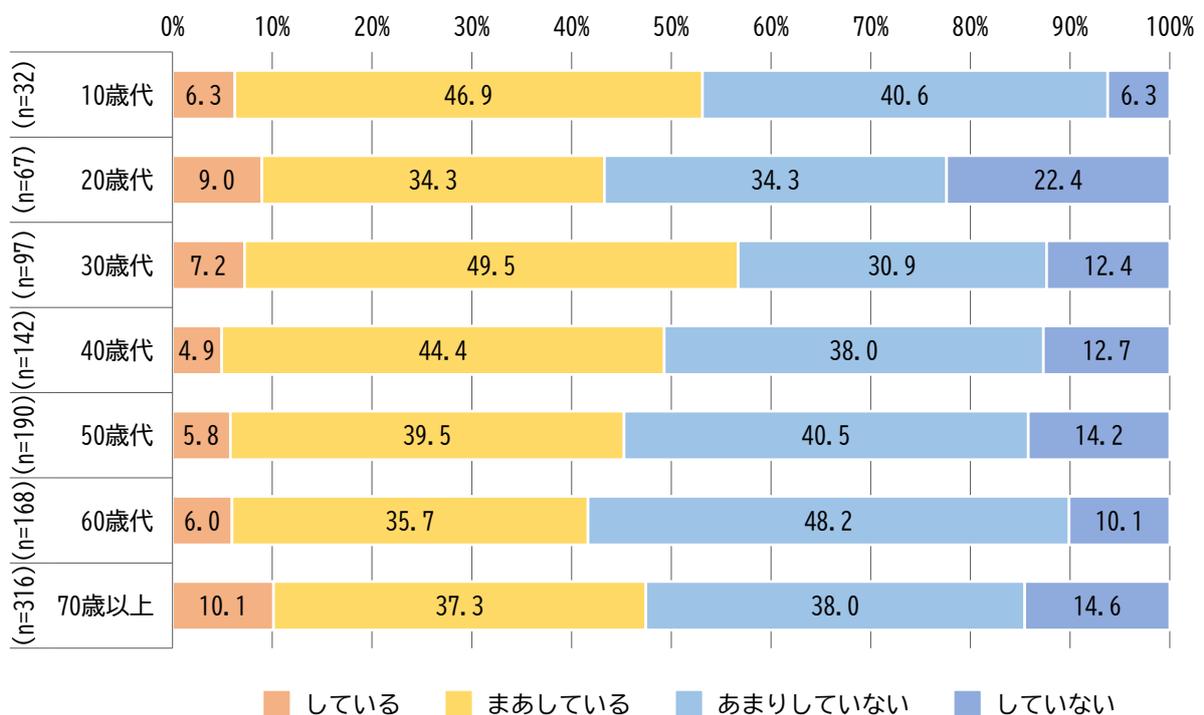


■年齢別クロス集計結果(①日頃から家庭で地震や風水害などへの備えをしている)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「30歳代(+13.4ポイント)」、「10歳代(+6.3ポイント)」では、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っている。

一方、「20歳代(-13.4ポイント)」、40～70歳以上では、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。

日頃から家庭で地震や風水害などへの備えをしている年代は、30歳代がピークであり、半数を超えている。30～60歳代にかけて減少していく傾向がある。また、10歳代を除く若い年代で備えをしていない人が多い。

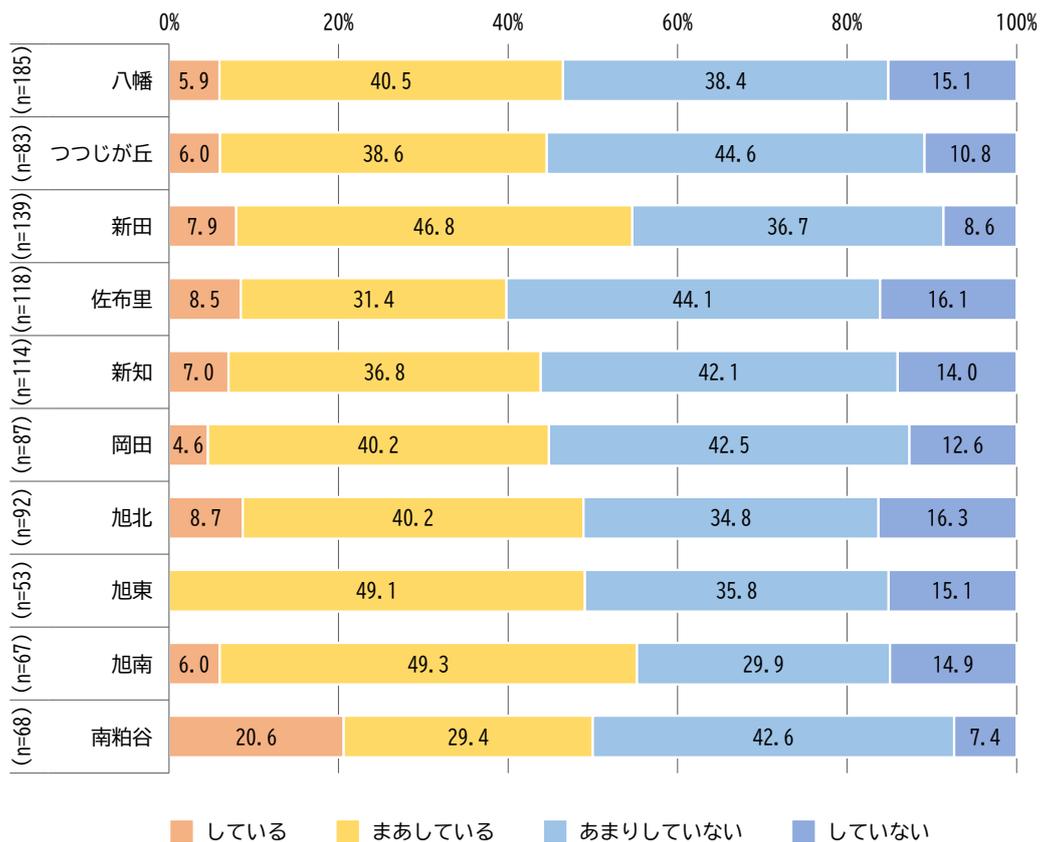


■居住区別クロス集計結果(①日頃から家庭で地震や風水害などへの備えをしている)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「旭南(+10.5ポイント)」、「新田(+9.4ポイント)」では、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っており、半数以上の人が備えをしている。

「南粕谷(±0.0ポイント)」では、「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計に差はない。

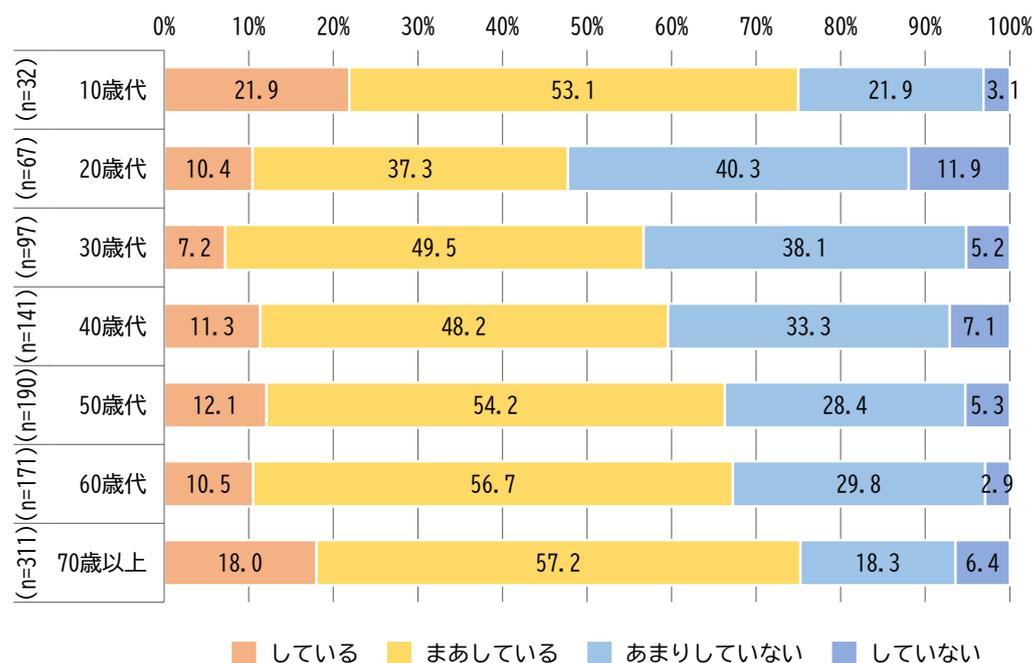
一方、「佐布里(-20.3ポイント)」、「新知(-12.3ポイント)」、「つつじが丘(-10.8ポイント)」、「岡田(-10.3ポイント)」、「八幡(-7.1ポイント)」、「旭北(-2.2ポイント)」、「旭東(-1.8ポイント)」では、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。すなわち、これらの居住区の人には、備えをしていない人の方が多く、佐布里では備えをしていない人が約6割である。



■年齢別クロス集計結果(②省エネなど、環境にやさしい取組を実践している)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「20歳代(-4.5ポイント)」を除いた全ての年代では、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っている。

省エネなど、環境にやさしい取組を実践している年代は、10歳代を除く若い年代で実践できていない人が多い。20～70歳以上にかけて、実践している人が増加する傾向にある。

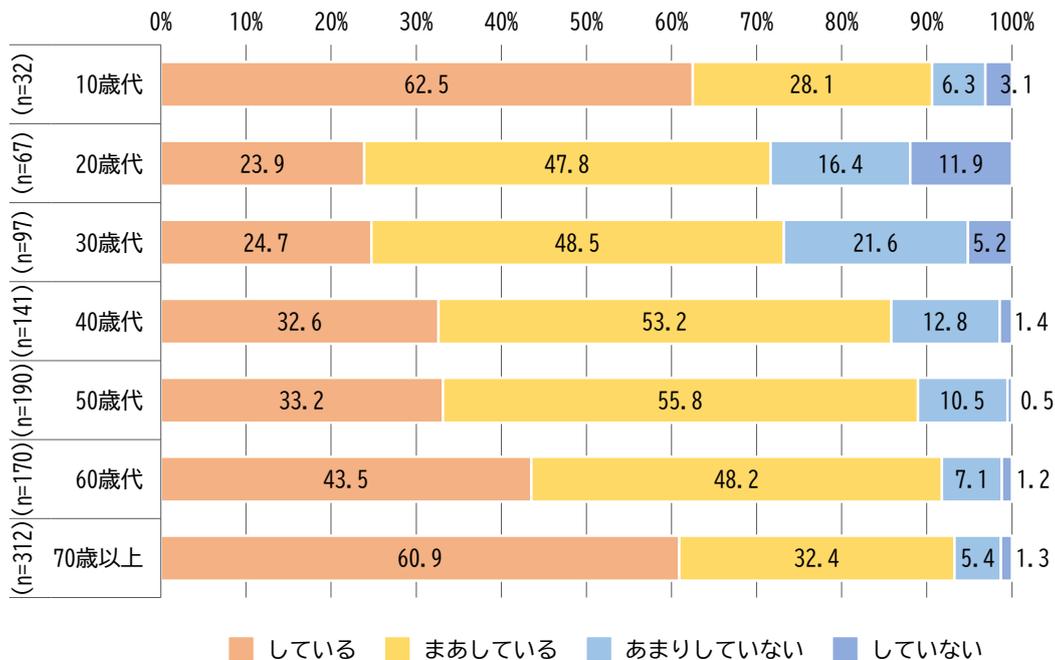


■年齢別クロス集計結果(③ごみ減量、リサイクルを実践している)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っている。

すなわち、全ての年代で、ごみ減量、リサイクルを実践している人の方が多い。

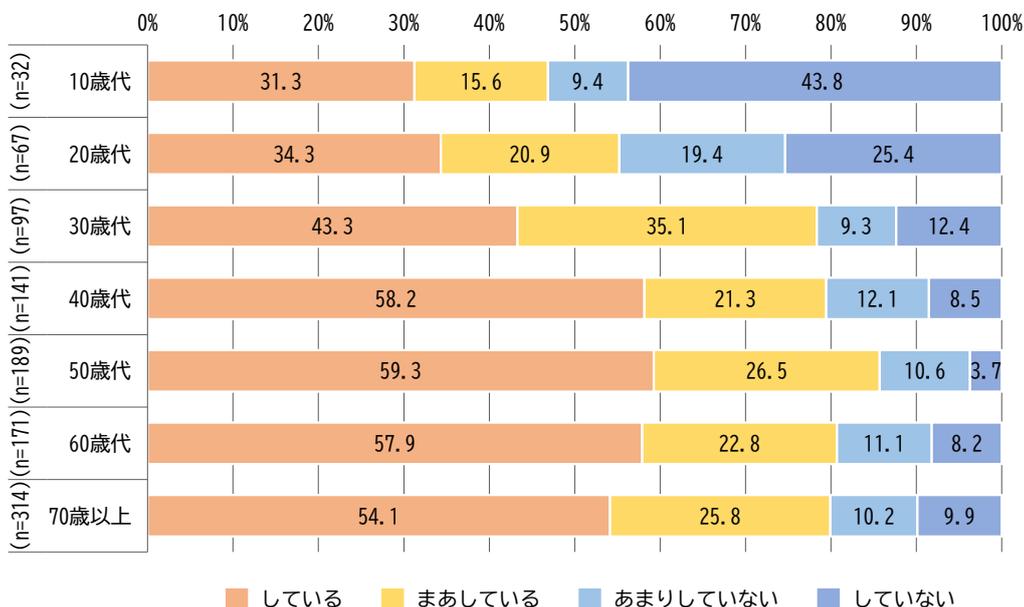
ただ、20～30歳代では、実践している人が約7割であり、他の年代と比べて少ない。



■年齢別クロス集計結果(④健康診査やがん検診を定期的に受けている)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「10歳代(-6.3ポイント)」を除いた全ての年代では、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っている。

10～20歳代で、定期的に受けている人が5～6割であり、他の年代と比べて少ない。

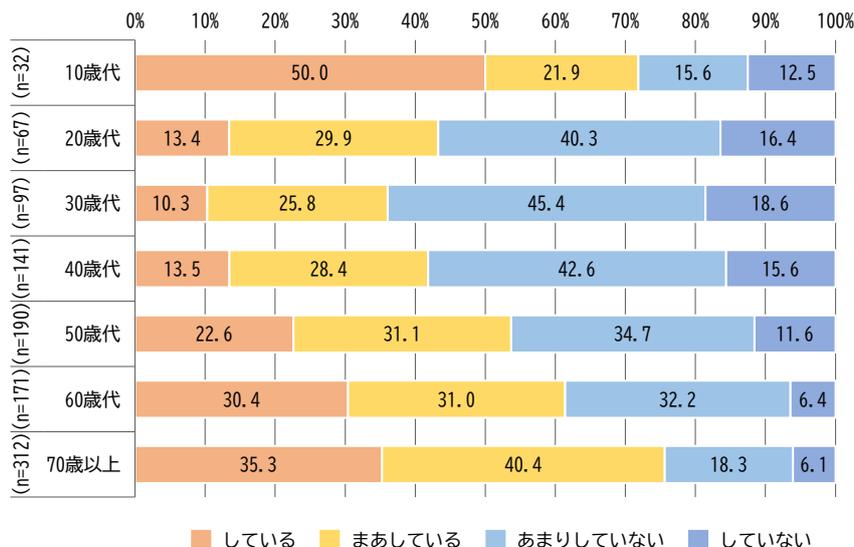


■年齢別クロス集計結果(⑤健康づくりのために意識的に身体を動かしている)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「10歳代(+43.8ポイント)」、50～70歳以上では、「している」と「まあしている」の割合の合計の方が上回っている。

一方、20～40歳代では、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。

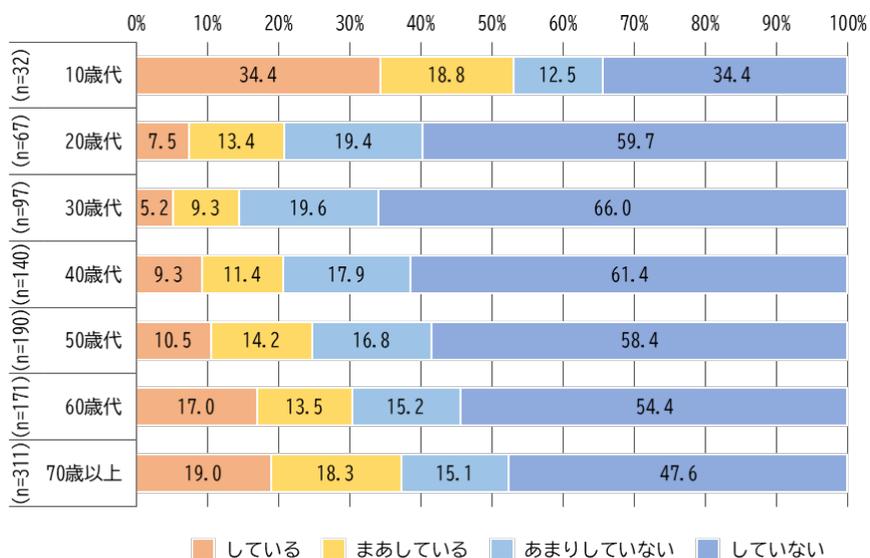
10歳代では、健康づくりのために意識的に身体を動かしている人が約7割である一方、20～40歳代では、約4割に留まり、他の年代より少ない。特に30歳代で身体を動かしている人が少なく、70歳以上にかけて増加する傾向にある。



■年齢別クロス集計結果(⑥サークル活動や習いごとなど、文化活動・生涯学習活動に取り組んでいる)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「10歳代(+6.3ポイント)」を除いた全ての年代では、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。

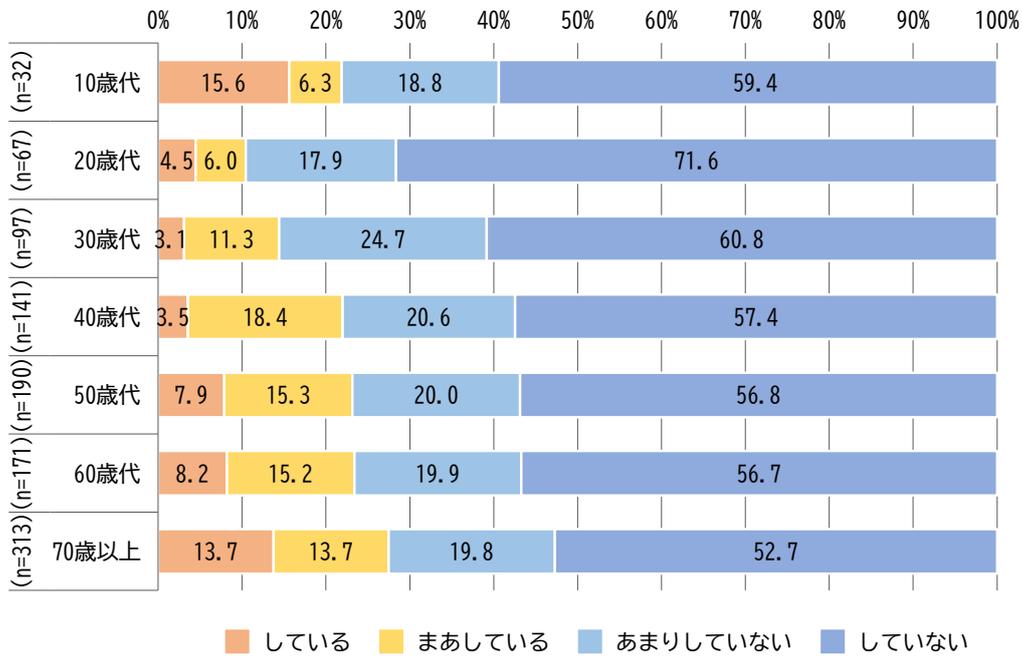
10歳代では取り組んでいる人が5割を超える一方、20～70歳以上では多くの方が、取り組んでいない。特に30歳代で取り組んでいる人は約1割と少なく、70歳以上にかけて取り組んでいる人が約4割まで増加する傾向にある。



■年齢別クロス集計結果(⑦地域活動やボランティア活動に参加している)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。

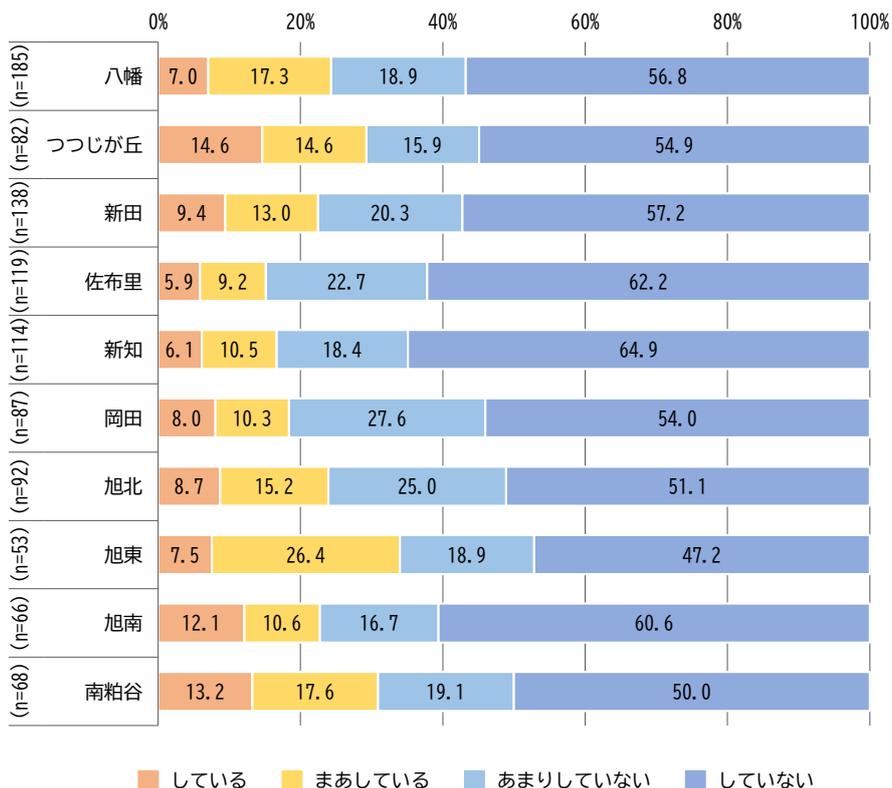
20～30歳代で参加している人は約1割であり、他の年代と比べて少ない。



■居住区別クロス集計結果(⑦地域活動やボランティア活動に参加している)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。

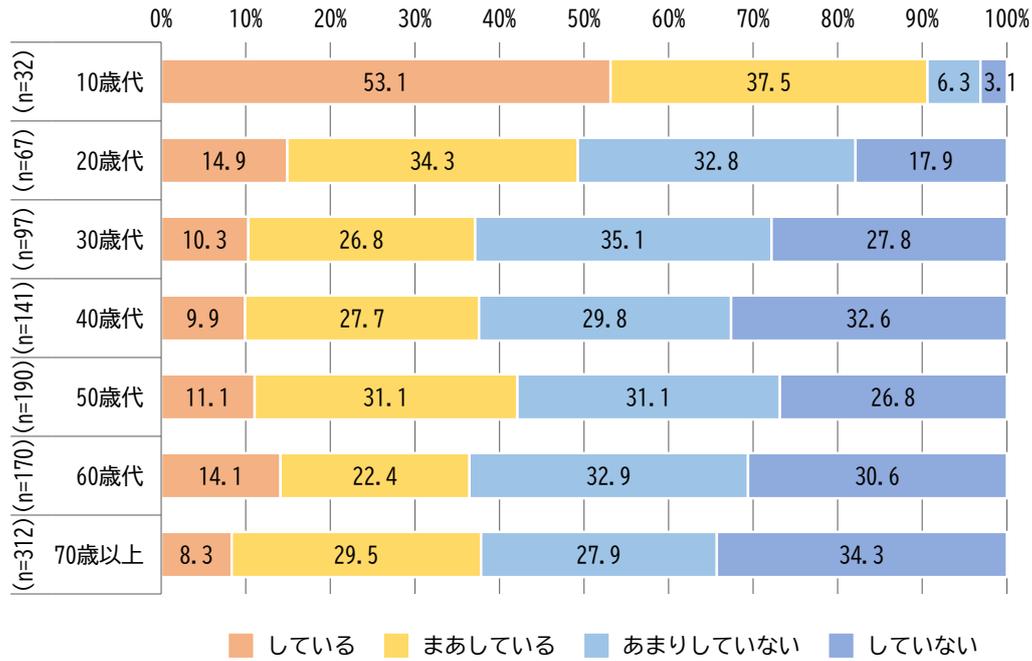
つつしが丘、旭東、南粕谷で参加している人は約3割であり、他の居住区より多い。



■年齢別クロス集計結果(⑧夢や目標、新しいことに向かってチャレンジしている)

「している」と「まあしている」の割合の合計と、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の差に着目すると、「10歳代(+81.2ポイント)」を除いた全ての年代では、「あまりしていない」と「していない」の割合の合計の方が上回っている。

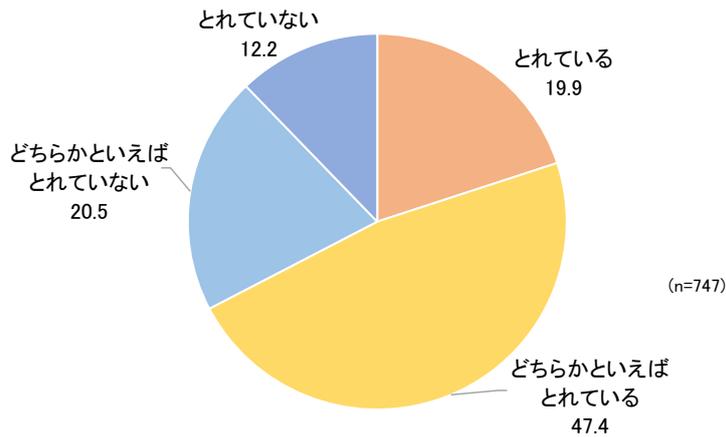
10歳代ではチャレンジしている人が9割を超え、突出して多い。20歳代は約5割がチャレンジしており、30～70歳以上は、約4割である。



問10. 仕事と仕事以外の時間とのバランス（ワーク・ライフ・バランス）がとれているか（SA）

「とれている」と「どちらかといえばとれている」の割合の合計と、「どちらかといえばとれていない」と「とれていない」の割合の合計の差に着目すると、「とれている」と「どちらかといえばとれている」(67.3%)の割合の合計の方が、「どちらかといえばとれていない」と「とれていない」(32.7%)の割合の合計を上回っている。

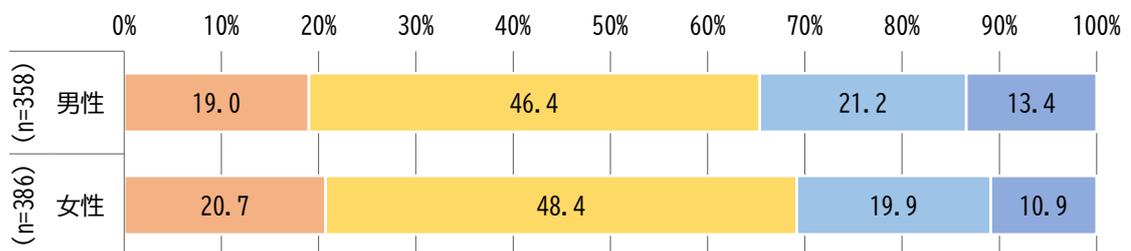
すなわち、約7割の人が、仕事と仕事以外の時間とのバランス(ワーク・ライフ・バランス)をとれている。



※「仕事をしていない」と回答した人を除く。

■性別クロス集計結果

「とれている」と「どちらかといえばとれている」の割合の合計と、「どちらかといえばとれていない」と「とれていない」の割合の合計の差に着目すると、男女ともに「とれている」と「どちらかといえばとれている」の割合の合計の方が約7割と上回っており、男女で大きな差はない。



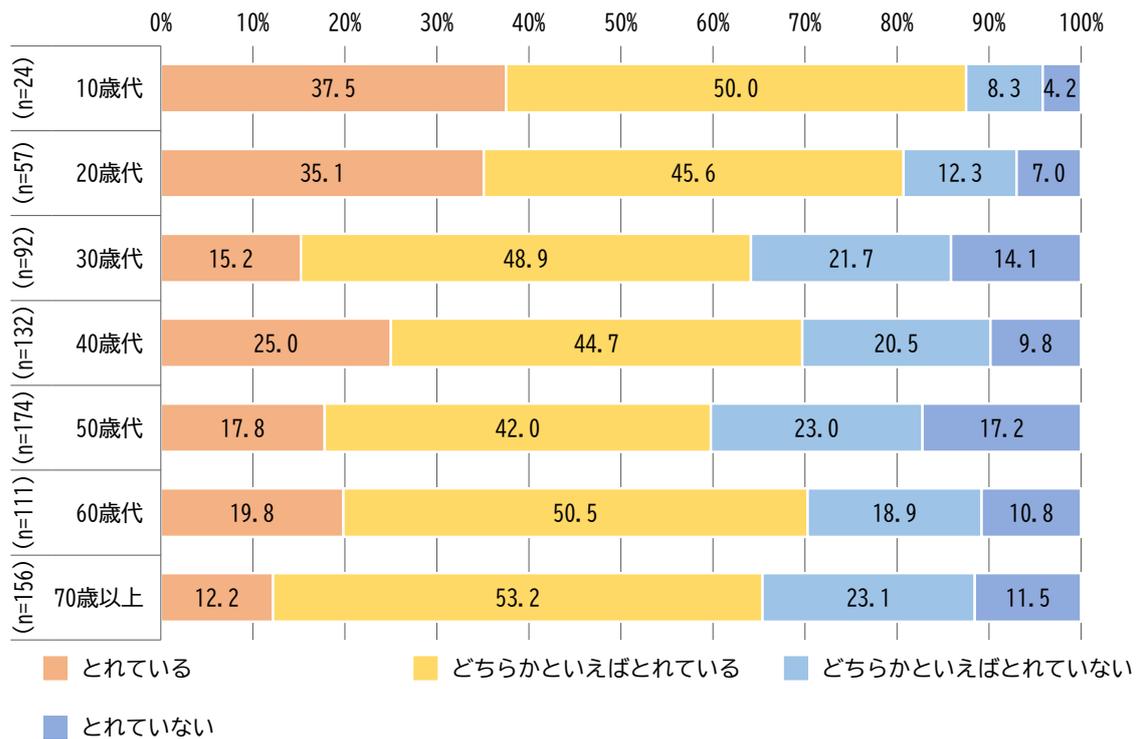
■とれている ■どちらかといえばとれている ■どちらかといえばとれていない ■とれていない

※「仕事をしていない」と回答した人を除く。

■年齢別クロス集計結果

「とれている」と「どちらかといえばとれている」の割合の合計と、「どちらかといえばとれていない」と「とれていない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で、「とれている」と「どちらかといえばとれている」の割合の合計の方が上回っている。すなわち、全ての年代で仕事と仕事以外の時間とのバランス(ワーク・ライフ・バランス)がとれている人の方が多い。

ただ、50歳代が約6割であり、とれている人が他の年代と比べて少ない。30歳代と70歳以上も、他の年代より少ない。10～20歳代は約8～9割となっており、若い年代はとれている。



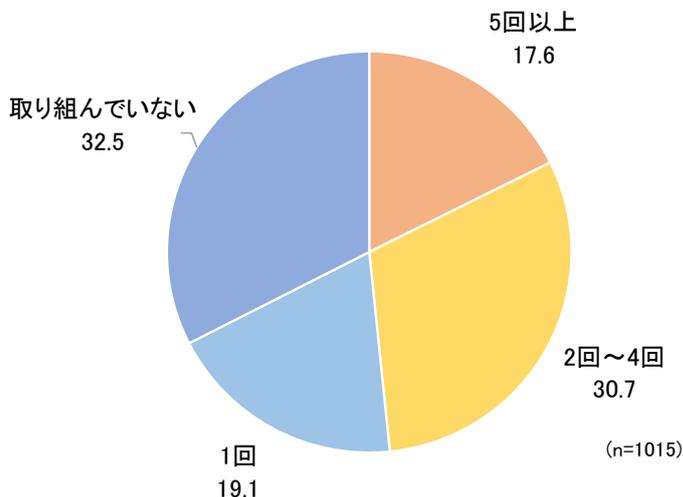
※「仕事をしていない」と回答した人を除く。

問11. 週にどのくらい、運動やスポーツに取り組んでいるか(散歩や体操などの簡単な運動を含む)

(SA)

週に1回以上取り組んでいる割合と、取り組んでいない割合の合計の差に着目すると、週に1回以上取り組んでいる割合(67.4%)の方が取り組んでいない割合(32.5%)よりも34.9ポイント上回っている。

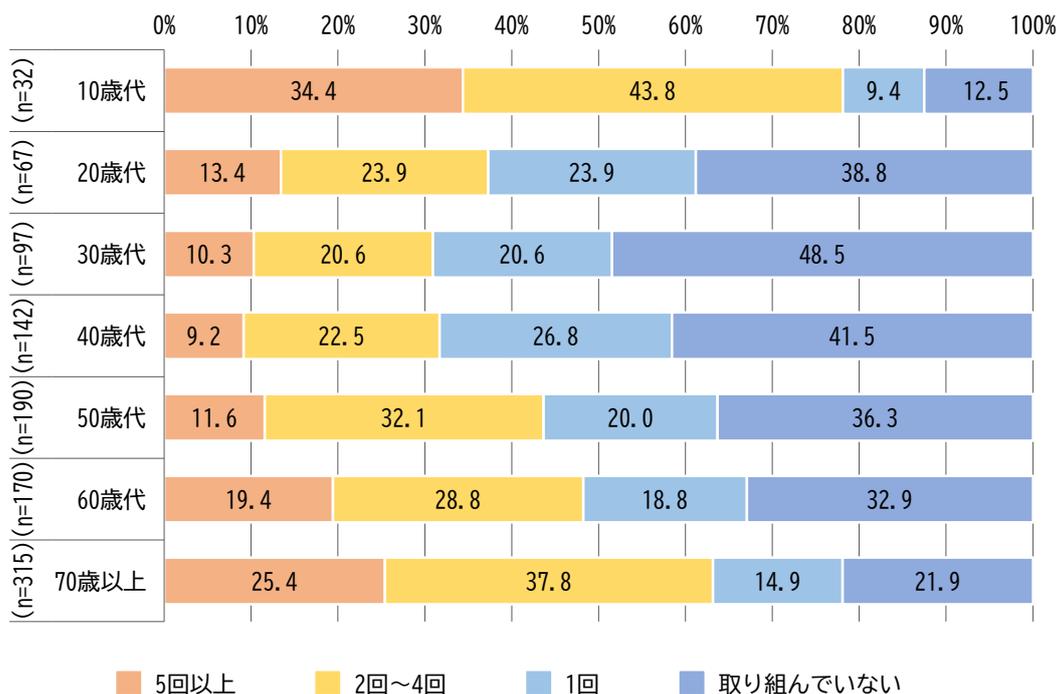
すなわち、約3分の2の人が週に1回以上運動やスポーツに取り組んでいる。



■年齢別クロス集計結果

週に1回以上取り組んでいる割合と、取り組んでいない割合の合計の差に着目すると、全ての年代で週に1回以上取り組んでいる割合の方が上回っている。

10歳代は約9割と取り組んでいる人が多い。ただ、20~40歳代で取り組んでいる人が少なく、30歳代で約半数に落ち込む。40~70歳以上にかけて取り組んでいる人が増加する傾向にある。



(4) 市の取組や状況に対する考えについて

問12. 本市の取組や状況に対し、考えに最も近いもの (SA)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計に着目すると、「㉕「広報ちた」がわかりやすい」における割合が最も高く74.4%である。次いで、「⑤消防・救急体制が充実している(67.8%)」、「⑱自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足している(67.5%)」である。

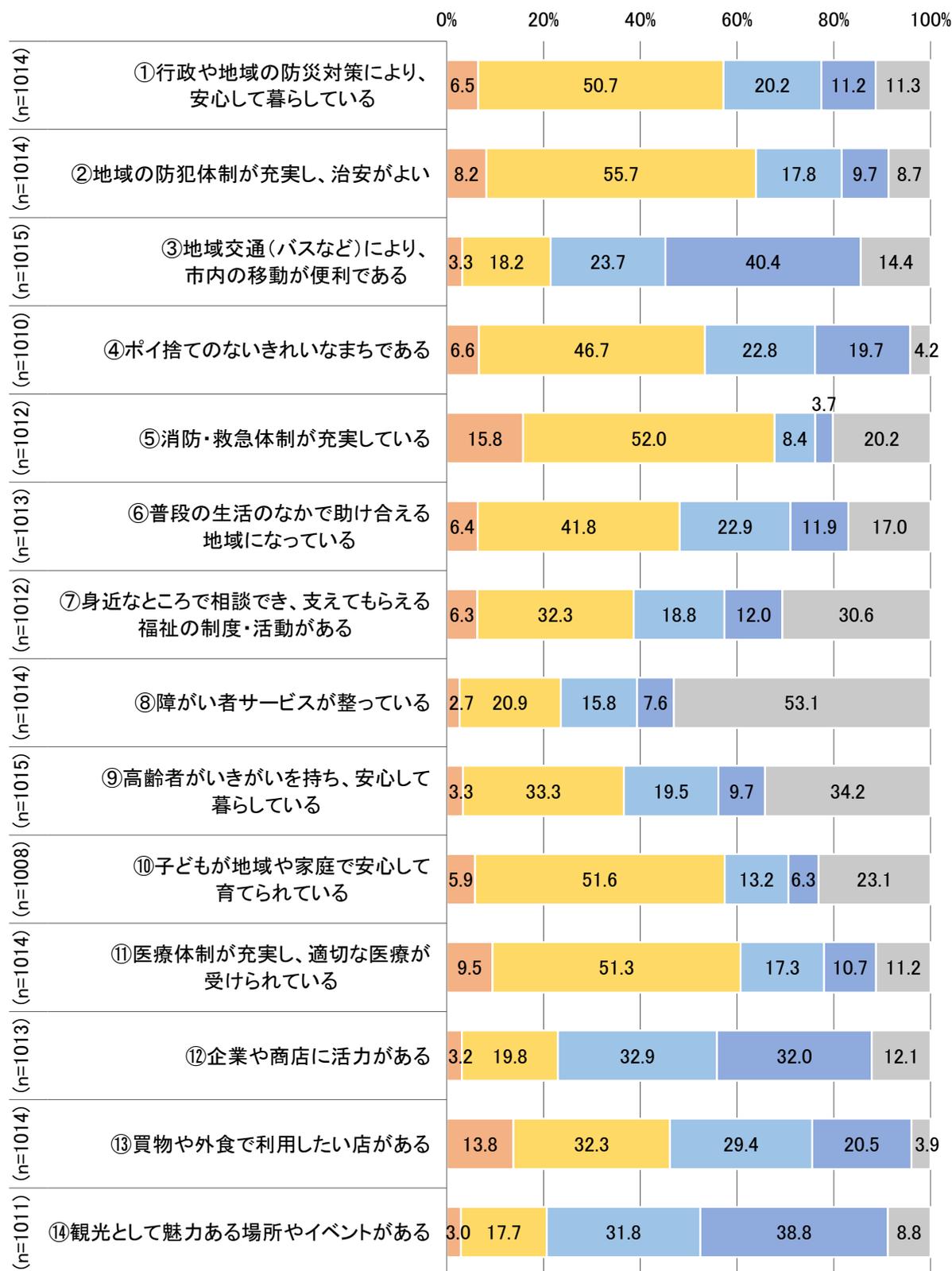
一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計に着目すると、「⑩駅周辺が機能的で利用しやすい」における割合が最も高く78.5%である。次いで、「⑭観光として魅力ある場所やイベントがある(70.6%)」、「⑫企業や商店に活力がある(64.9%)」である。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回るものは下記の通りである。

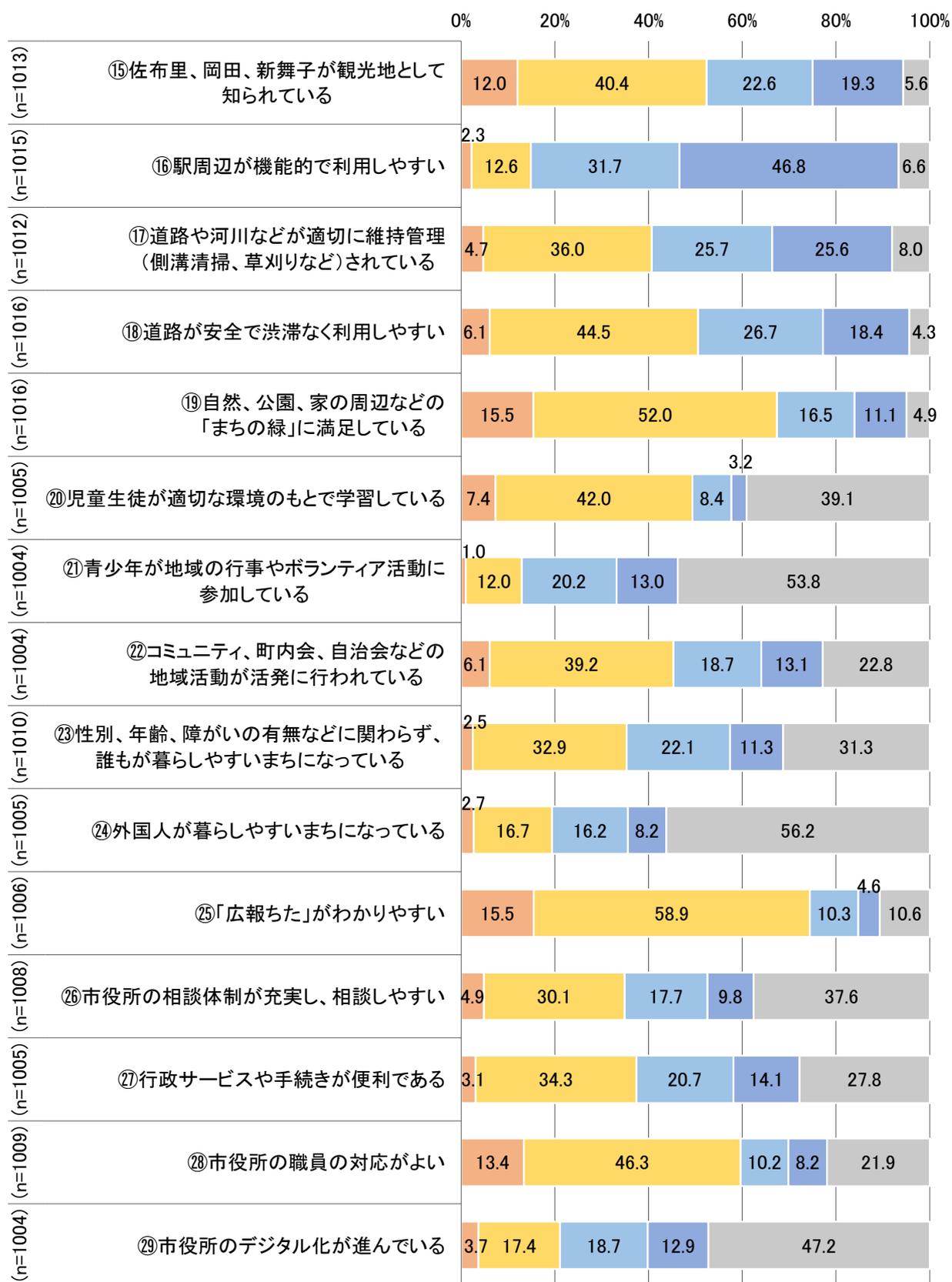
- ・ 50ポイント以上で上回るのは「㉕「広報ちた」がわかりやすい(+59.5ポイント)」と、「⑤消防・救急体制が充実している(+55.7ポイント)」の2項目である。
- ・ 40ポイント以上で上回るのは、「㉘市役所の職員の対応がよい(+41.3ポイント)」のみである。
- ・ 30ポイント以上で上回るのは、「⑱自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足している(+39.9ポイント)」、「⑩子どもが地域や家庭で安心して育てられている(+38.0ポイント)」、「⑳児童生徒が適切な環境のもとで学習している(+37.8ポイント)」、「②地域の防犯体制が充実し、治安がよい(+36.4ポイント)」、「⑪医療体制が充実し、適切な医療が受けられている(+32.8ポイント)」の5項目である。
- ・ 20ポイント以上で上回るのは、「①行政や地域の防災対策により、安心して暮らしている(+25.8ポイント)」のみである。
- ・ 10ポイント以上で上回るのは、「㉚コミュニティ、町内会、自治会などの地域活動が活発に行われている(+13.5ポイント)」、「⑥普段の生活のなかで助け合える地域になっている(+13.4ポイント)」、「④ポイ捨てのないきれいなまちである(+10.8ポイント)」、「⑮佐布里、岡田、新舞子が観光地として知られている(+10.5ポイント)」の4項目である。
- ・ 10ポイント以下で上回るのは、「⑦身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動がある(+7.8ポイント)」、「㉙市役所の相談体制が充実し、相談しやすい(+7.5ポイント)」、「⑨高齢者がいきがいをもち、安心して暮らしている(+7.4ポイント)」、「⑱道路が安全で渋滞なく利用しやすい(+5.5ポイント)」、「㉟行政サービスや手続きが便利である(+2.6ポイント)」、「㉓性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、誰もが暮らしやすいまちになっている(+2.0ポイント)」、「⑧障がい者サービスが整っている(+0.2ポイント)」の7項目である。

一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が下回るものは下記の通りである。

- ・ 60ポイント以上で下回るのは、「⑩駅周辺が機能的で利用しやすい(−63.6ポイント)」のみである。
- ・ 40ポイント以上で下回るのは、「⑭観光として魅力ある場所やイベントがある(−49.9ポイント)」、「③地域交通(バスなど)により、市内の移動が便利である(−42.6ポイント)」、「⑫企業や商店に活力がある(−41.9ポイント)」の3項目である。
- ・ 20ポイント以上で下回るのは、「⑮青少年が地域の行事やボランティア活動に参加している(−20.2ポイント)」のみである。
- ・ 10ポイント以上で下回るのは、「⑰道路や河川などが適切に維持管理(側溝清掃、草刈りなど)されている(−10.6ポイント)」、「⑲市役所のデジタル化が進んでいる(−10.5ポイント)」の2項目である。
- ・ 10ポイント以下で下回るのは、「⑳外国人が暮らしやすいまちになっている(−5.0ポイント)」、「⑬買物や外食で利用したい店がある(−3.8ポイント)」の2項目である。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない ■ わからない



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

(参考)総合計画の目標値の進捗管理のための再集計

総合計画の目標値の進捗管理をするにあたり、「わからない」を除いた回答数を母数とし、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた値を算出した。

「⑤消防・救急体制が充実している」が84.9%で最も高く、次いで、「⑫「広報ちた」がわかりやすい(83.4%)」、「⑩児童生徒が適切な環境のもとで学習している(81.1%)」、「⑳市役所の職員の対応がよい(76.4%)」、「⑩子どもが地域や家庭で安心して育てられている(74.7%)」、「⑲自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足している(71.0%)」、「②地域の防犯体制が充実し、治安がよい(70.0%)」であり、7項目が7割を超えている。

一方、「⑩駅周辺が機能的で利用しやすい」が最も低く15.9%である。次いで、「⑭観光として魅力ある場所やイベントがある(22.7%)」、「③地域交通(バスなど)により、市内の移動が便利である(25.1%)」、「⑫企業や商店に活力がある(26.2%)」、「⑫青少年が地域の行事やボランティア活動に参加している(28.1%)」であり、5項目が4割を下回っている。

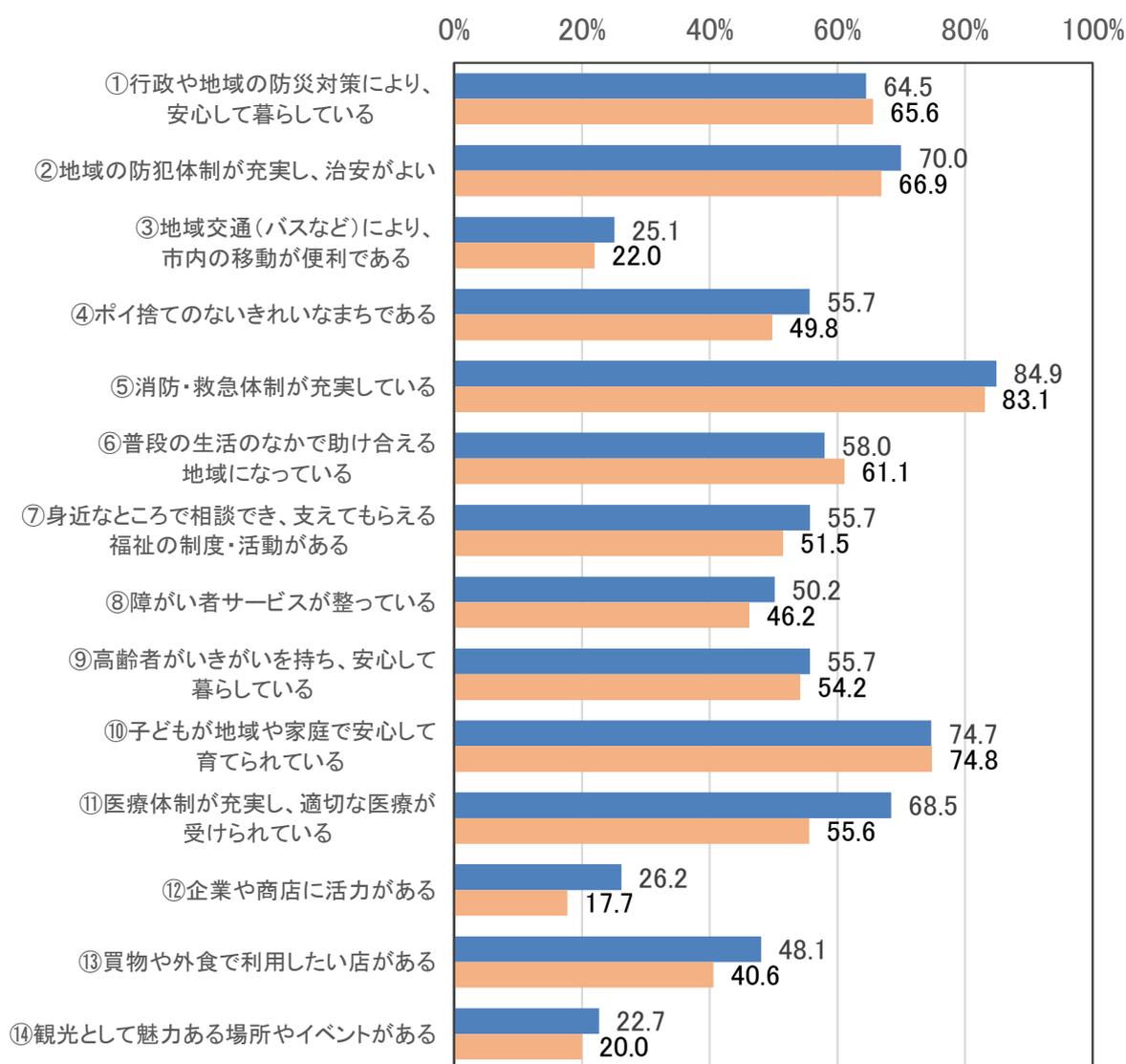
前回(令和元年)の結果と比べると、今回の方が上回ったのは、下記の21項目である。

- ・ 「⑪医療体制が充実し、適切な医療が受けられている」(+12.9ポイント)
- ・ 「⑫企業や商店に活力がある」(+8.5ポイント)
- ・ 「⑫「広報ちた」がわかりやすい」(+8.2ポイント)
- ・ 「⑬買物や外食で利用したい店がある」(+7.5ポイント)
- ・ 「④ポイ捨てのないきれいなまちである」(+5.9ポイント)
- ・ 「⑮佐布里、岡田、新舞子が観光地として知られている」(+5.6ポイント)
- ・ 「⑩児童生徒が適切な環境のもとで学習している」(+5.4ポイント)
- ・ 「⑳市役所の相談体制が充実し、相談しやすい」(+4.7ポイント)
- ・ 「⑭外国人が暮らしやすいまちになっている」(+4.4ポイント)
- ・ 「⑦身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動がある」(+4.2ポイント)
- ・ 「⑧障がい者サービスが整っている」(+4.0ポイント)
- ・ 「⑳市役所の職員の対応がよい」(+4.0ポイント)
- ・ 「②地域の防犯体制が充実し、治安がよい」(+3.1ポイント)
- ・ 「③地域交通(バスなど)により、市内の移動が便利である」(+3.1ポイント)
- ・ 「⑰行政サービスや手続きが便利である」(+3.1ポイント)
- ・ 「⑭観光として魅力ある場所やイベントがある」(+2.7ポイント)
- ・ 「⑤消防・救急体制が充実している」(+1.8ポイント)
- ・ 「⑨高齢者がいきがいを持ち、安心して暮らしている」(+1.5ポイント)
- ・ 「⑲自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足している」(+1.5ポイント)
- ・ 「⑬性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、誰もが暮らしやすいまちになっている」(+1.2ポイント)
- ・ 「⑩駅周辺が機能的で利用しやすい」(+0.6ポイント)

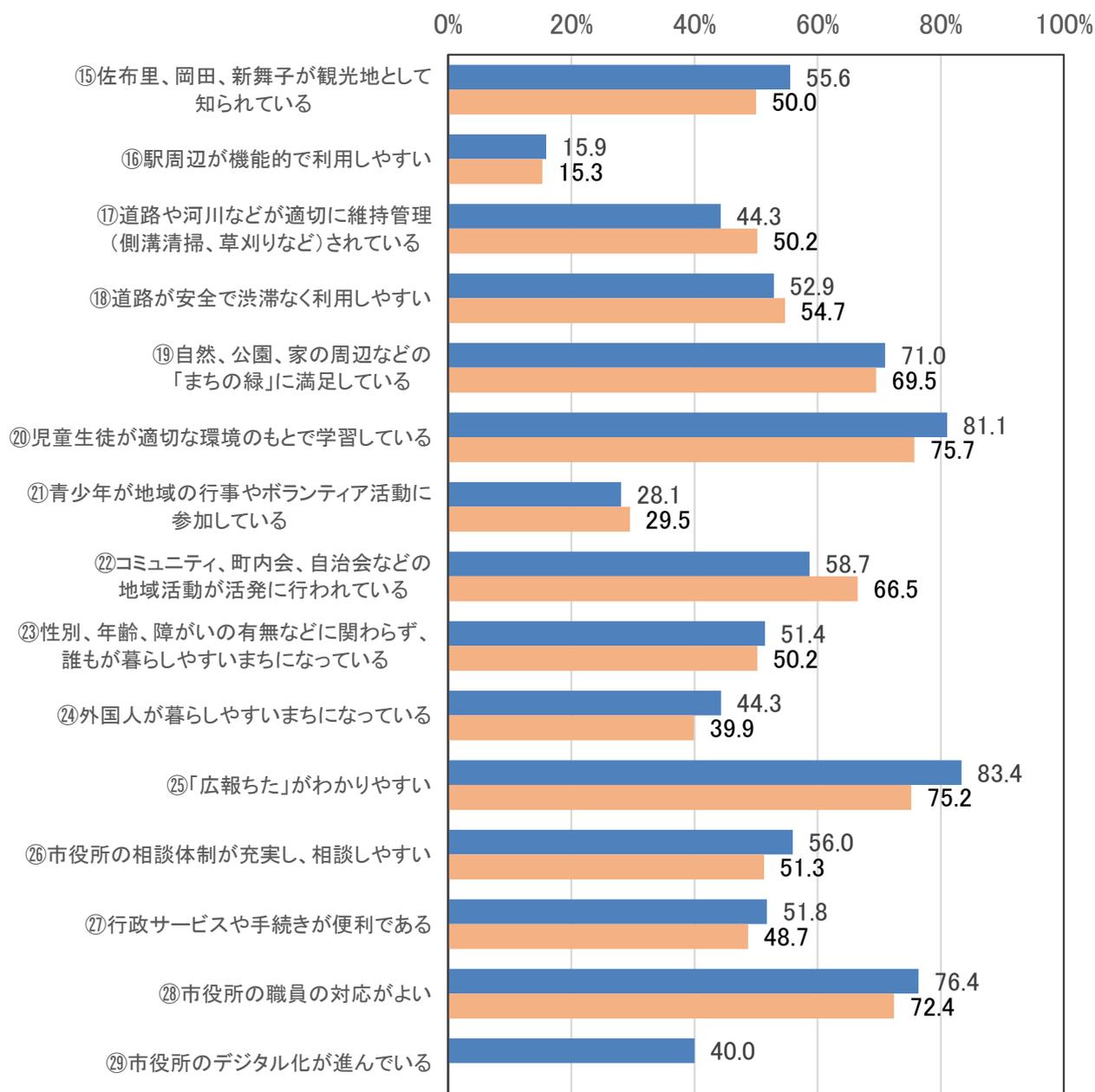
特に、「⑪医療体制が充実し、適切な医療が受けられている」は10ポイント以上の変化があり、12.9ポイント増加している。

一方、前回(令和元年)の結果と比べ、今回の方が下回ったのは、下記の7項目である。

- ・ 「⑫コミュニティ、町内会、自治会などの地域活動が活発に行われている」(−7.8ポイント)
- ・ 「⑰道路や河川などが適切に維持管理(側溝清掃、草刈りなど)されている」(−5.9ポイント)
- ・ 「⑥普段の生活のなかで助け合える地域になっている」(−3.1ポイント)
- ・ 「⑱道路が安全で渋滞なく利用しやすい」(−1.8ポイント)
- ・ 「㉑青少年が地域の行事やボランティア活動に参加している」(−1.4ポイント)
- ・ 「①行政や地域の防災対策により、安心して暮らしている」(−1.1ポイント)
- ・ 「⑩子どもが地域や家庭で安心して育てられている」(−0.1ポイント)



■ 今回(令和6年) ■ 前回(令和元年)



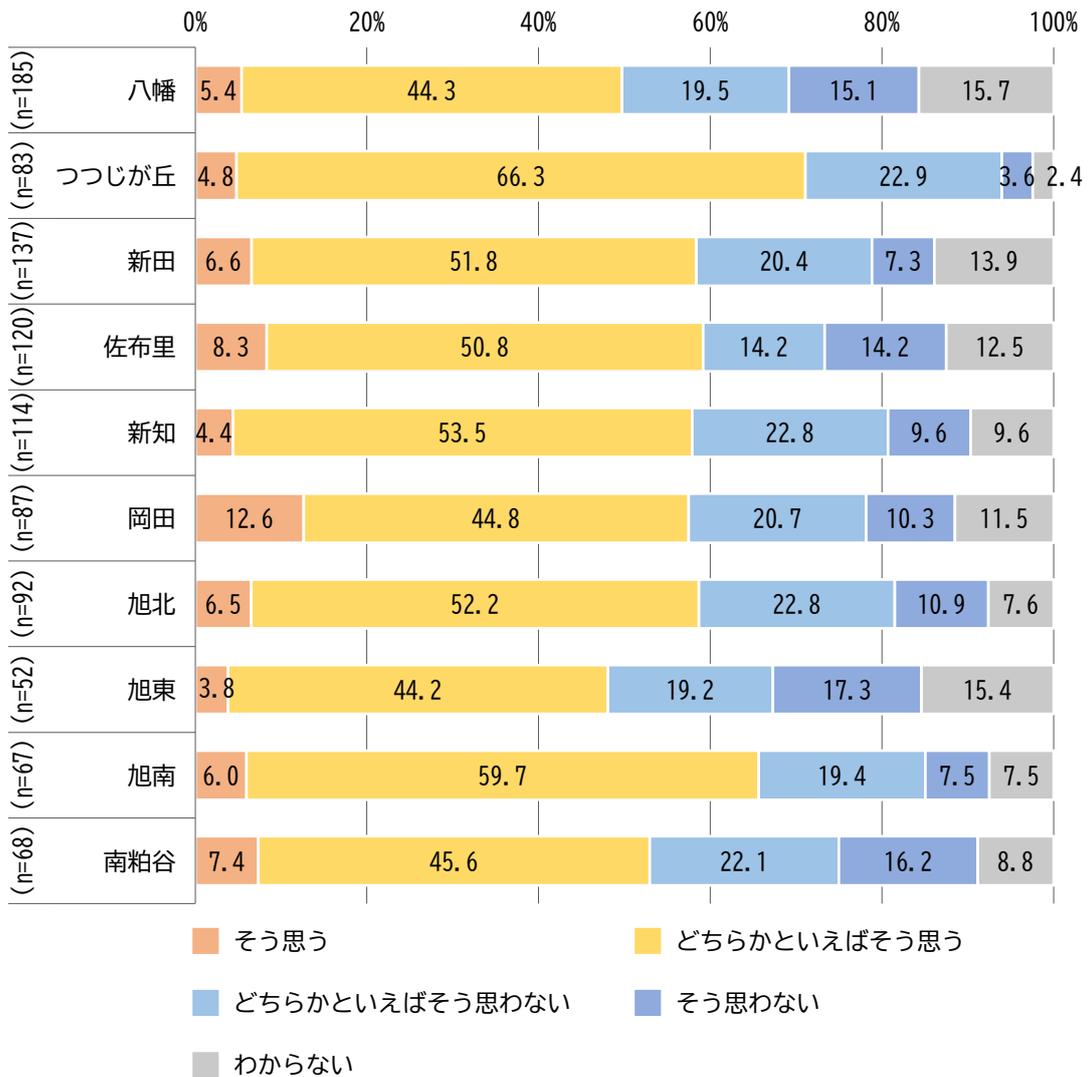
■ 今回(令和6年) ■ 前回(令和元年)

※「㉙市役所のデジタル化が進んでいる」の設問は、今回(令和6年)から設定。

■居住区別クロス集計結果(①行政や地域の防災対策により、安心して暮らしている)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

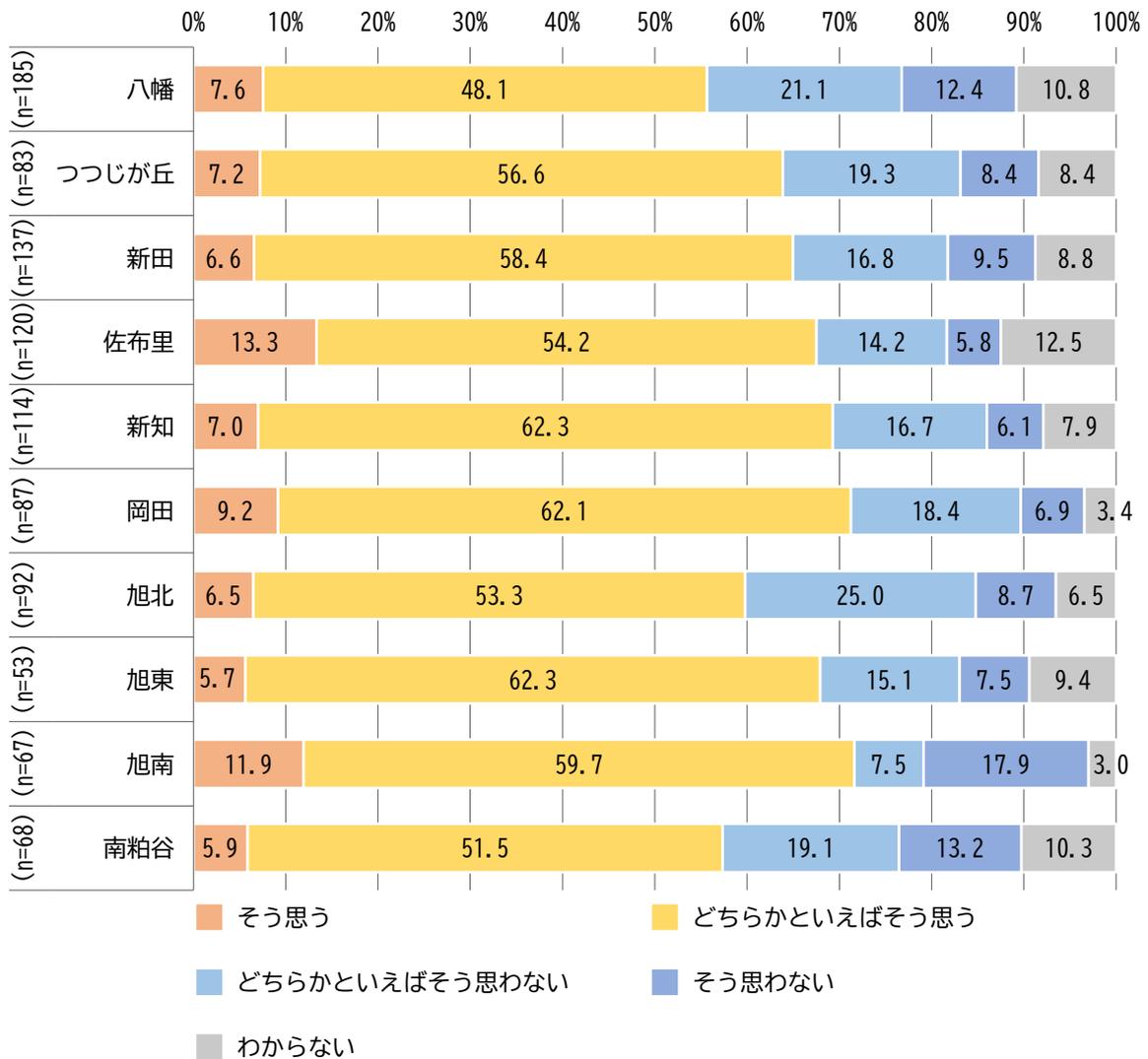
つつじが丘で安心して暮らしている人は約7割である一方、八幡、旭東、南粕谷では約5割であり、他の居住区より少ない。



■居住区別クロス集計結果(②地域の防犯体制が充実し、治安がよい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

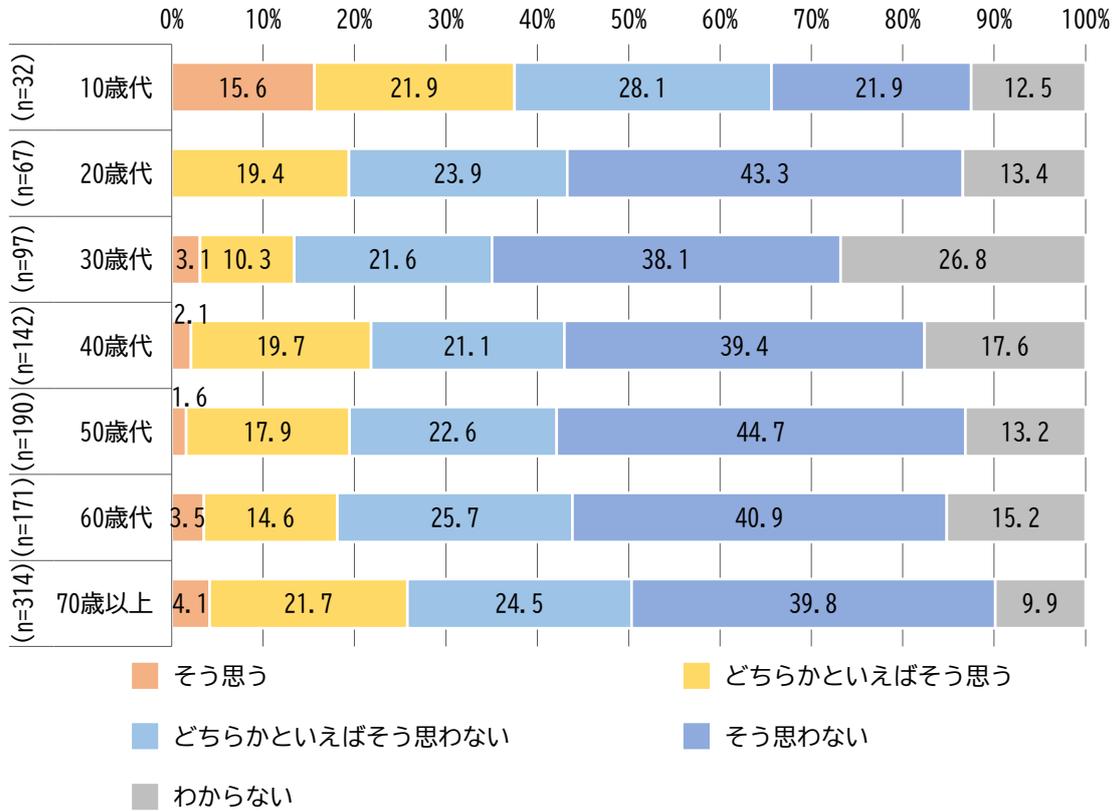
ただ、八幡、旭北、南粕谷で、よいと思う人は約6割であり、他の居住区より少ない。



■年齢別クロス集計結果(③地域交通(バスなど)により、市内の移動が便利である)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計が上回っている。

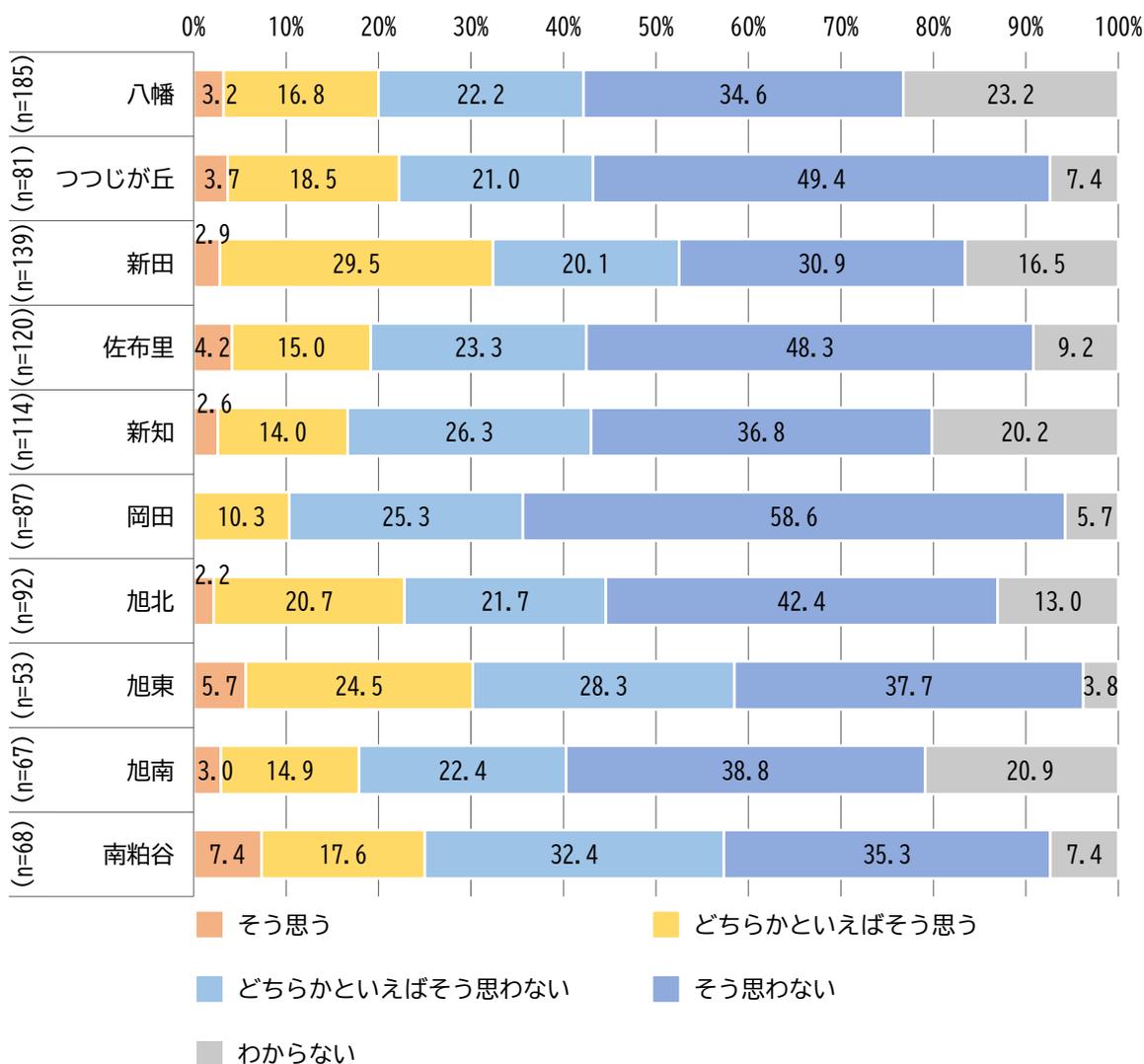
10歳代では便利だと思う人が約4割だが、他の年代では3割を下回っており、30歳代が約1割と最も少ない。



■居住区別クロス集計結果(③地域交通(バスなど)により、市内の移動が便利である)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計が上回っている。

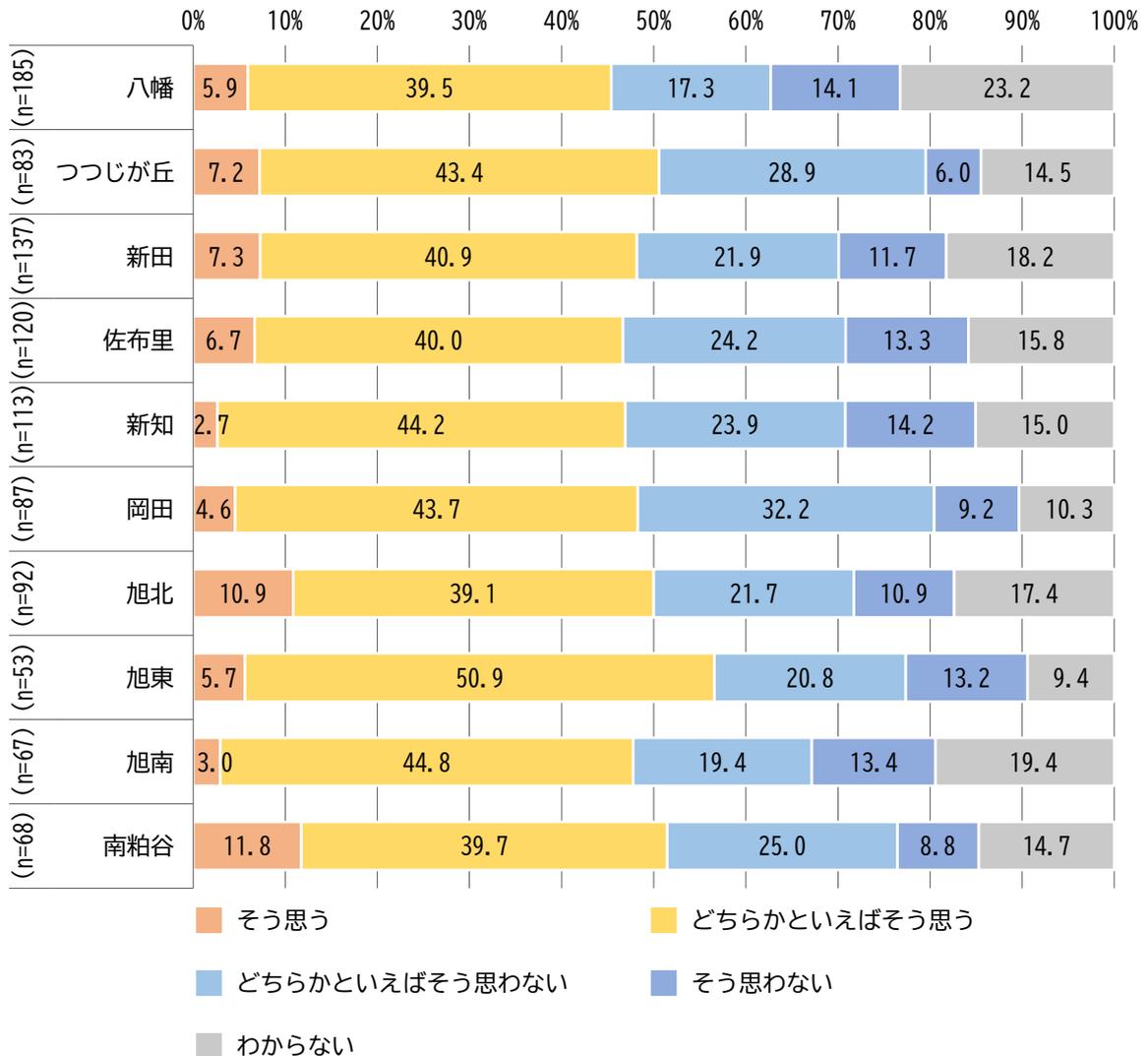
新田と旭東では約3割が便利だと思っており、他の居住区より多い。他の地区で便利だと思う人は約2割だが、岡田では約1割である。



■居住区別クロス集計結果(⑥普段の生活のなかで助け合える地域になっている)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

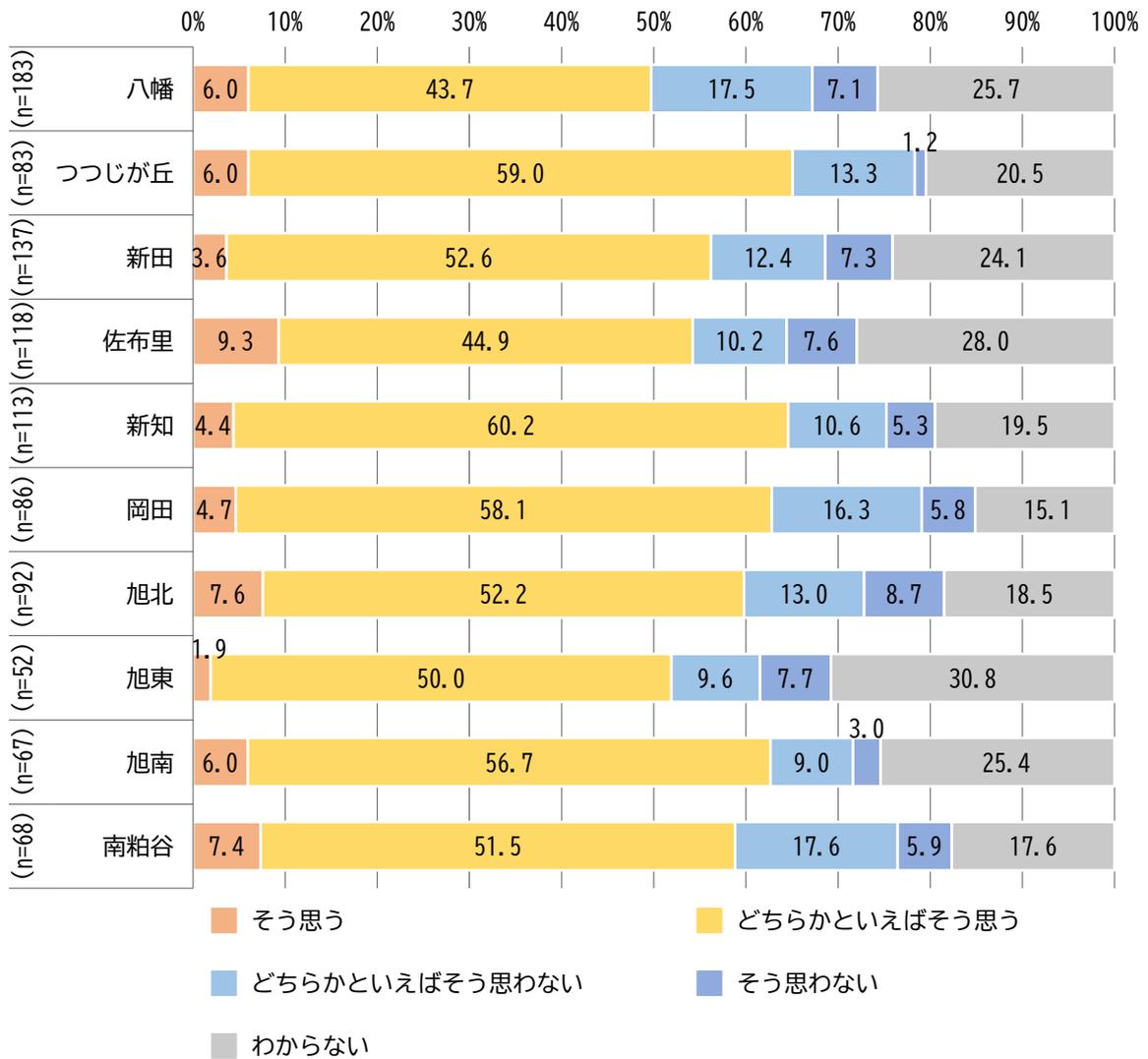
旭東で、助け合える地域になっていると思う人が約6割であり、他の居住区より多い。旭東以外の居住区では、助け合える地域になっていると思う人は約4～5割である。



■居住区別クロス集計結果(⑩子どもが地域や家庭で安心して育てられている)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

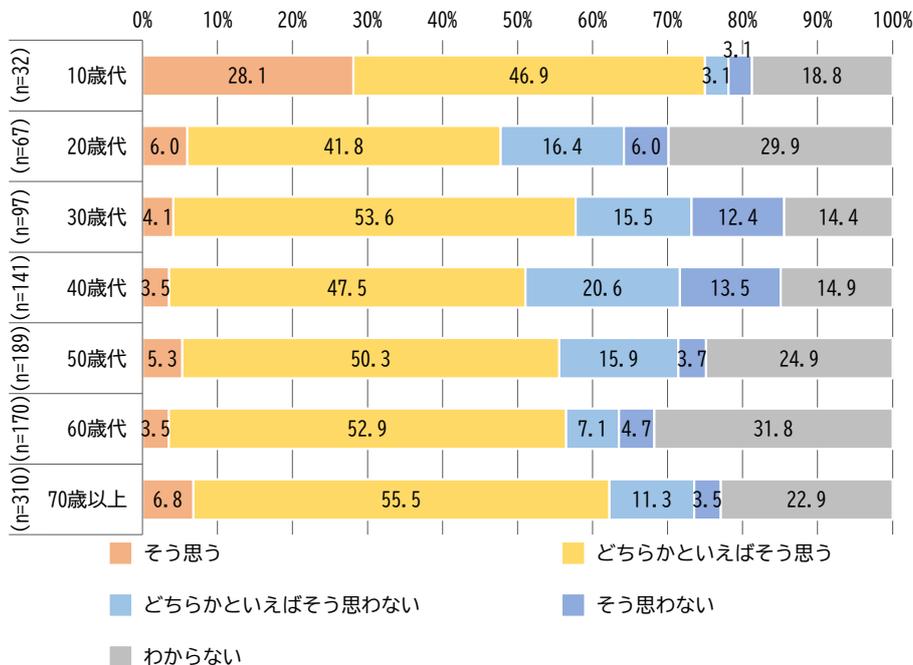
つつじが丘、新知、岡田、旭南では安心して育てられていると思う人は6割を超える一方、八幡、佐布里、旭東では約半数であり、他の居住区よりやや少ない。



■年齢別クロス集計結果(⑩子どもが地域や家庭で安心して育てられている)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

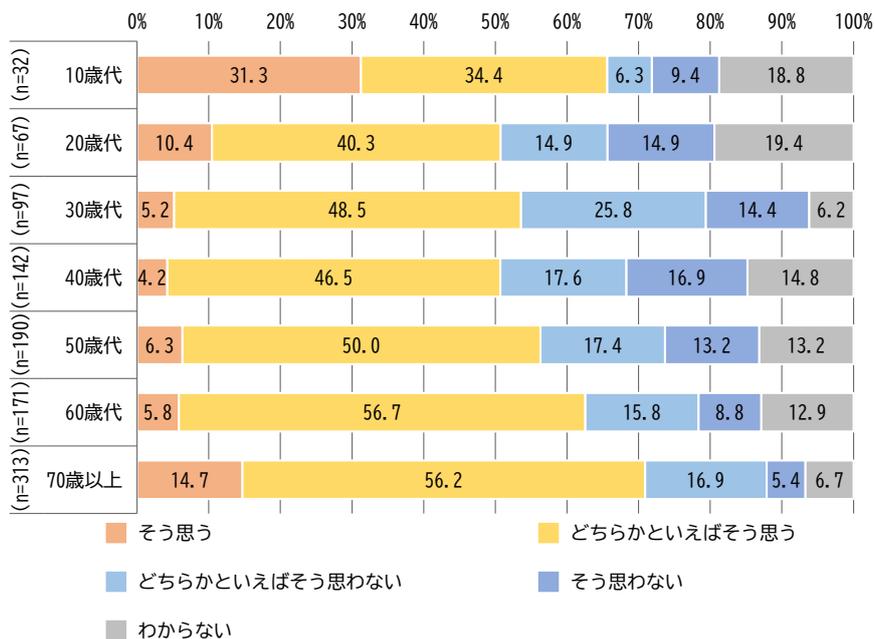
安心して育てられていると思う人は、10歳代では約8割だが、20、40歳代は約5割と他の年代より少ない。



■年齢別クロス集計結果(⑪医療体制が充実し、適切な医療が受けられている)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

70歳以上が受けられていると思う人が約7割と最も多い一方、20～40歳代は約5割であり、他の年代より少ない。40～70歳以上にかけて、受けられていると思う人が増加する傾向にある。

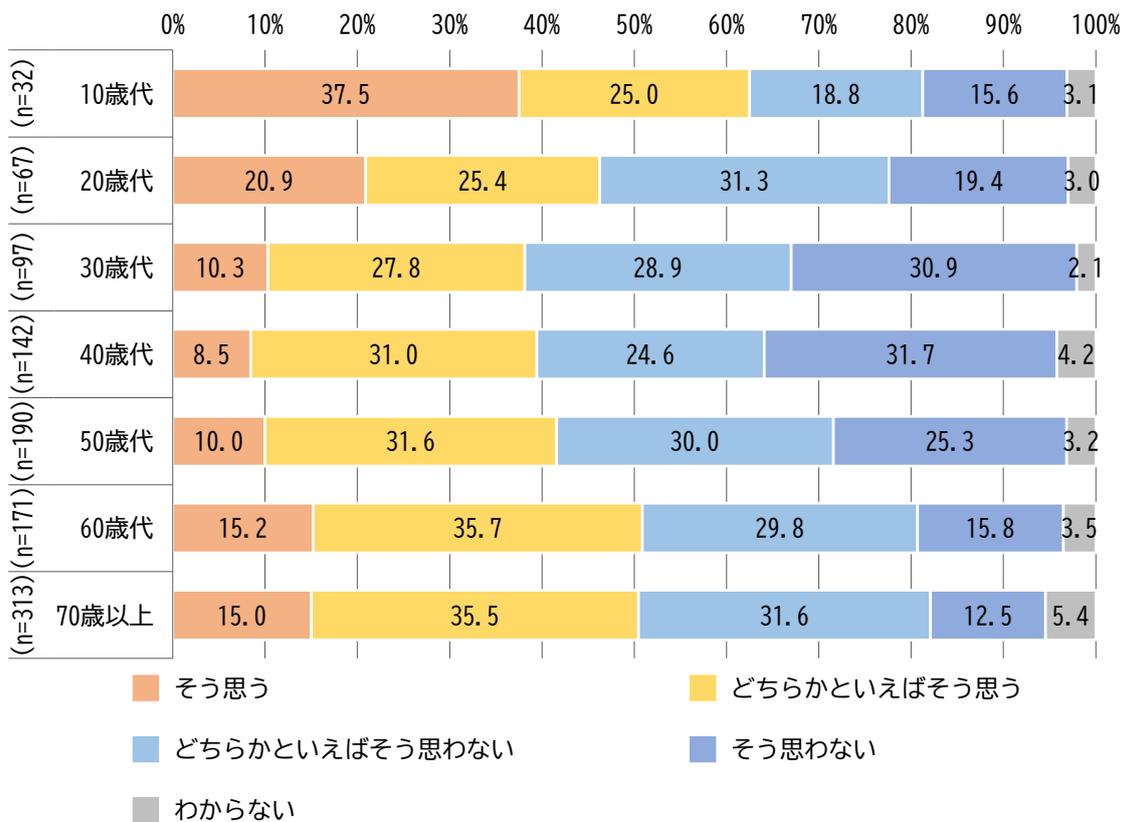


■年齢別クロス集計結果(⑬買物や外食で利用したい店がある)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、「10歳代(+28.1ポイント)」、「70歳以上(+6.4ポイント)」、「60歳代(+5.3ポイント)」では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計の方が上回っている。

一方、20～50歳代では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の方が上回っている。すなわち、20～50歳代の方は、買物や外食で利用したい店がないと思っている人が多い。

10歳代では利用したい店がある人が約6割だが、20～50歳代では半数以下である。特に、30～50歳代で、約4割であり、他の年代より少ない。

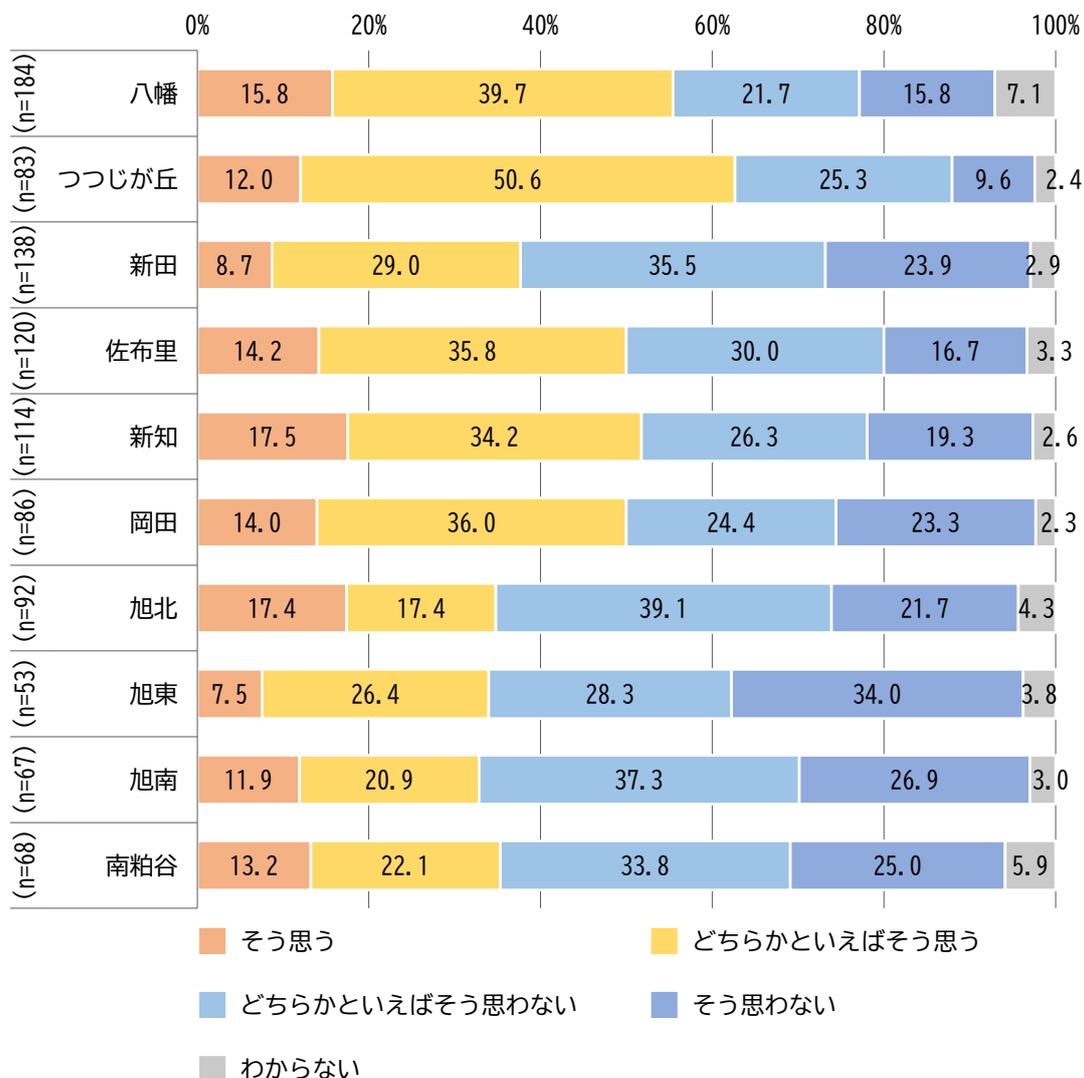


■居住区別クロス集計結果(⑬買物や外食で利用したい店がある)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、「つつじが丘(+27.7ポイント)」、「八幡(+18.0ポイント)」、「新知(+6.1ポイント)」、「佐布里(+3.3ポイント)」、「岡田(+2.3ポイント)」では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計の方が上回っている。

一方、「旭南(-31.4ポイント)」、「旭東(-28.4ポイント)」、「旭北(-26.0ポイント)」、「南粕谷(-23.5ポイント)」、「新田(-21.7ポイント)」では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の方が上回っている。すなわち、旭南、旭東、旭北、南粕谷、新田に住む人は、買物や外食で利用したい店がないと思っている人が多い。

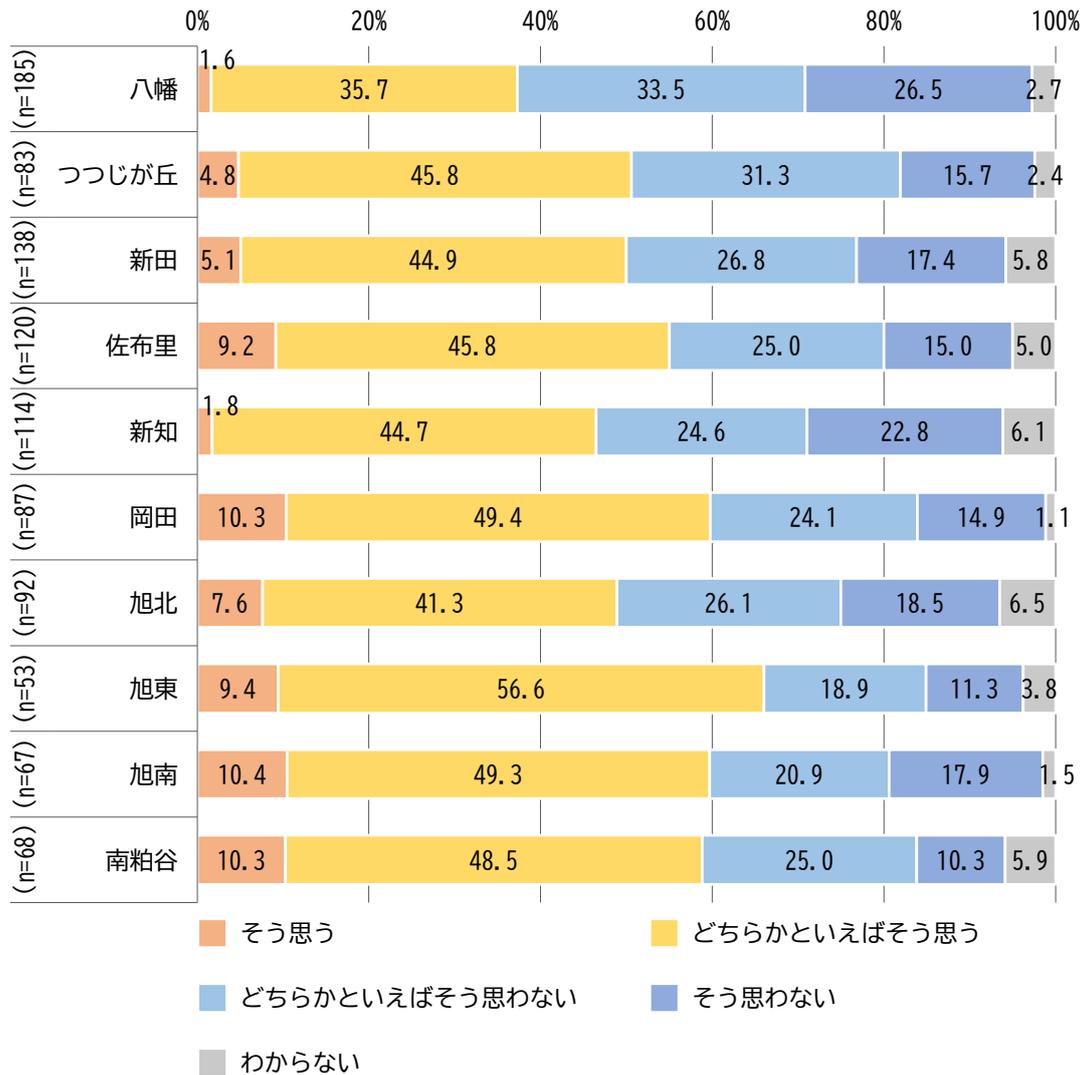
つつじが丘では利用したい店がある人が6割を超えている一方、新田、旭北、旭東、旭南、南粕谷では利用したい店がある人が4割を下回っており、他の居住区より少ない。



■居住区別クロス集計結果(⑱道路が安全で渋滞なく利用しやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、「八幡(-22.7ポイント)」と「新知(-0.9ポイント)」を除いた居住区では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計の方が上回っている。

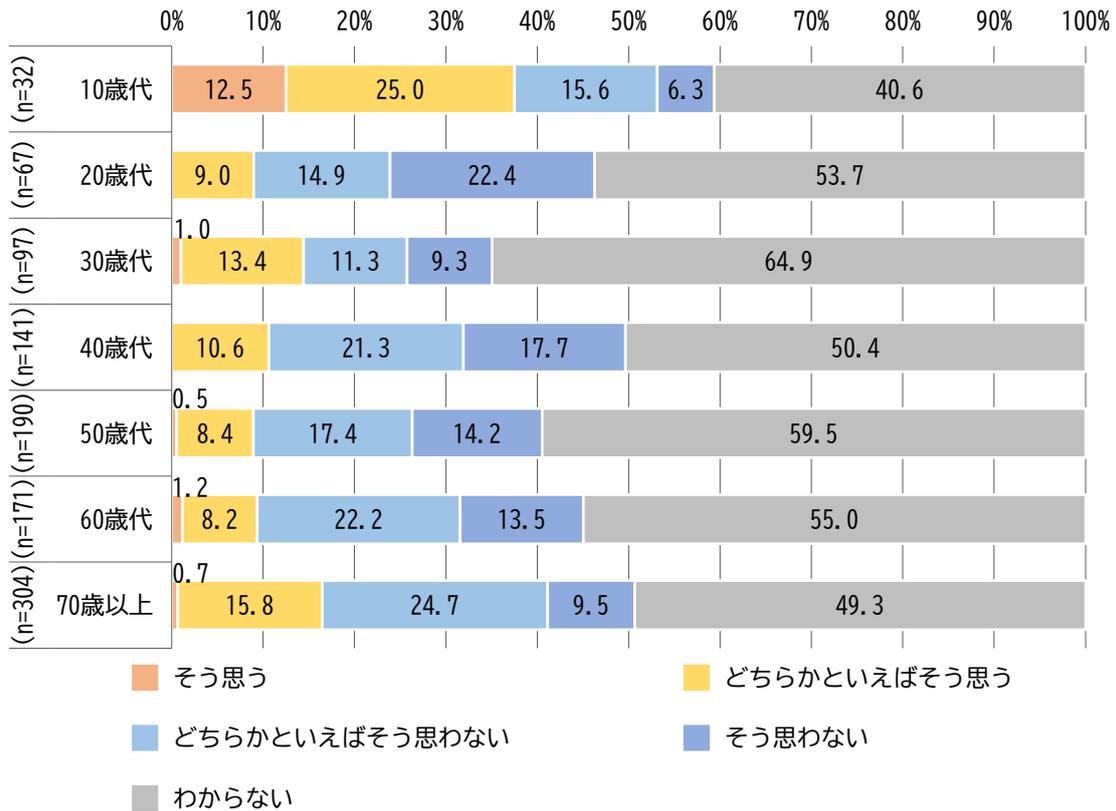
利用しやすいと思う人は旭東が約7割と最も多く、佐布里、岡田、旭南、南粕谷は約6割である。一方、八幡は4割を下回っており、他の居住区より少ない。



■年齢別クロス集計結果(②青少年が地域の行事やボランティア活動に参加している)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、「10歳代(+15.6ポイント)」を除いた年代では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の方が上回っている。

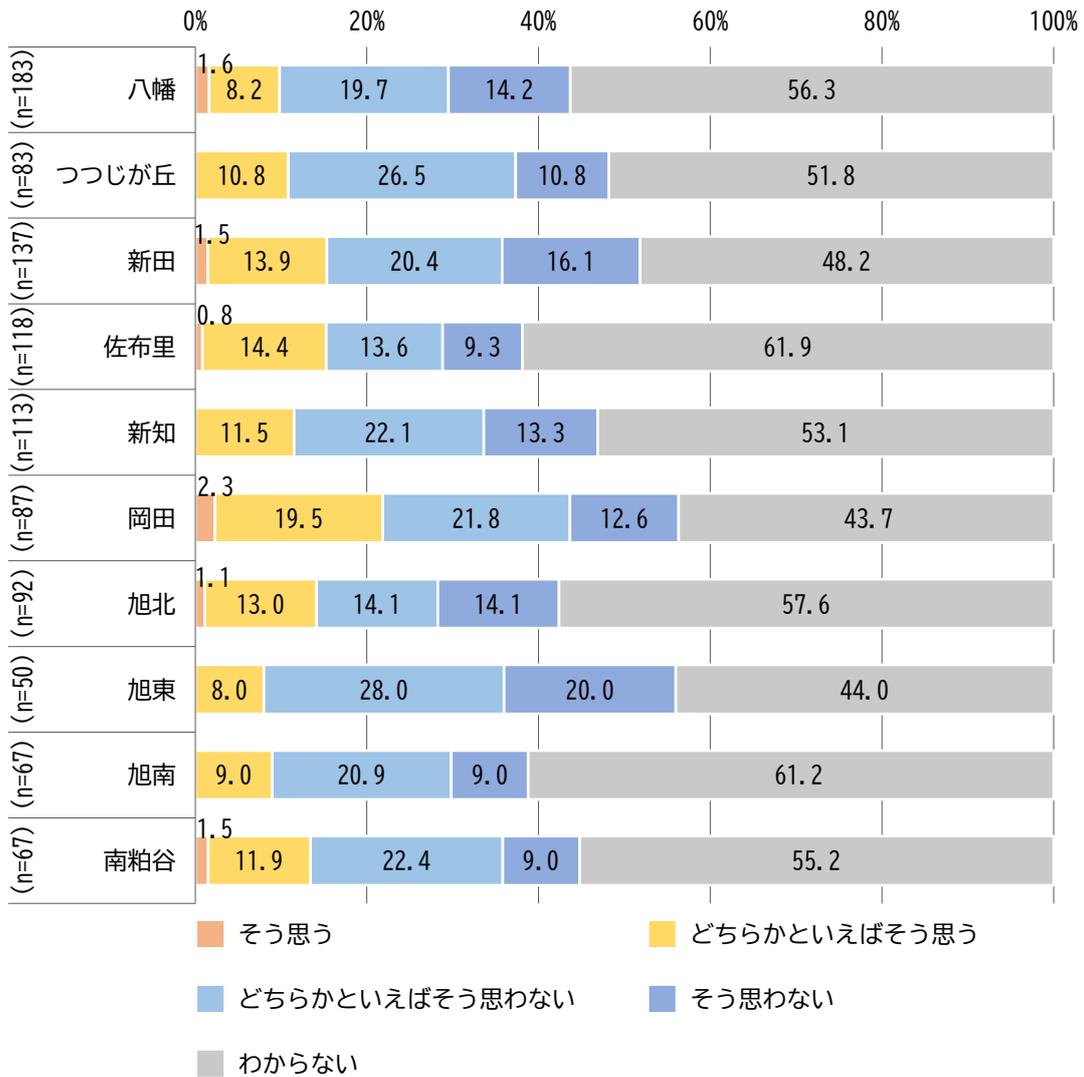
参加していると思う人は、10歳代では約4割、70歳以上では約2割である一方、20～60歳代では、約1割であり、多くの人が参加していないと思っている。



■居住区別クロス集計結果(②青少年が地域の行事やボランティア活動に参加している)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の方が上回っている。

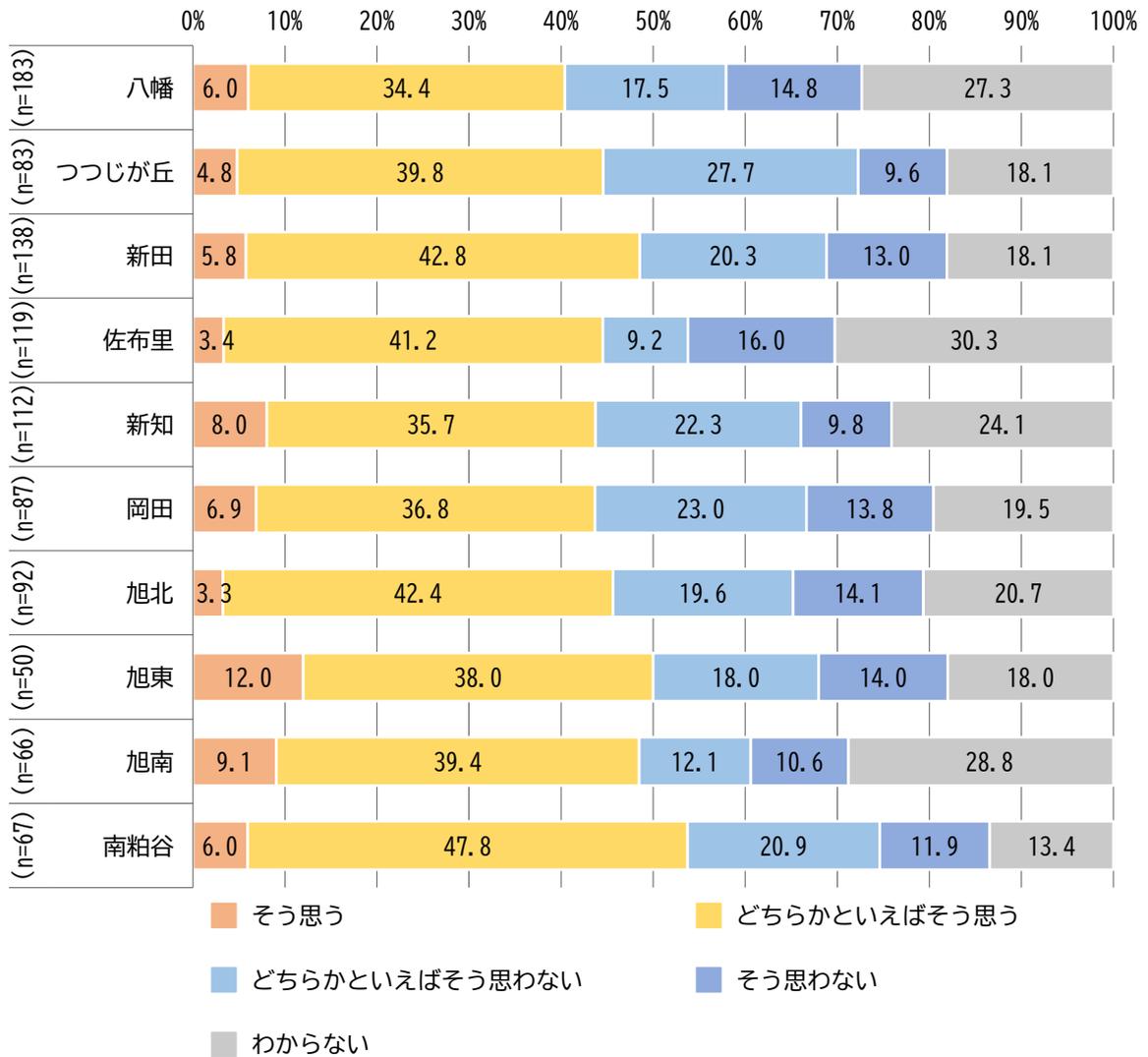
岡田では、参加していると思う人が2割を超えており、他の居住区より多い。八幡、旭東、旭南では1割を下回っている。



■居住区別クロス集計結果(②コミュニティ、町内会、自治会などの地域活動が活発に行われている)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計の方が上回っている。

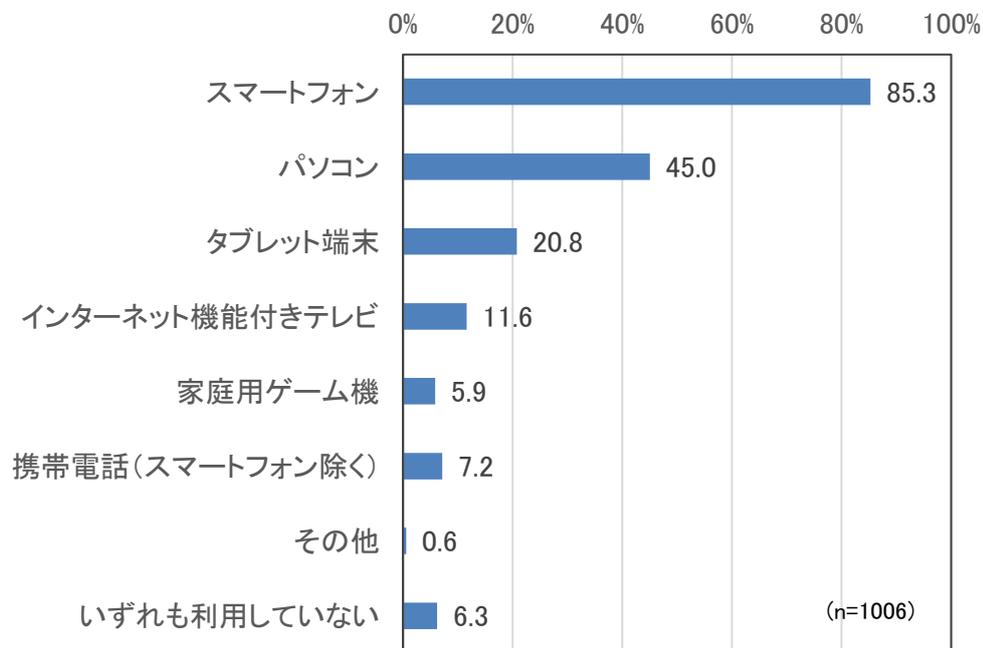
各居住区で、行われていると思う人が約4～5割である。



(5) 市のデジタル化に対して感じていることについて

問13. 普段どのような情報通信機器でインターネットを利用しているか (MA)

「スマートフォン」の割合が最も高く85.3%である。次いで、「パソコン(45.0%)」、「タブレット端末(20.8%)」である。

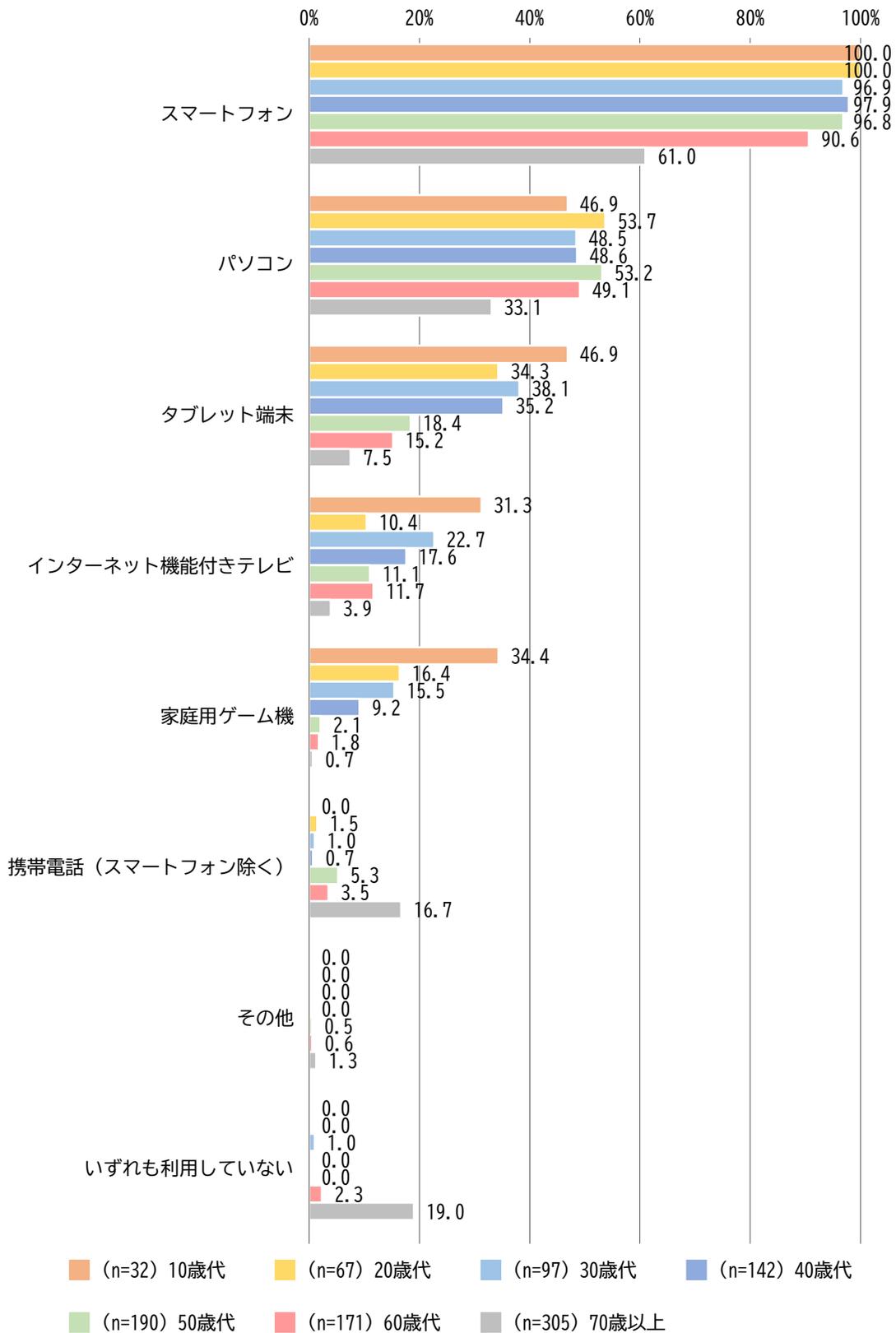


(その他の主な回答)

情報を知りたい時は娘や孫に調べてもらう／車載器 DCM／翻訳機

■年齢別クロス集計結果

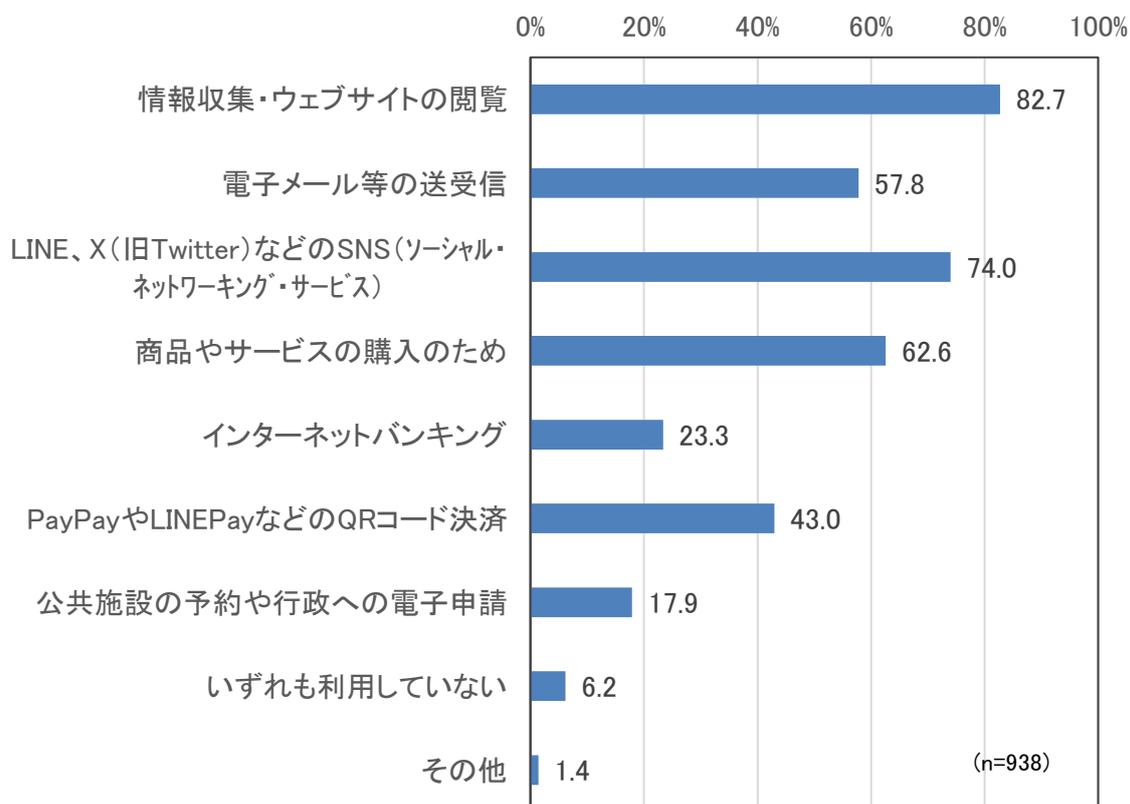
全ての年代で「スマートフォン」の割合が最も高い。10～60歳代まで9割を超えているが、70歳以上では約6割に下がる。70歳以上は、「スマートフォンを除く携帯電話」が約2割であり、他の年代より高い。さらに、70歳以上は「いずれも利用していない」の割合も約2割であり、他の年代より高い。



問14. 普段インターネットをどのようなことに利用しているか (MA)

「情報収集・ウェブサイトの閲覧」の割合が最も高く82.7%である。次いで、「LINE、X(旧 Twitter)などのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)(74.0%)」、「商品やサービスの購入のため(62.6%)」である。

公共施設の予約や行政への電子申請は17.9%に留まる。



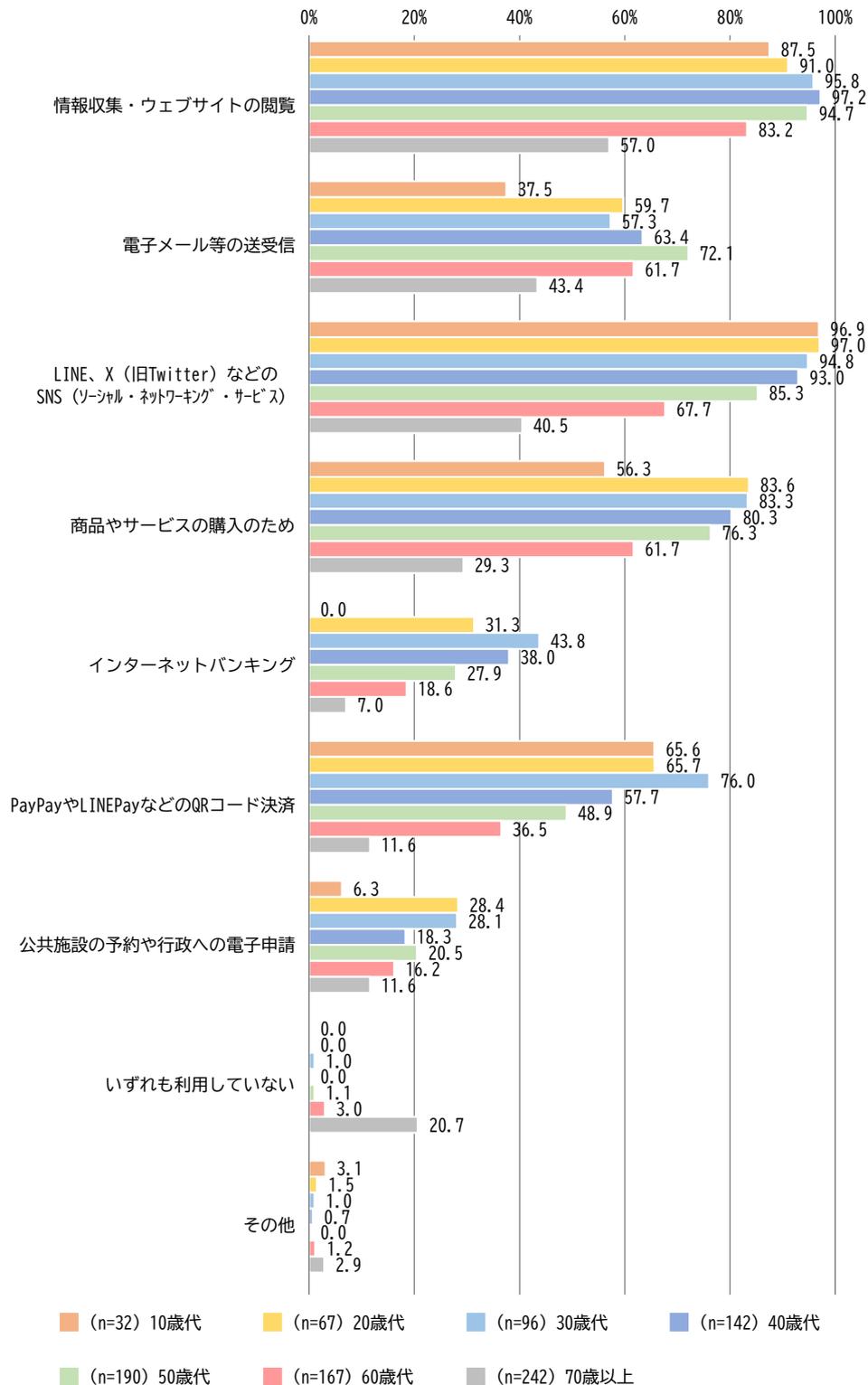
(その他の主な回答)

YouTube／地図アプリ／ゲーム／株取引／テレワーク／病院の予約

■年齢別クロス集計結果

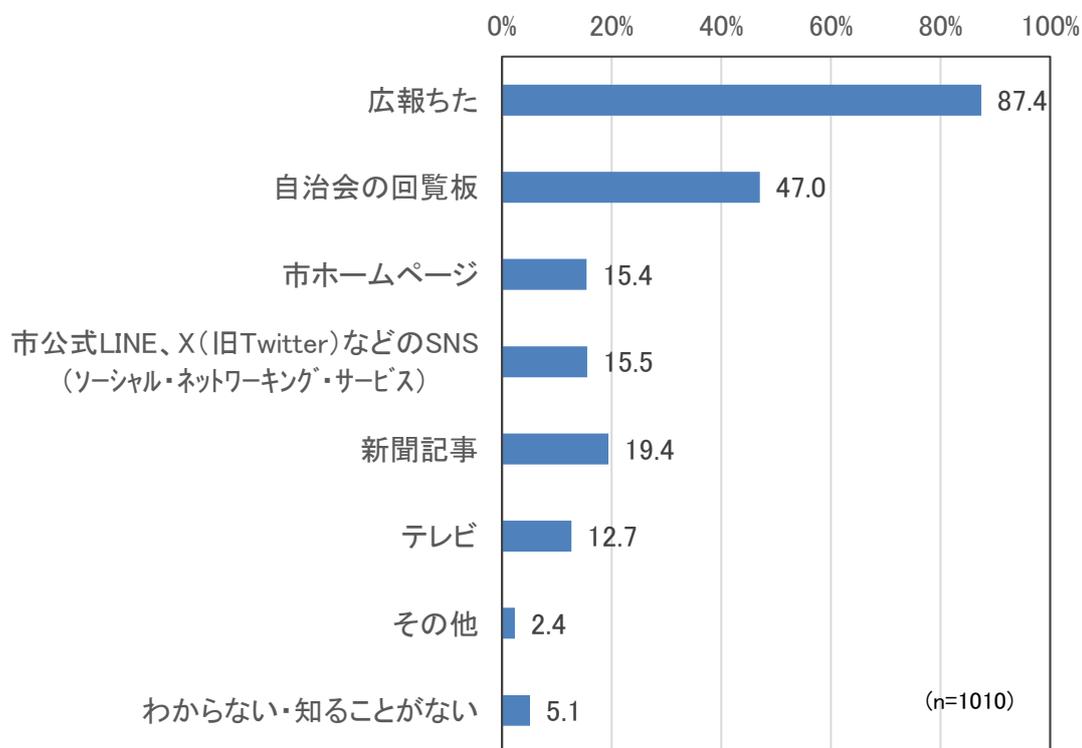
「情報収集・ウェブサイトの閲覧」に着目すると、10～60歳代は8割を超えているのに対し、70歳以上は約6割である。SNS、商品やサービスの購入は20歳代をピークに、年代が上がるにつれ、低くなっていく傾向がある。

「いずれも利用していない」人は70歳以上で約2割おり、「問13.普段どのような情報通信機器でインターネットを利用しているか」における「いずれも利用していない」の割合と概ね同程度になっている。



問15. 知多市が発信する情報をどのような媒体から知ることが多いか (MA)

「広報ちた」の割合が最も高く87.4%である。次いで、「自治会の回覧板(47.0%)」、「新聞記事(19.4%)」である。市ホームページや市公式 SNS は2割を下回る。



(その他の主な回答)

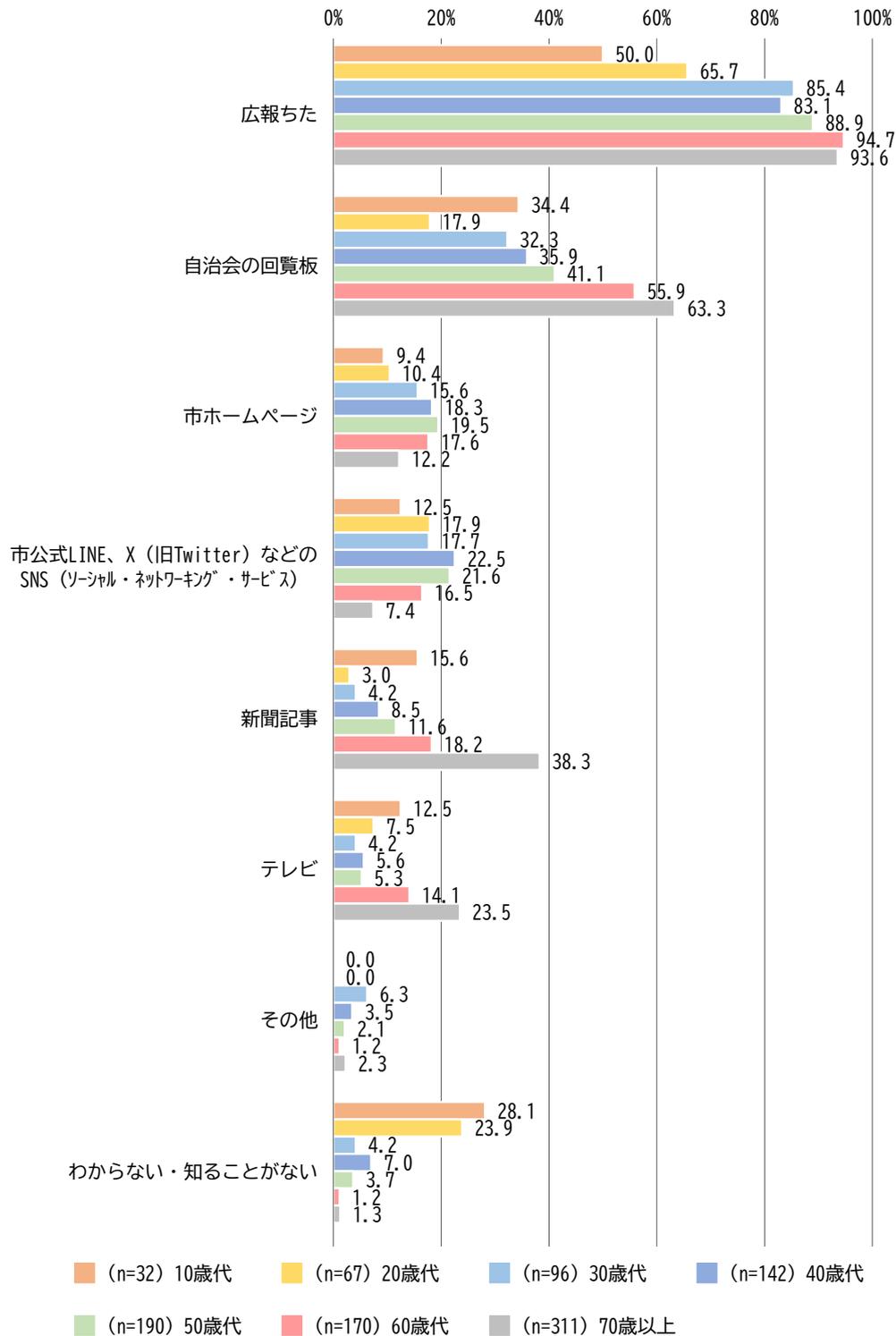
友達／姉／市議会議員からのメール／人づて／町内放送／一斉放送／会社から連絡がくる／ラジオ／防災速報のアプリ

■年齢別クロス集計結果

全ての年代で「広報ちた」の割合が最も高い。30～50歳代で8割、60～70歳以上で9割を超えているが、10歳代では5割、20歳代で約7割である。自治会の回覧板、新聞記事は20～70歳以上にかけて、割合が高くなっていく傾向がある。

市ホームページでは、10～20歳代と70歳以上で約1割であり、他の年代より低い。

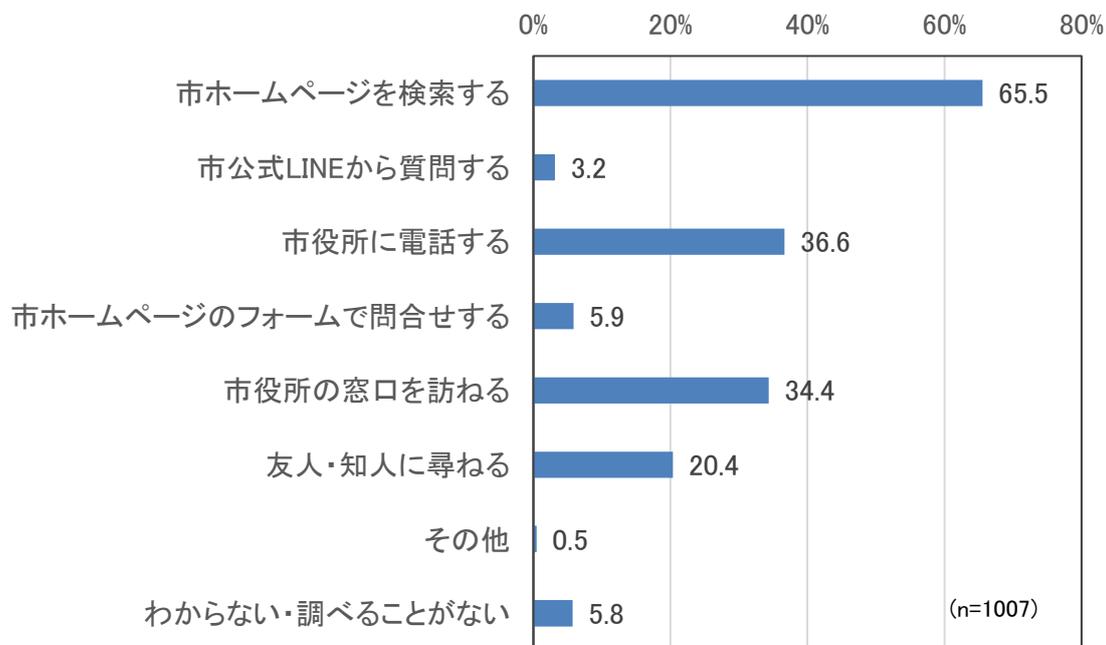
「わからない・知ることがない」では、10歳代が約3割、20歳代が約2割であり、若い年代でそのように思う人が多い。



問16. 行政サービスを利用したい場合、どのように調べるか (MA)

「市ホームページを検索する」の割合が最も高く65.5%である。次いで、「市役所に電話する(36.6%)」、「市役所の窓口を訪ねる(34.4%)」である。

「市公式 LINE から質問する」や「市ホームページのフォームで問合せする」は、1割を下回っており、他の方法より少ない。



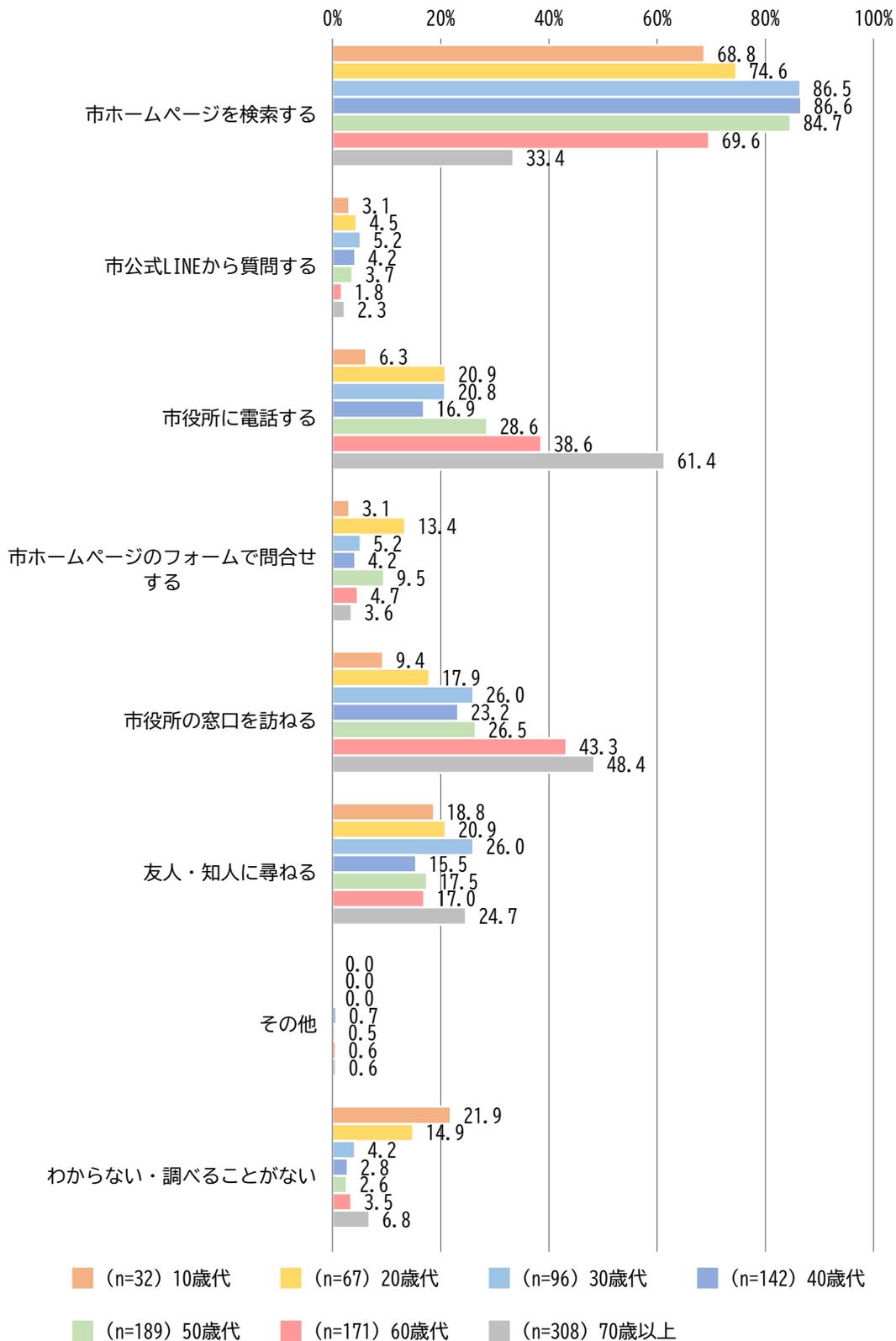
(その他の主な回答)

インターネットで調べる

■年齢別クロス集計結果

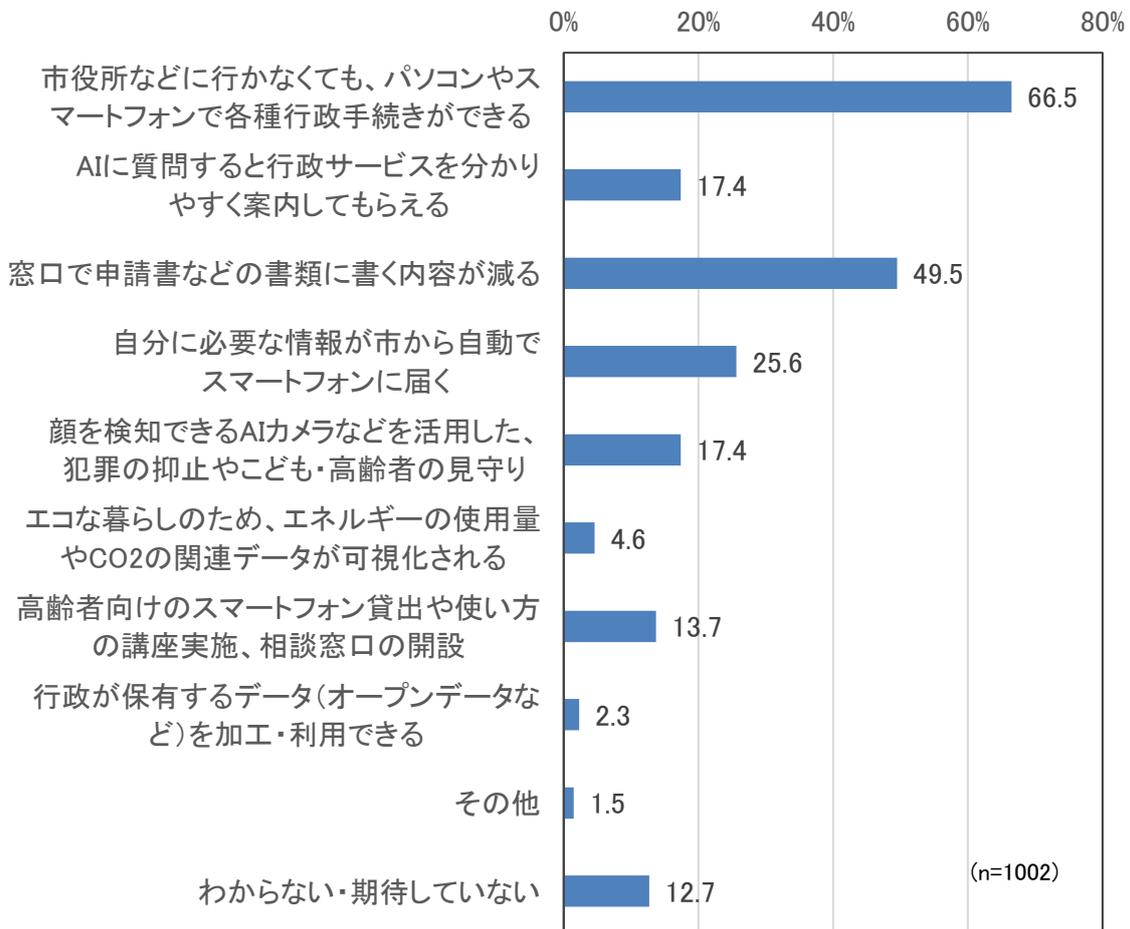
10～60歳代では「市ホームページを検索する」の割合が最も高く、特に30～50歳代で高い。70歳以上では33.4%に留まる一方、「市役所に電話する」が61.4%と他の年代より高い。

また、60～70歳以上は、「市役所の窓口を訪ねる」が他の年代より高い。高齢者になるにつれ、デジタルツールよりも、人に直接聞いて調べている。



問17. 今後、行政サービスのデジタル化が進む中で、どのようなサービスに期待しているか (MA)

「市役所などに行かなくても、パソコンやスマートフォンで各種行政手続きができる」の割合が最も高く66.5%である。次いで、「窓口で申請書などの書類に書く内容が減る(49.5%)」、「自分に必要な情報が市から自動でスマートフォンに届く(25.6%)」である。



(その他の主な回答)

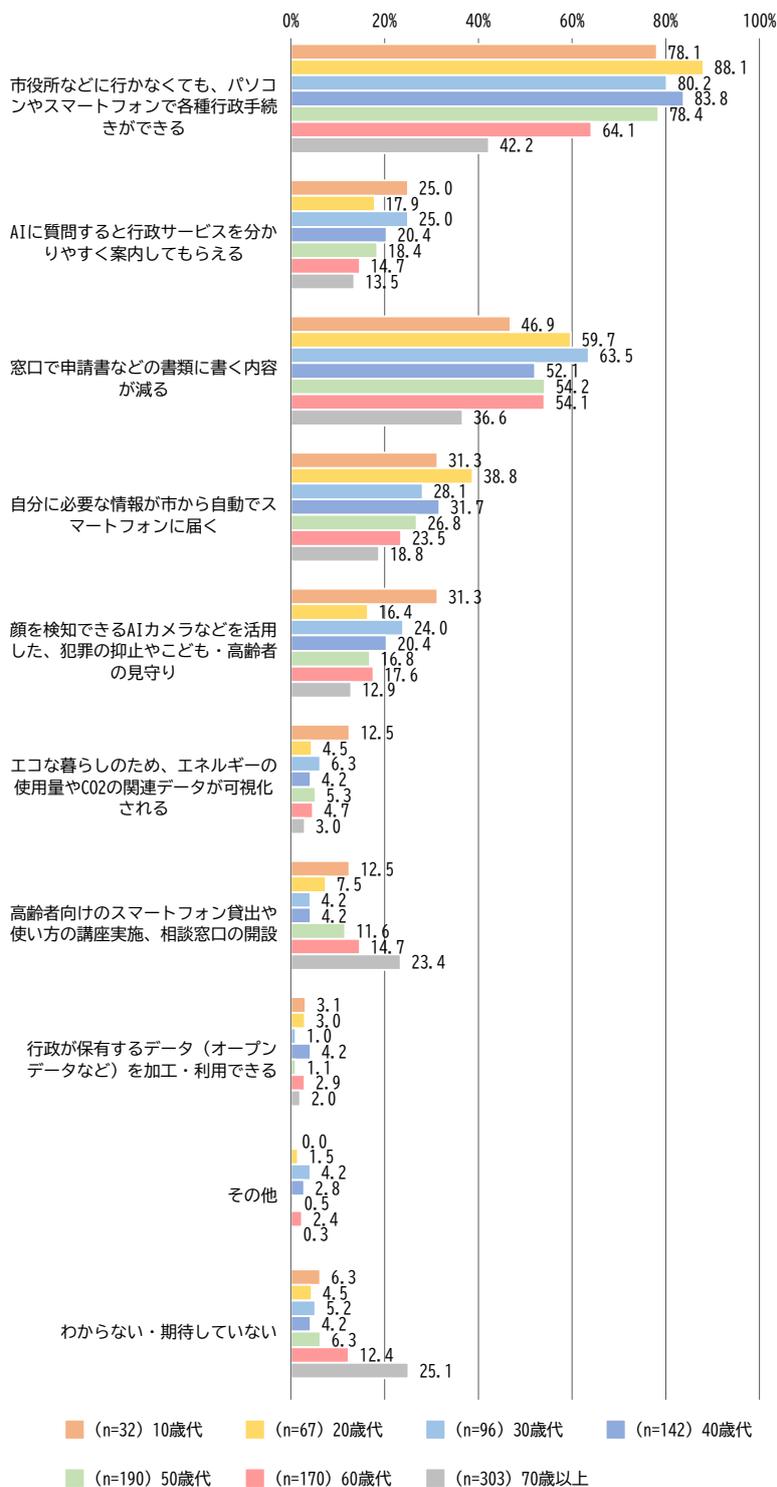
便利になることより犯罪に利用されないように、安全性、セキュリティを保持してほしい／AIで土日も対応してもらえる／ゴミ出しの動画説明(注意点)／毎火曜日18:00～の防災部放送が聞き取れない。デジタル化を望む／迅速で分かりやすい対応のサービスを期待する／道の修繕や、学校、防災などの提案困りごとの受付メール窓口／申請だけが必要なものは、自動的に手続きして、事後に知らせるなどのサービス／ホームページ等での情報量をもっと増やして欲しい／保育園申込を一斉申込、随時申込、一時保育申込、第二子出産・退園後にもう一度同じ申込を一からする煩雑さをどうかしてほしい。一回使ったデータをすぐ取り出せるようにしてほしい／市議会をリモート参加出来たり、専用フォームやメールで質問出来たり、配信が見られるようにしてほしい

■年齢別クロス集計結果

全ての年代で「市役所などに行かなくても、パソコンやスマートフォンで各種行政手続きができる」の割合が最も高く、10～50歳代で約8割又はそれ以上となっている。60～70歳以上にかけて、下がっている。

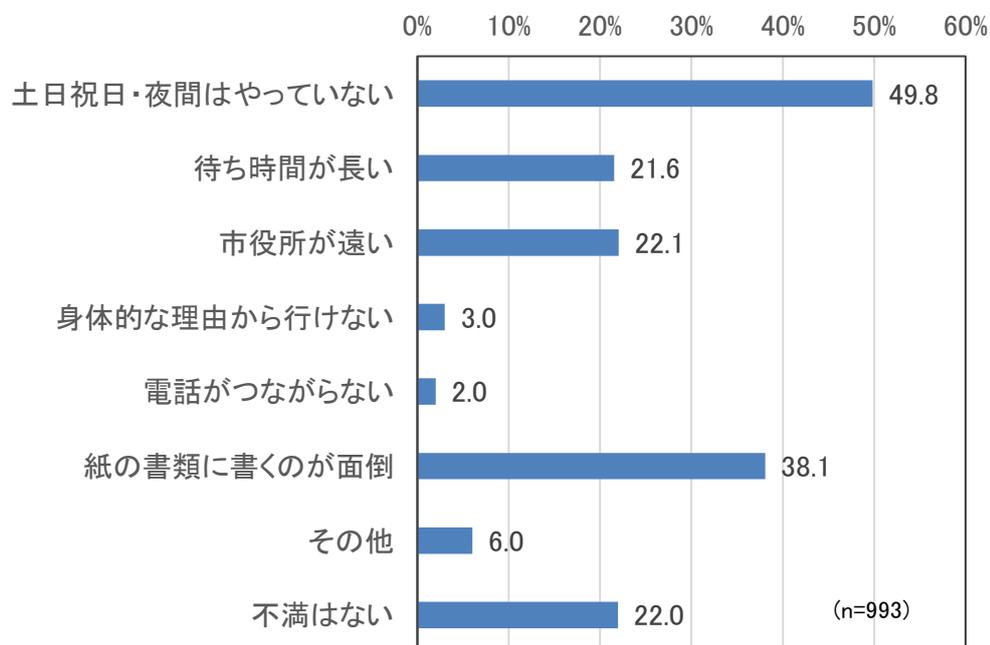
「窓口で申請書などの書類に書く内容が減る」は10～60歳代で約5割又はそれ以上となっている一方、70歳以上では約4割に留まる。

70歳以上は、全体的に他の年代より低い、「高齢者向けのスマートフォン貸出や使い方の講座実施、相談窓口の開設」と「わからない・期待していない」は、他の年代を上回り、約2割である。



問18. 現在の行政サービスに対して不満に思っていること (MA)

不満に思っていることとして、「土日祝日・夜間はやっていない」の割合が最も高く49.8%である。次いで、「紙の書類に書くのが面倒(38.1%)」、「市役所が遠い(22.1%)」、「待ち時間が長い(21.6%)」である。



(その他の主な回答)

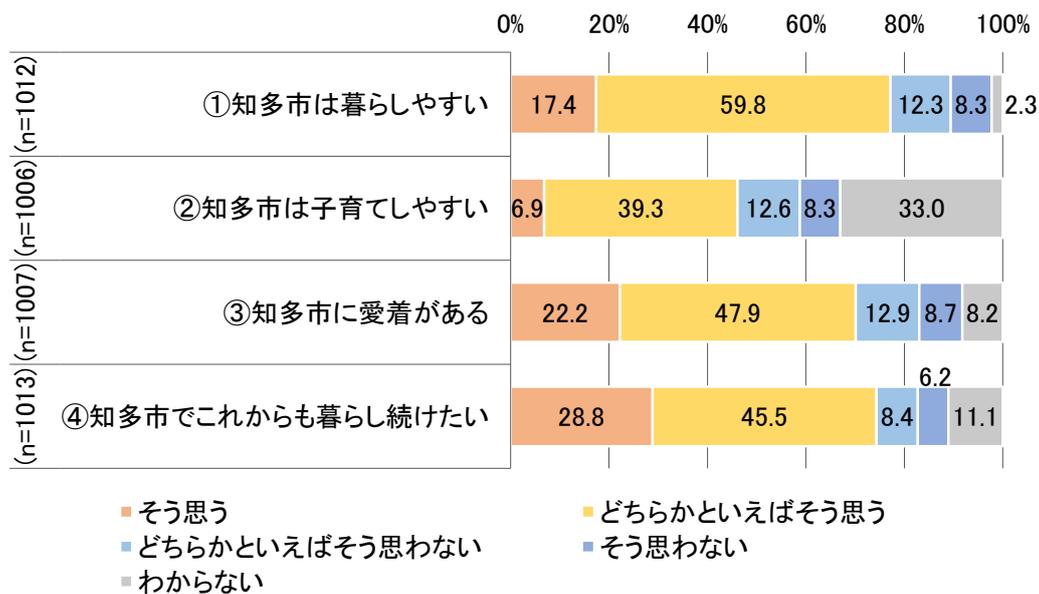
各種行政サービスが市で統一してできるようになることを望む／横の連携で、同じことを何度もしなくてもいいようになるといい／手続きを1つすれば、関連があるものは全て手続き済みになると、いくつも窓口に行く手間がなくなる／行政文書の内容が理解しがたい／知りたい行政サービスの問い合わせ先や内容をうまく検索できない、又はHPに載っていない／窓口が分かりにくくて、どこに行けば良いのか分からない／グラウンドの使用手続、事務処理等のムダ／施設予約がとにかく煩わしい／申請書類の処理、手元に戻ってくる時間が掛かり過ぎ／車に乗れなくなったら行けない／仕事で忙しくていけない／県外の本籍証明がコンビニで取得できない／確定申告をするとき、スマートフォンを使って申告するのは心配(情報漏洩など)／一斉放送の音は何を云っているのかわからない／デジタル化が遅すぎる

(6) 市全般について

問19. 「知多市」全般について考えに最も近いもの (SA)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計に着目すると、「①知多市は暮らしやすい」における割合が最も高く77.2%である。次いで、「④知多市でこれからも暮らし続けたい(74.3%)」、「③知多市に愛着がある(70.1%)」、「②知多市は子育てしやすい(46.2%)」である。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、4項目すべてで「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っているが、「②知多市は子育てしやすい」は他の項目より、思っている人が少ない(+25.3ポイント)。

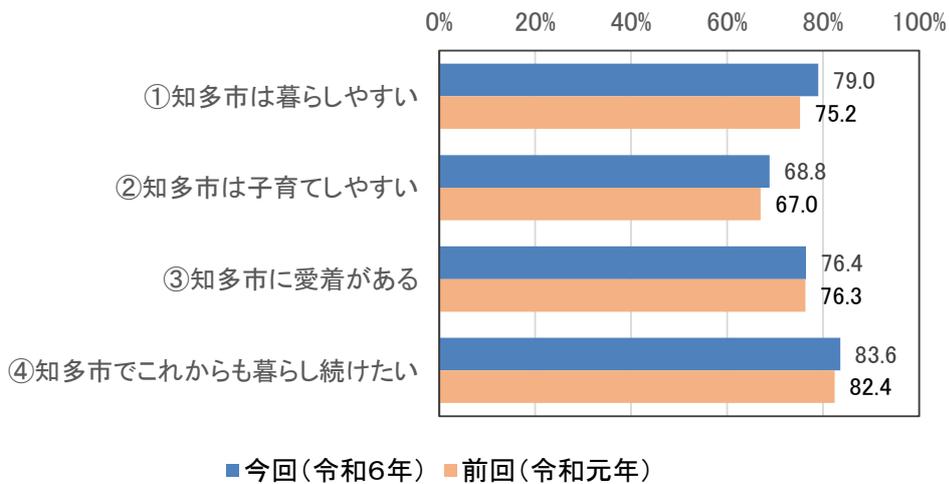


(参考)総合計画の目標値の進捗管理のための再集計

総合計画の目標値の進捗管理をするにあたり、「わからない」を除いた回答数を母数とし、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた値を算出した。

「知多市でこれからも暮らし続けたい」が83.6%で最も多くなったことをはじめ、全ての項目が概ね7～8割となった。前回(令和元年)の調査結果と比較して、大きな差はなく、4項目全てで微増となっている。

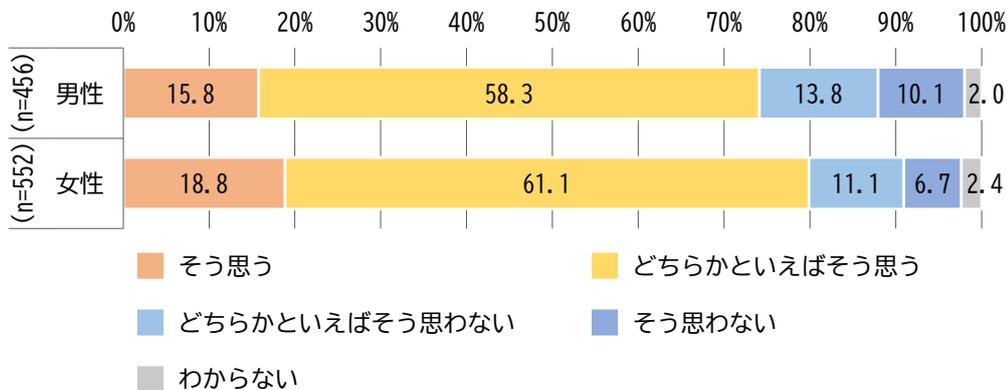
- ・ 「①知多市は暮らしやすい」(+3.8ポイント)
- ・ 「②知多市は子育てしやすい」(+1.8ポイント)
- ・ 「④知多市でこれからも暮らし続けたい」(+1.2ポイント)
- ・ 「③知多市に愛着がある」(+0.1ポイント)



■性別クロス集計結果(①知多市は暮らしやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、男女ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

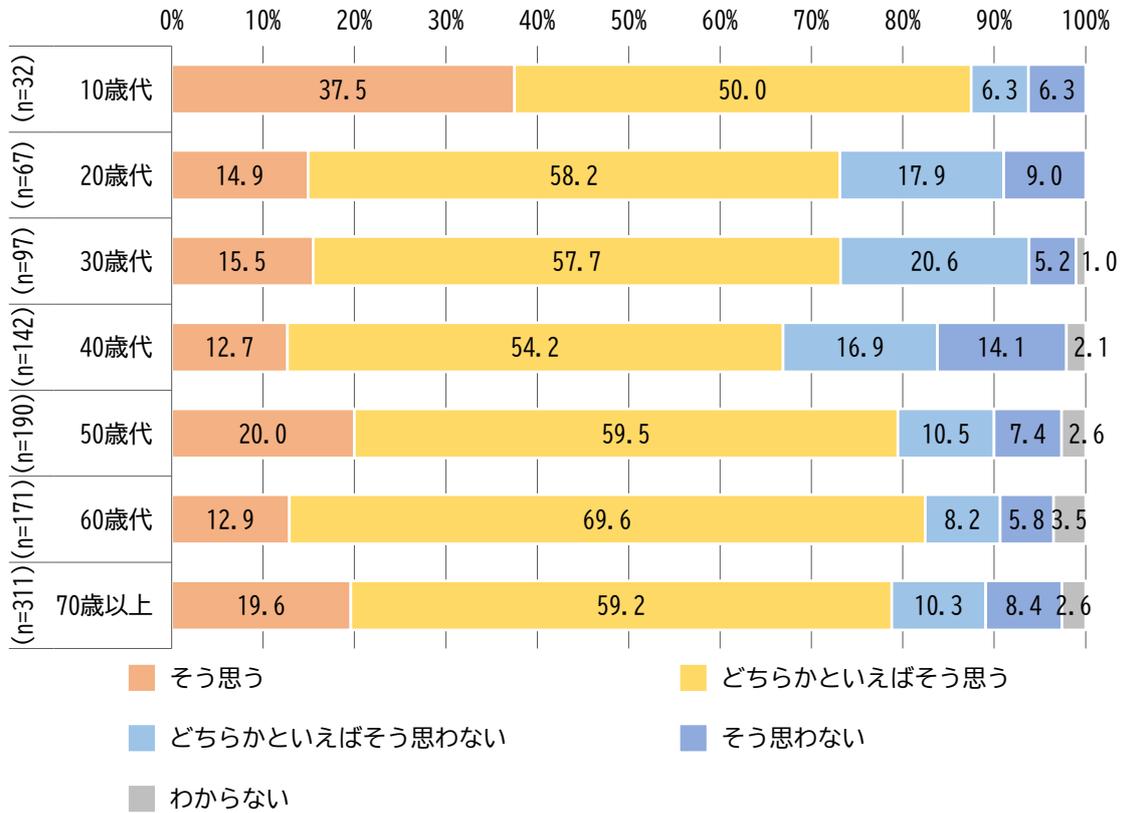
男性で暮らしやすいと思う人は約7割、女性で約8割である。



■年齢別クロス集計結果(①知多市は暮らしやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

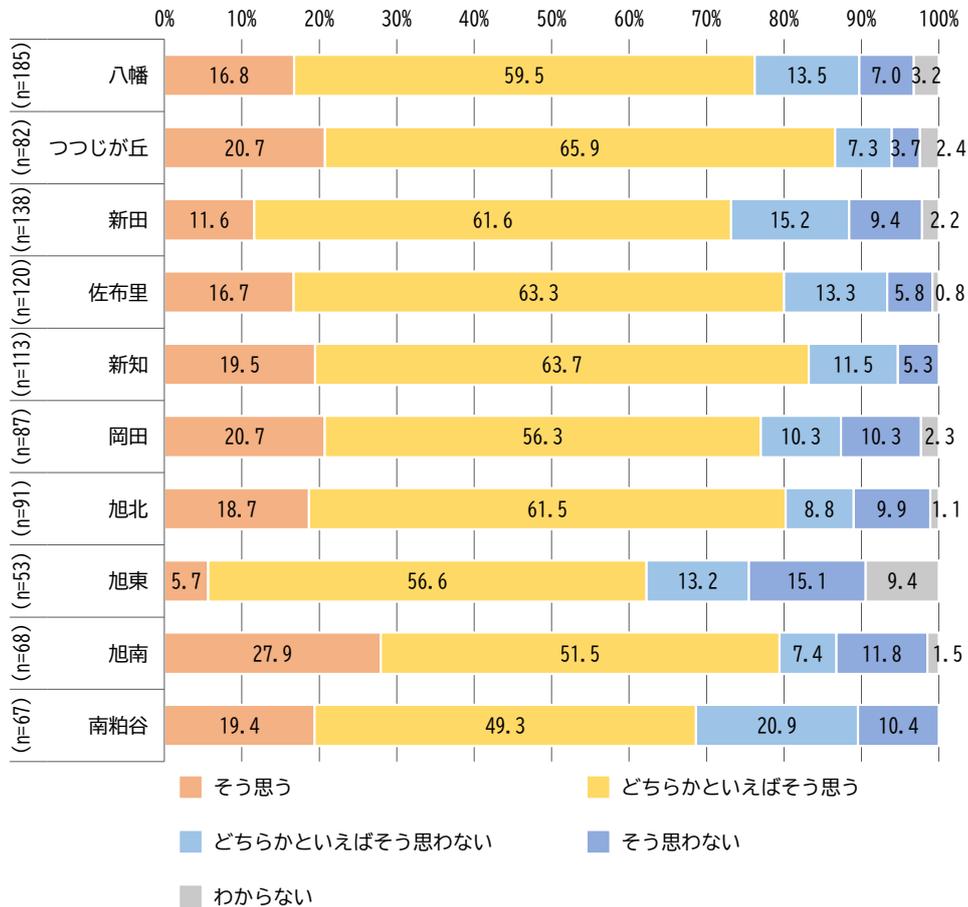
10歳代で暮らしやすいと思う人が約9割と最も多くなる一方で、20～40歳代は約7割と少ない。40歳代は7割を下回る。



■居住区別クロス集計結果(①知多市は暮らしやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

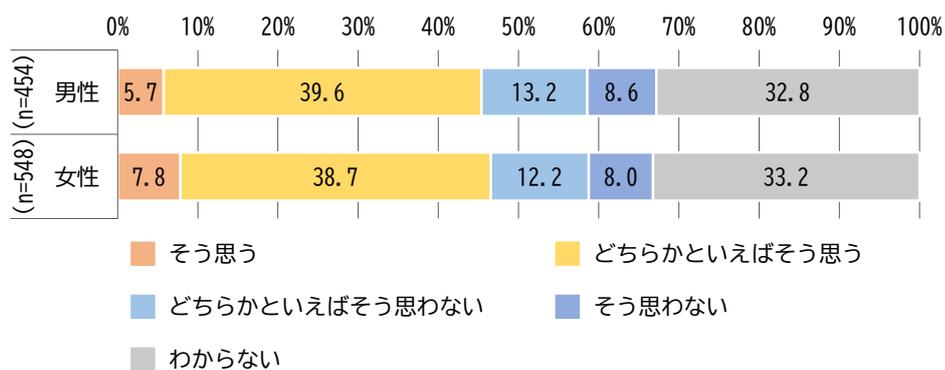
全体的に、約7～8割の人が暮らしやすいと思っているが、旭東では約6割であり、他の居住区より少ない。



■性別クロス集計結果(②知多市は子育てしやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、男女ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

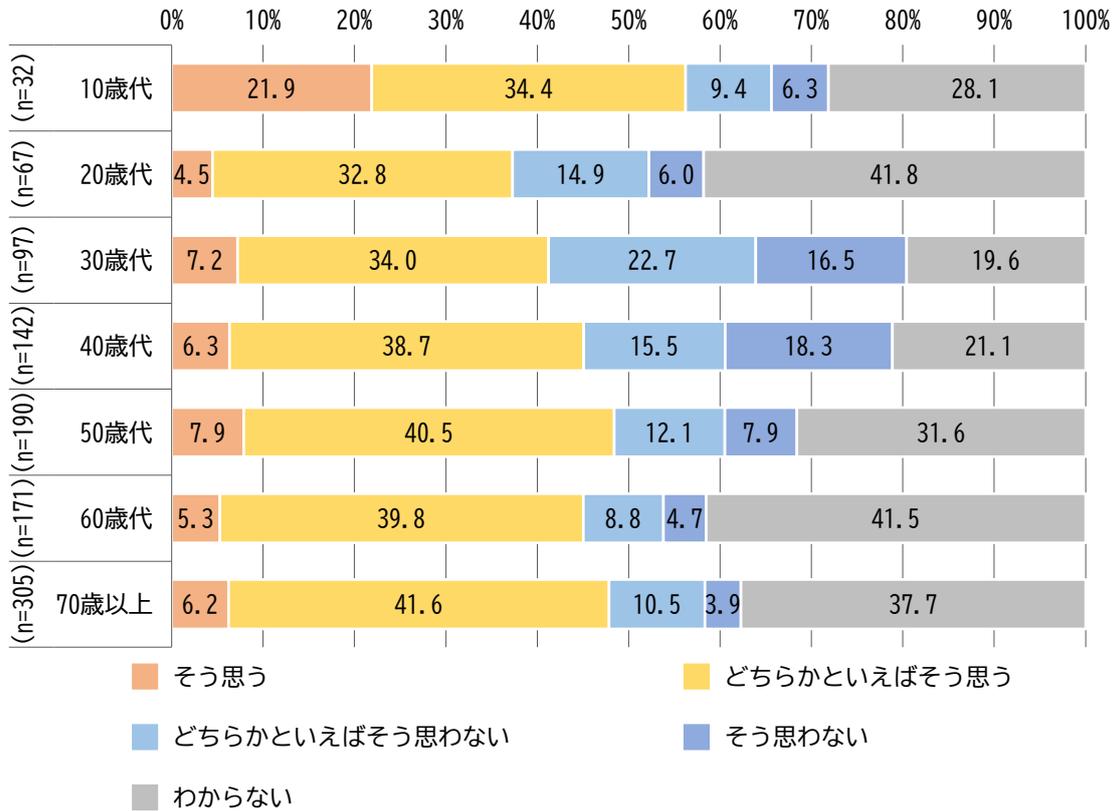
男女とも子育てしやすいと思う人は約半数であり、大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(②知多市は子育てしやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

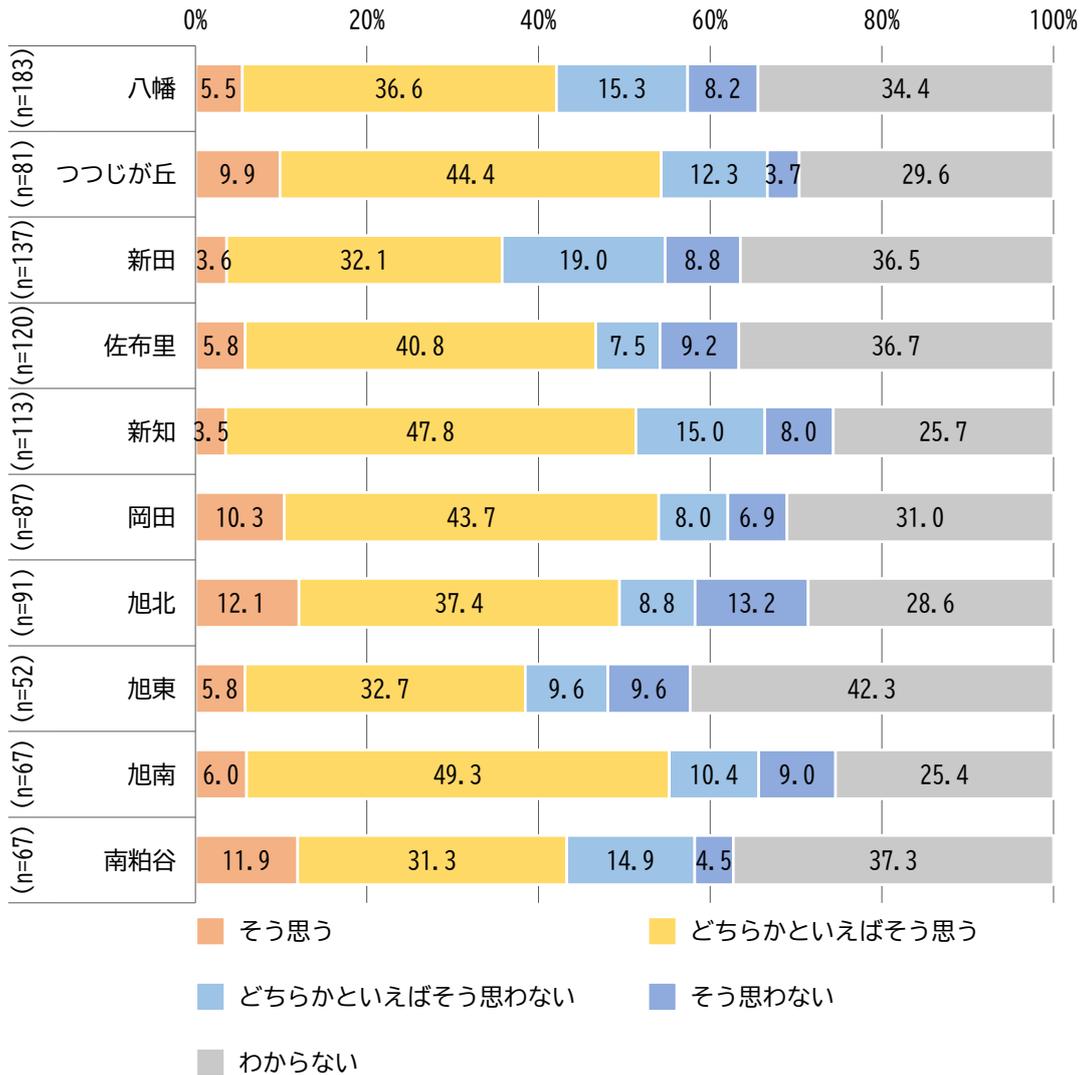
10歳代を除き、20～70歳以上では子育てしやすいと思う人が半数を下回っている。20～30歳代で約4割であり、他の年代より少ない。



■居住区別クロス集計結果(②知多市は子育てしやすい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

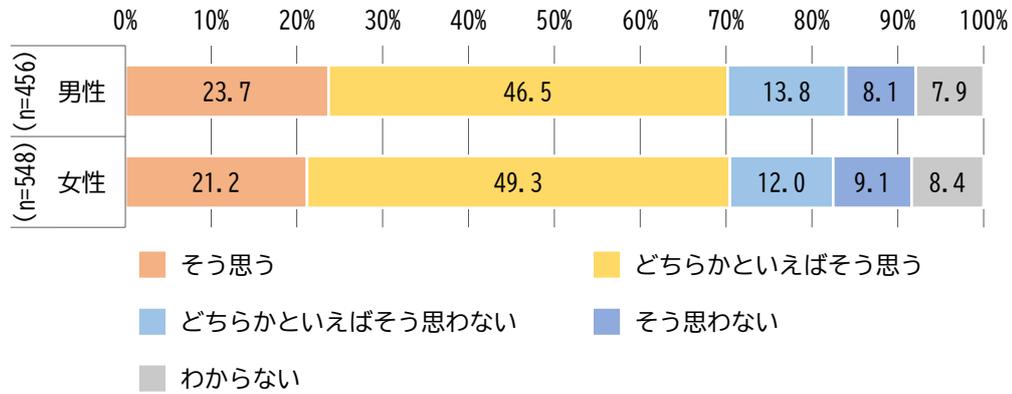
ただ、子育てしやすいと思う人が5～6割の居住区が多い中、新田と旭東では4割を下回っており、他の居住区より少ない。八幡、南粕谷も約4割である。



■性別クロス集計結果(③知多市に愛着がある)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、男女ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

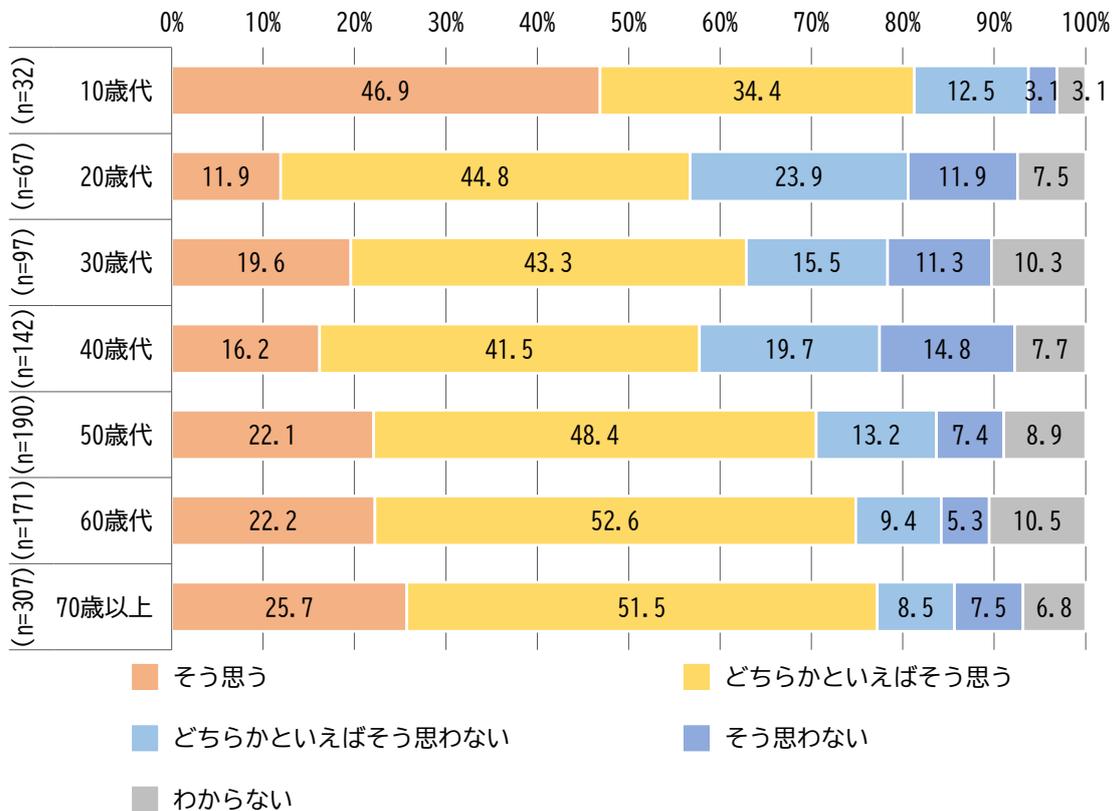
男女とも愛着がある人は約7割であり、男女で大きな差は見られない。



■年齢別クロス集計結果(③知多市に愛着がある)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

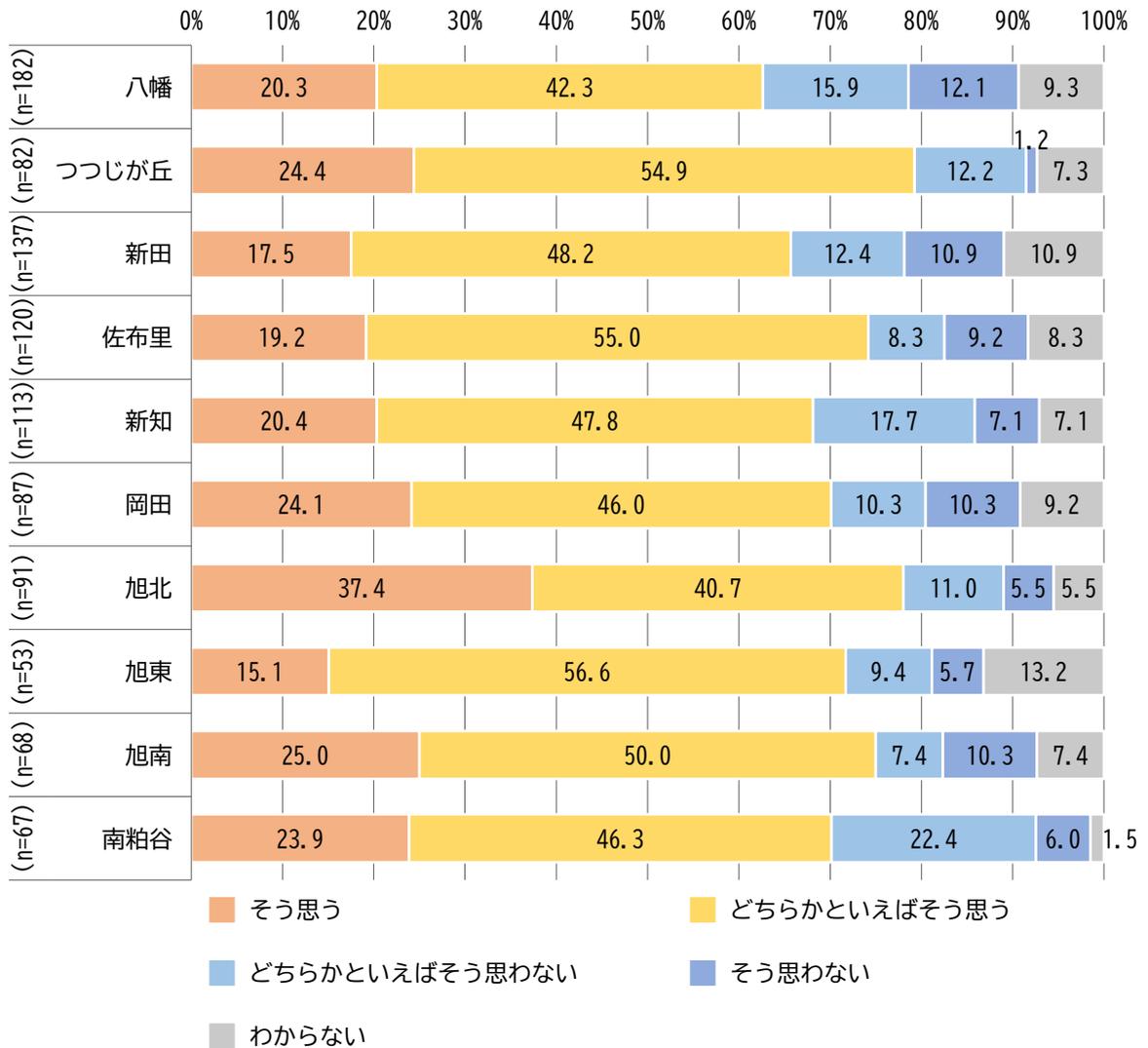
10歳代で愛着がある人が約8割である一方、20～40歳代では約6割であり、他の年代より少ない。



■居住区別クロス集計結果(③知多市に愛着がある)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

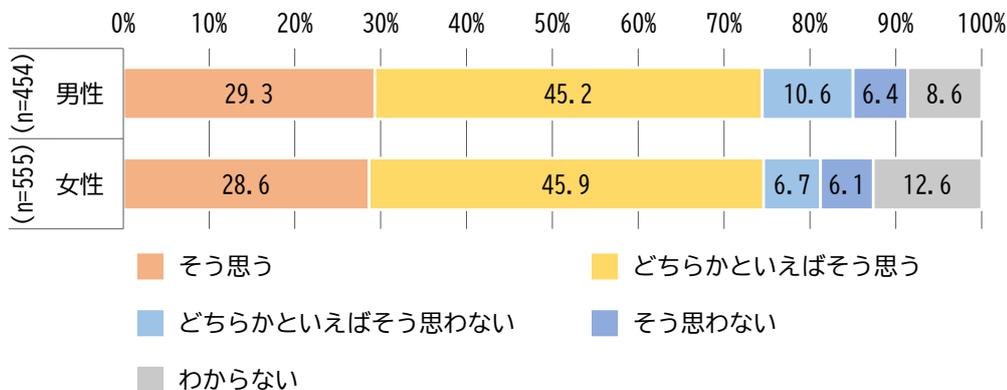
つつじが丘と旭北で愛着がある人が約8割である一方、八幡では約6割であり、他の居住区より少ない。



■性別クロス集計結果(④知多市でこれからも暮らし続けたい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、男女ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

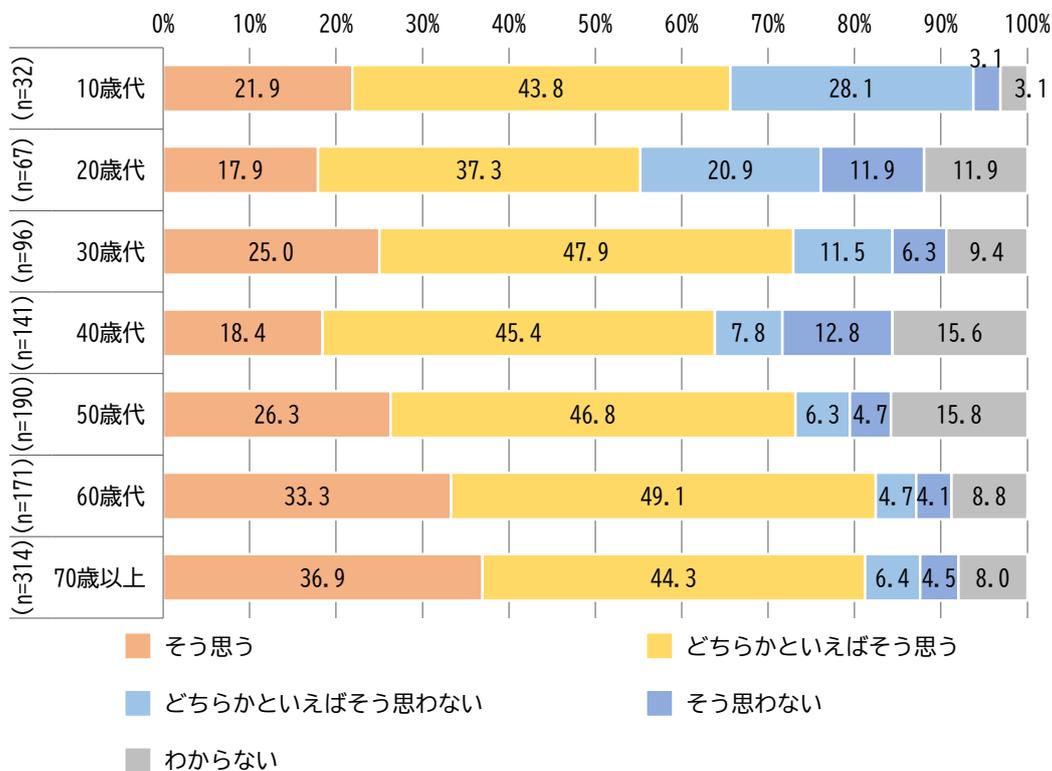
男女とも暮らし続けたい人が約7割であり、男女で大きな差はない。



■年齢別クロス集計結果(④知多市でこれからも暮らし続けたい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての年代で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

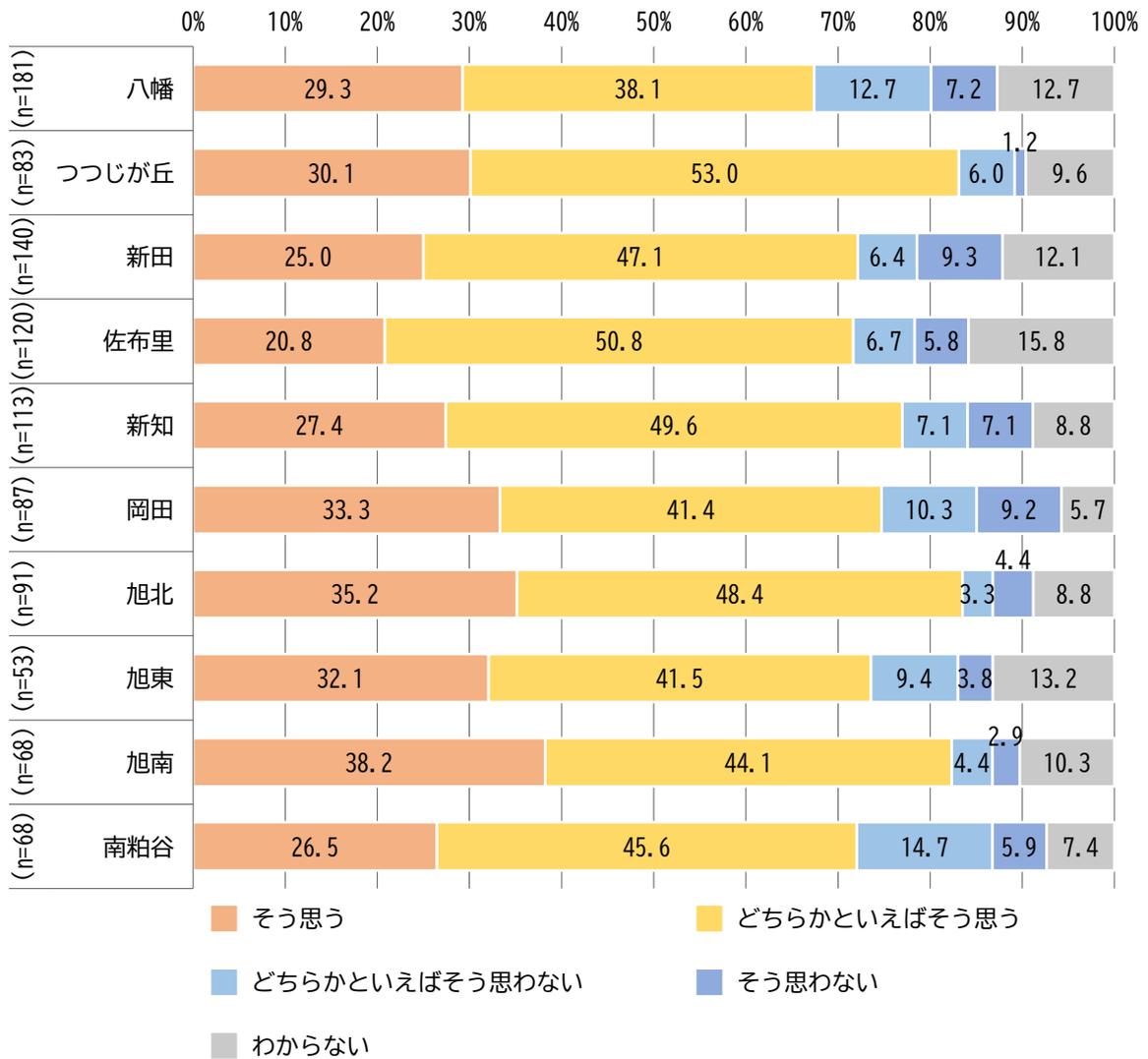
暮らし続けたいと思う人が20歳代と40歳代では約6割であり、他の年代より少ない。



■居住区別クロス集計結果(④知多市でこれからも暮らし続けたい)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計の差に着目すると、全ての居住区で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が上回っている。

つつじが丘と旭北、旭南で暮らし続けたいと思う人が8割を超える一方、八幡は7割を下回り、他の居住区より少ない。



問20. 知多市について感じていること (FA)

主な意見

子育てしやすい地域づくり 45件

切れ目のない子育て支援 35件

意見	件数
子育て支援に力を入れてほしい。	19
雨の日でも子どもが遊べる施設がない。	8
高校生までの医療費助成をしてほしい。	4
東海市や大府市の子育て支援の方が魅力的。	2
ベビーカーなどで気軽に出かけられるようになるといい。	1
私の子育て中は今の子育てをしている方たちより支援がなかった。今の方たちは幸せだと思う。	1

幼児教育・保育の充実 5件

意見	件数
こども園、保育園の受け入れ人数を増やしてほしい。	2
子どもの預け先が足りないため、仕事ができない。	2
保育園が汚い。	1

放課後の子どもの居場所づくり 4件

意見	件数
放課後児童クラブを充実させてほしい。	3
小学校の子ども教室、学童が近隣の市に比べて高すぎる。	1

障がい児支援 1件

意見	件数
児童発達支援通所受給者証の更新の手続きについて、毎年ほぼ同じ内容を記入しなければいけないのが非常に手間であり改善を求める。ペーパーレス化するか記入書類のフォーマットを見直してわかりやすくする等してほしい。	1

次代の担い手を育む教育環境づくり 16件

教育力の向上 5件

意見	件数
子どもにも教員にも、教育へお金をかけてほしい。	3
Eラーニング等を活用し、教育する機会を作るべきだと思う。	1
知多市の中学校は知多半島内でもレベルが低いとされている中、変化を求めず教員や校則など古い体質のままでは、子育てしやすいとも言えない。	1

教育環境の整備 10件

意見	件数
若者が集まるような学べる学校等があるとよい。	4
学校内施設のエアコンの整備をしてほしい。	2
学校の先生の人数が少なく、問題への対応が遅れてしまう感がある。	2
生徒数の格差により、小学校がなくなってしまうのでは。	1
子どもにタブレットを支給するのはいいが、学校に持っていく教科書類が重すぎる。タブレットに資料集を入れるなど、工夫が欲しい。	1

特別な支援を要する児童・生徒への学習支援 1件

意見	件数
フリースクールが1ヶ所しかない。公民館などの身近な場所にあると、もっと利用しやすい。不登校だからこそタブレットを利用して学校とのつながりを作ってほしい。	1

市民協働によるまちづくり 18件

市民協働の推進 1件

意見	件数
コミュニティ活動の活性化をはかるため、南粕谷のデイサービス跡地を活用しコミュニティセンターとするのはどうか。	1

地域活動の支援 17件

意見	件数
コミュニティに入るのが自由になっていて、実際入ってもやめる方が増えている。コミュニティの形を変えていったほうが良いと思う。	5
町内会をやめる家がある。活動量が多すぎないか。	5
高齢化が進み自治会が機能不全になるのが迫ってきている。	3
コロナ禍などがあって、転入してからご近所や地域全体に慣れていないのが、残念。	2
町内会で外灯やゴミの費用を賄っているのに、後から引っ越してきた家族が町内会に入らない事が増え、会費を払っている人の負担が増えている事に不満がある。	1
近所の方も顔見知りの方が多く、町内会や長寿会の活動も活発で、できるだけ参加しようと思っている。	1

学びを楽しむまちづくり 9件

生涯学習機会の充実 1件

意見	件数
ちた塾という市民講座であらゆる教育を行っていることをありがたく思う。	1

学びの場の創出 6件

意見	件数
文教施設(図書館や美術館)を充実させてほしい。	4
図書館が遠く、利用しづらい。	2

伝統文化の継承 2件

意見	件数
日本の伝統文化を伝承する活動・行事がほとんど無い。	1
知多木綿の取組は素晴らしい。機織を守り育てる長年の取組のおかげで貴重な人材が豊富だと思う。ぜひ続けてほしい。	1

多様性を認め合うまちづくり 2件

男女共同参画の推進 1件

意見	件数
男女共同参画センターは家庭だけではなく、企業にも冊子を配ったらどうか。男性の育休取得を推進してほしい。男女共同参画は育児だけを男女平等に目指すことではない。起業する女性の支援や女性が政治に参加しやすくなるように男性の意識改革も必要。育児だけに留まらないでほしい。いろんな企業を巻き込みながら、市民一人一人が活発に動けるように継続的に活動してほしい。	1

多文化共生の推進 1件

意見	件数
外国人よりも、まず日本人に対してより良い暮らしを考えてほしい。	1

共に支え合う地域づくり 17件

地域福祉活動の推進 1件

意見	件数
コロナ禍や持病もあり、独りが淋しく感じる日々。気を使わない交流の場所を探している。	1

障がいのある人への自立支援 3件

意見	件数
障害者に優しくない。	1
障害者に対して名鉄利用無料パスが欲しい。介助者がいれば50%割引になるが単独移動では使用できない。	1
A型就労支援事業所がない。	1

高齢者の生活支援 11件

意見	件数
買物できない高齢者のための対策を早急に検討してほしい。	3
これから高齢化がますます進む事から、福祉の充実をお願いしたい。	3
高齢者のみ2人暮らしのため、見守りをお願いしたい。	3
高齢者となり、医療機関やショッピングに車が使えなくなる不安がある。	1
知多市高齢者相談支援センターが分かりづらく、支援センターの中も、相談室やトイレが遠く、高齢の母には移動が大変。	1

高齢者の社会参加の支援 2件

意見	件数
少ない年金、生活の維持等のため老後の生活に不安を感じている。生きがい、やりがい、楽しみが見えない。	1
老人福祉センターなどの無料講座について、せっかく始めても次の年は抽選で落ちて受講できないことがある。	1

一人ひとりに応じた支援を受けることができる体制づくり 3件

困難を抱えた子どもや家庭への支援 1件

意見	件数
周りに不登校の児童が目立つ。いじめ等、理由は様々だが、学校に通えないため、十分な教育、教養が身についておらず、今後高校生～社会人へと生活していけるのか不安に思っている。スクールカウンセラーと子どもが接する機会をもう少し増やしてあげてほしい。こういった子達が、義務教育過程と同様の教育が受けられる施設を地元で設けてほしい。	1

福祉医療制度の適正な運営 2件

意見	件数
福祉の対応が不十分。	1
高額医療制度を活用しているが、常滑市のように不妊治療の補助金が欲しい。	1

暮らしを支える地域公共交通ネットワークづくり 81件

地域公共交通ネットワークの構築 80件

意見	件数
バスの本数を増やしてほしい。	24
交通の便が悪い。	20
路線バスの接続、周回範囲(エリア)を拡大してほしい。	16
免許証を返納しても行動しやすい町にしてほしい。	14
タクシーが少なく予約を取ることも難しい。	5
産業道路のおかげでどこに行くにも便利な場所である。	1

地域公共交通の利用促進 1件

意見	件数
バスがどこを走っているのか全くわからないので、利用しづらい。	1

災害に強く、安全に暮らすことができるまちづくり 136件

地域の防災・減災力の向上 19件

意見	件数
地震・津波対策など、災害に備えた情報を周知してほしい。	10
朝倉駅前への市役所移転は反対。埋立地ではなく、もっと内陸へ移転したほうが良い。	8
家の近くの橋の下にある川の管理が不十分だと思う。川沿いに家が沢山建っているのに塀などがなく、災害が起きた時の事を考えると不安。	1

地域の防犯力の向上 13件

意見	件数
不審者対策として、街灯を増やし、防犯カメラを設置してほしい。	12
朝倉周辺をよく走っているバイクを取り締まってほしい。	1

交通安全対策 46件

意見	件数
道路の路肩の草刈ができておらず、自転車通学の子どもが危険だと感じている。	15
道路の道幅が狭い。拡幅してほしい。	14
道路が傷んでいる箇所がある。白線が消えて見づらい。カーブミラーを設置してほしい。	9
新舞子駅前の送迎自家用車の渋滞がひどい時がある。	3
西知多産業道路での速度違反・あおり運転等の取締り強化をして欲しい。	1
自転車のマナーが悪い。(歩行者に対する配慮がなくスピードを出して走り去る)	1
歩行者などが安心して道路を歩けるよう歩道があるとありがたい。	1
付近の市営施設の利用者の交通マナーが悪く、かつゴミがとても多い。	1
路上駐車が多すぎる。	1

環境政策 58件

意見	件数
ゴミ袋が高い。無料で配布してほしい。	14
鉄粉が多く、空気が悪い。野焼きによる煙や、酪農による臭いを対策してほしい。	10
歩道や河川・池回りの草刈をしてほしい。	6
ゴミ置き場が少ない。ゴミの回収の時間が遅い。	5
森林が消えてきていることに危機感を覚える。	4
ゴミ袋の10ℓ、さらに小さいサイズを作してほしい。	4
プラごみをごみ捨て場に出せるようになって嬉しい。	2
ゴミへの取り組みが他市町村に比べ遅れていると思う。	2
年1回の浄化槽のくみとり代が他市と比べて高い。	1
竹の管理がボランティアに頼り切っているように感じる。ボランティアの人が高齢化しているが、今後どのように竹林を綺麗に保つのか知りたい。林業で働く人の就業支援も視野に入れた方が良いのではないだろうか。	1
ソーラーカーポートなどを導入して、震災時に電気を使えるようにしてほしい。余った電気を電力会社に売れば、財源確保にも繋がると考える。EV バスの充電スタンドでも作った電気で賄えたらいい。	1
太陽光パネルや、ゴミを減らす為の乾燥機の補助金について、広報に載せてほしい。	1
東海市のように資源と家庭ゴミの収集カレンダーがあると分かりやすい。不燃物の日に何を捨てていいのかわからない。	1
公害対策について近隣市からの言いなりにならないように、頑張る市になることが必要。	1
ゴミ拾いだけでなく、草取りも重点とするよう、クリーンキャンペーンの内容を変える。	1
年に数回でいいので、ゴミ収集の場所で粗大ゴミを無料で回収してほしい。	1
最近、ヤードのように鋼板で囲ったスクラップ業者が増え、街の景観を害していることに懸念を覚えている。	1
新しく作っている西知多道路の防音対策をしてほしい。	1
上水道の水質は、多少悪くなっているように思う。	1

生涯を通じた健康づくり 22件

地域での健康づくり 1件

意見	件数
無農薬野菜など体によい食材などを扱ったお店があると助かる。	1

健康増進施設を活用した健康づくり 3件

意見	件数
健康増進を進めるのであれば、利用しやすい料金にして欲しい。	2
シャワーを完備していないジムに変わって不便になった。	1

安心して受診できる地域医療体制 9件

意見	件数
知多市民病院の廃止により不便になった。	6
病院が少ないので、もっと増やしてほしい。	2
HPV ワクチンを同世代の男性にも助成拡大すること。	1

スポーツを楽しむ機会の提供 1件

意見	件数
草野球チームなど性別年齢問わず誰でも気軽に参加できるスポーツクラブなど企画してほしい。	1

スポーツ施設の充実 8件

意見	件数
幅広い世代の市民が、自由に使うことのできる、室内運動場やウォーキングコースがほしい。	5
防災、健康保持の観点からグラウンドが使えなくなったことは非常に不安。	1
つつじが丘グラウンドについて、少年野球に対し無料にすべき。	1
知多市の体育館の高齢のための運動施設について、低価格で再開してほしい。	1

にぎわいの拠点づくり 118件

朝倉駅周辺整備事業によるにぎわいの創出 25件

意見	件数
朝倉駅周辺の開発をぜひ進めてほしい。活気ある場所にしてほしい。	21
市役所移転先は朝倉駅前ではなく、市内僻地で再検討した方がいい。(僻地の再開発につながる)	1
新舞子駅や、朝倉駅など、特急のとまる駅のすぐそばに、机と椅子のあるスペースの設置を検討してほしい。	1
駅前の工事にもっとスピード感がほしい。	1
朝倉駅前の開発に税金を投入する必要性を感じない。	1

コンパクト・プラス・ネットワークの推進 27件

意見	件数
渋滞が多くて移動が不便。	9
市の東西南北へ抜ける幹線道路がない。メインの道路を決めて2車線化をして欲しい。	3
東部地区(新田区)の北東に当たる名鉄河和線と交差する道路についてICのようにして、混雑を防ぐ、もしくは緩和するプランについて知りたい。	1
朝倉駅の駐輪場が足りない。朝倉駅にスーパーを作るより、道の駅を作してほしい。	1
市の東部地区に対して行政の関心が薄いように感じられる。車に乗らなくなったら、この町に住むのは不可能。	1
主要道路の整備と公共施設への利便性を求める。	1
中心街が見当たらず、仮にある地域が栄えていたとしても交通の便が悪いので出向き難い。公共交通機関と私有車が複合的に使える街であると良い。	1
西三河へのアクセスが良くなる構想を楽しみにしている。	1

新規の道路整備をしてほしい。	1
知多産業道路の拡張工事と長浦インターから新道路のルートや工事の進捗状況が全く情報として得られないのがすごく不満。スケジュールをオープンに開示して欲しい。	1
東海知多線で東海市と知多市の接続部で知多市側が片側1車線となっているのは何故か。知多東浦線で名鉄河和線の跨線橋工事が遅々として進まないのは何故か。	1
ソフトバンク知多(長曾橋西)の交差点について、歩行者と車の信号を分けた方がスムーズに行けると思う。	1
産業道路のインターに早く信号を設置してお年寄りでも乗り降りしやすくしてくれないと将来産業道路で運転出来なくなりそうで不安。	1
知多、産業道路を早く完成させてほしい。	1
突きあたりの道路が多すぎるため延伸による解消や、道路の幅員の整備を進める必要がある。	1
岩之田交差点に右折ラインを作してほしい。	1
名鉄寺本駅周辺の高架化をしてほしい。	1

商工業の振興 66件

意見	件数
飲食店やスーパーが少なく、不便である。価格競争が起こらず、高い。	32
新舞子駅周辺を盛り上げて欲しい。駅周辺に何も無い。定期開催イベントを行い、通勤・通学以外の人を増やし、活気を出して欲しい。	7
難しいとは思いますが人が集まるようなショッピングモールがあってもよいと思う。	6
スーパーは多いが、衣料品の店が少ない。市外へ買いに行くしかない。	4
スーパーが増えてきて良いと思っている。	4
大型書店が少ないと感じる。	3
知多市は田畑が多く新鮮な野菜がたくさんありそうなので、道の駅やJAのような地元野菜が買える広くて大きなお店ができるといいと思う。	3
駅周辺をもっと商業施設を増して活発にしてほしい。	2
集客店舗が無い。(朝倉駅近くに期待)	1
隣接の市町に比べて活気がない。	1
知多もめん等、素敵だと思うが、知多市といえばコレというものが弱い気がする。	1
喫茶店を誘致してほしい。	1
安いお店や行きやすいお店など、知多市にどんなお店があるのか教えて欲しい。	1

新たなしごとの場づくり 8件

商工業用地の創出 2件

意見	件数
もっと色々な企業へ誘致をして欲しい。	2

雇用・就労の促進 6件

意見	件数
市内で働く場所が増えてほしい。	3
子ども達が知多市に残って、住みやすく、働きやすい市になっていくことがこれからの課題。	1
工場を作るのは良いが、周辺の環境整備、社宅・寮も整備すれば人が集まると思う。	1
仕事として緑化活動する人について、非正規ではなく正規雇用をしてほしい。市役所の人も含め長期的に働ける人を募集すべき。	1

緑と花に包まれた住環境づくり 25件

新たな市街地の整備 5件

意見	件数
都市計画に全く前向きではない。	1
人口減少を止めるため、農地を宅地にして、住居を増やすことが必要。	1
名鉄巽が丘駅を開発してほしい。	1
新舞子保育園から東側、南側は、市街化区域へ編入すべき。	1
同じ知多市なのに、海沿いと内陸部の整備に差が大きいと思う。	1

花いっぱい運動の推進 1件

意見	件数
開発が進むと同時に緑も増やしてほしい。	1

公園整備と適正管理 15件

意見	件数
子どもが遊べる公園や施設が少ない。	7
公園の遊具が古い。	3
公園に、時計塔がなく、子どもが遊びに行くと困る。	1
自宅近くの公園でのボール遊びで車や家の鉢植えにぶつけられる。	1
信濃川がもう少しきれいになれば、佐布里パークロードの魅力もアップすると思う。	1
パークロードや公園の草木の管理・手入れをきちんとしてほしい。	1
佐布里パークロード南端(池側)にトイレを設けて欲しい。	1

公園・緑地の活用 3件

意見	件数
自然が綺麗。	1
新舞子マリンパークでのイベントを増やして若者も楽しめるようなイベントを企画してほしい。	1
マリンパークの駐車場が、1回500円というのがとても行きにくいです。	1

空家対策 1件

意見	件数
今ある家を手放すときに、その家を利活用できる制度(リフォーム補助など)があると、若者が安価に中古住宅を購入し、地域が循環していくと思う。	1

観光に活かすことができる魅力づくり 20件

観光資源の発掘、磨き上げ 20件

意見	件数
全国ランキングで紹介されるようなイベントや観光の目玉があるといい。	16
名物品がない。	3
観光地の行き来が不便。新舞子、岡田、佐布里など私有車でしか巡れない。	1

行財政運営に関するもの 81件

行政サービスについて 28件

意見	件数
他市に比べ子育てに関する事やいろいろなサービスが遅いと思う。	10
行政に気軽に相談できる仕組みを作って欲しい。	3
ITが進み、老人がパソコンやタブレットを使えず困っています。行政としてIT弱者をカバーする策を講じてほしい。	3
今は各支所がなくなって本庁まで行くのが大変。市役所へ出向くのが、遠くて時間がかかる。	2
知多市プレミアム付商品券を2024年も開催してほしい。	2
プレミアム商品券だけでなく、キャッシュレス決済の還元など「お得」と感じる施策の実施を期待する。	2
デジタル化を推進してほしい。	1
上下水道とその関連施設の耐震化など、生活基盤を支える仕事を、少しずつでいいので、着実に進めていってほしい。	1
土、日曜日にも利用できると便利だと思う。	1
介護・認定の審査の早急性を高める。	1
物価高騰のため、低所得者、年金生活者の方に対して手厚く対応してもらえたら良いと思う。	1
税金等の支払いについて、カード支払いできるようにしてほしい。	1

広報について 14件

意見	件数
防災無線が聞き取りにくい。	10
広報ちたのやさしい日本語版や英語版があった方が、情報のバリアフリーが進むと思う。	1
広報で色々知ることができ、助かっている。	1
「広報ちた」でタテ書きとヨコ書きが混在して分かりにくい。ヨコ書きに統一してみたらどうか。	1
施設ガイドマップは良いと感じた。	1

財政運営について 12件

意見	件数
税金が高い。	8
高額なゴミ袋有料化など、予算の使途の透明性を高めてほしい。	2
支出を減らす施策に市の総意を注力してほしい。	2

職員について 13件

意見	件数
丁寧、親切に対応してもらえる。	5
親身に相談にのってもらえない。	3
無駄なやり取りが多すぎる。もっと効率的に業務を遂行して欲しい。課が異なると教えてもらえない。	2
市役所の人員を減らした方がいい。	2
職場全体が暗くて活気がない。	1

市長について 2件

意見	件数
市長が他市に比べて高齢。電子化等についていけているのか不安。	2

議員について 4件

意見	件数
もっと謙虚になって市民により添ってほしい。	2
市議は以前に比べ若返り、いい兆候だと思う。	1
議員の人数が多い。	1

行財政その他 8件

意見	件数
公共施設の充実を期待したい。	4
よく分からない。	3
「字」表記をなくし「丁目」にして欲しい。	1

まちづくり全般に関するもの 58件

意見	件数
暮らしやすい。	11
他市と比較してしまうため、様々な面で遅れないようにしてほしい。	9
「ちょうどいいまち」から「すごくいいまち」になって行って欲しい。	6
緑の多い所が好き。	6
合併して効率化を図ってほしい。	6
活気ある町になればいいと思う。	5

何かと不便。	4
人口減少に歯止めをかける必要がある。	2
知多市のランドマークがない。	2
知多市民の憩いの場は必要だと思うが、観光に力を入れる必要性は分からない。	1
今以上により良い市になって欲しい。愛される町になって欲しい。	1
他の市町村からも出向いて、市の収益になったらいいと思う。	1
名古屋のベッタウン化を見据えた町づくりと、工業地帯と住みやすい町の両立が必要。	1
市が大きいので、渋滞せずに近隣市に行くことができる。	1
規模の大きいスーパーがいずれ撤退するかもしれず、撤退した場合のまちづくりのビジョンが必要。	1
新舞子の花火大会や、佐布里の梅まつりなど、いつも参加しており、素敵な行事だと思っている。	1

アンケート実施に関するもの 5件

意見	件数
知多市の現状把握のアンケートであって「未来を考える」項目が少ない。	2
アンケートの結果を公表してほしい。	1
手書きのアンケートはナンセンス。	1
アンケートを業務委託ではなく、市役所内でやるべき。	1

その他 7件

意見	件数
市民のために尽力下さっている全ての人々に感謝している。	1
知多市で約1年間快適に暮らすことができた。	1
県外出身なので、地元出身の方との距離を長い間感じていた。今もそう思える時がある。	1
火葬場の前にある動物慰霊碑について、きちんとした物を作って欲しい。	1
新しく出来る新市役所と朝倉駅ホームとの渡り廊下があると、雨天時に便利だと思う。	1
興味のある分野の情報を提供してほしい。繋いでほしい。	1
最近、工事が多く、工事マナーが悪い。	1

3 参考資料【調査票】

第6次知多市総合計画の中間評価に係る 知多市の未来を考える市民アンケート 調査票

■ご回答にあたってのお願い

- ・ ご回答は、宛名のご本人にお願いします。ご記入は、ご家族やご友人の方などに代筆していただいても構いません。
- ・ 記入は黒の消えないボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- ・ 選択形式の設問では、該当する項目の番号に○印をつけてください。特に記載のない場合は、該当する項目を1つだけ選んでください。
- ・ 「その他」を選択した場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- ・ 令和6（2024）年6月1日現在の状況を回答してください。

回答者ご自身やご家族に関することについてお聞きします。

問1

あなたの性別について回答してください。

※性別は戸籍上の区分にとらわれず、ご自身の主観により回答してください。

- | | |
|------|----------|
| 1 男性 | 3 その他() |
| 2 女性 | 4 回答しない |

問2

あなたの年齢について回答してください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 10歳代 | 5 50歳代 |
| 2 20歳代 | 6 60歳代 |
| 3 30歳代 | 7 70歳以上 |
| 4 40歳代 | |

問3

現在の主な職業の就業形態（産休・育休取得中の方は、取得前のもの）について回答してください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 正規の従業員・職員 | 5 学生 |
| 2 非正規の従業員・職員（扶養範囲内） | 6 就業・就学していない |
| 3 非正規の従業員・職員（2以外の方） | 7 その他 |
| 4 自営業者・経営者 | （具体的に) |

問4

配偶者（事実婚を含む）の有無について回答してください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 配偶者あり | 3 配偶者なし（離別・死別） |
| 2 配偶者なし（未婚） | |

問5 家族構成について回答してください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 単身世帯 | 4 三世代世帯（親と子と孫） |
| 2 一世代世帯（夫婦だけ） | 5 その他 |
| 3 二世代世帯（親と子） | （具体的に) |

問6 同居のご家族に、次の方はいますか（ご自身を除く）。
※あてはまるものを全て選択してください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 乳幼児（未就学児） | 4 65～74歳の方 |
| 2 小学生・中学生 | 5 75歳以上の方 |
| 3 高校生以上の学生 | |

問7 住まいの地区（小学校区）について回答してください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 八幡 | 6 岡田 |
| 2 つつじが丘 | 7 旭北 |
| 3 新田 | 8 旭東 |
| 4 佐布里 | 9 旭南 |
| 5 新知 | 10 南粕谷 |

※住まいの地区がわからない場合は、住まいの町名（大字・小字）をご記入ください。

町名（)

問8 あなたがはじめて知多市に居住した時期について回答してください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 1969（昭和44）年以前 | 5 2000（平成12）年～2009（平成21）年 |
| 2 1970（昭和45）年～1979（昭和54）年 | 6 2010（平成22）年～2019（令和元）年 |
| 3 1980（昭和55）年～1989（平成元）年 | 7 2020（令和2）年以降 |
| 4 1990（平成2）年～1999（平成11）年 | 8 わからない |

あなたの日常生活の行動についてお聞きします。

問9

次の①から⑧について、あなたの日常生活の行動に最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

		している	まあしている	あまりしていない	していない
①	日頃から家庭で地震や風水害などへの備えをしている	1	2	3	4
②	省エネなど、環境にやさしい取組を実践している	1	2	3	4
③	ごみ減量、リサイクルを実践している	1	2	3	4
④	健康診査やがん検診を定期的に受けている	1	2	3	4
⑤	健康づくりのために意識的に身体を動かしている	1	2	3	4
⑥	サークル活動や習いごとなど、文化活動・生涯学習活動に取り組んでいる	1	2	3	4
⑦	地域活動やボランティア活動に参加している	1	2	3	4
⑧	夢や目標、新しいことに向かってチャレンジしている	1	2	3	4

問10

あなたは仕事と仕事以外の時間とのバランス（ワーク・ライフ・バランス）がとれていますか。 ※最も近いものを選んでください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1 とれている | 4 とれていない |
| 2 どちらかといえばとれている | 5 仕事をしていない |
| 3 どちらかといえばとれていない | |

問11

あなたは週にどのくらい、運動やスポーツに取り組んでいますか。
※散歩や体操などの簡単な運動を含みます。

- | | |
|---------|------------|
| 1 5回以上 | 3 1回 |
| 2 2回～4回 | 4 取り組んでいない |

本市の取組や状況に対するあなたの考えについてお聞きします。

問12

次の①から⑲について、本市の取組や状況に対し、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
①	行政や地域の防災対策により、安心して暮らしている	1	2	3	4	5
②	地域の防犯体制が充実し、治安がよい	1	2	3	4	5
③	地域交通（バスなど）により、市内の移動が便利である	1	2	3	4	5
④	ポイ捨てのないきれいなまちである	1	2	3	4	5
⑤	消防・救急体制が充実している	1	2	3	4	5
⑥	普段の生活のなかで助け合える地域になっている	1	2	3	4	5
⑦	身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動がある	1	2	3	4	5
⑧	障がい者サービスが整っている	1	2	3	4	5
⑨	高齢者がいきがいを持ち、安心して暮らしている	1	2	3	4	5
⑩	子どもが地域や家庭で安心して育てられている	1	2	3	4	5
⑪	医療体制が充実し、適切な医療が受けられている	1	2	3	4	5
⑫	企業や商店に活力がある	1	2	3	4	5
⑬	買物や外食で利用したい店がある	1	2	3	4	5
⑭	観光として魅力ある場所やイベントがある	1	2	3	4	5
⑮	佐布里、岡田、新舞子が観光地として知られている	1	2	3	4	5
⑯	駅周辺が機能的で利用しやすい	1	2	3	4	5
⑰	道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されている	1	2	3	4	5
⑱	道路が安全で渋滞なく利用しやすい	1	2	3	4	5
⑲	自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足している	1	2	3	4	5

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
⑳	児童生徒が適切な環境のもとで学習している	1	2	3	4	5
㉑	青少年が地域の行事やボランティア活動に参加している	1	2	3	4	5
㉒	コミュニティ、町内会、自治会などの地域活動が活発に行われている	1	2	3	4	5
㉓	性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、誰もが暮らしやすいまちになっている	1	2	3	4	5
㉔	外国人が暮らしやすいまちになっている	1	2	3	4	5
㉕	「広報ちた」がわかりやすい	1	2	3	4	5
㉖	市役所の相談体制が充実し、相談しやすい	1	2	3	4	5
㉗	行政サービスや手続きが便利である	1	2	3	4	5
㉘	市役所の職員の対応がよい	1	2	3	4	5
㉙	市役所のデジタル化が進んでいる	1	2	3	4	5

あなたが本市のデジタル化に対して感じていることについてお聞きします。

問13

あなたは普段どのような情報通信機器でインターネットを利用していますか。
※あてはまるものを全て選択してください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 スマートフォン | 6 携帯電話（スマートフォン除く） |
| 2 パソコン | 7 その他 |
| 3 タブレット端末 | （具体的に |
| 4 インターネット機能付きテレビ | 8 1～7のいずれも利用していない |
| 5 家庭用ゲーム機 | |

問14

あなたは普段インターネットをどのようなことに利用していますか。
※あてはまるものを全て選択してください。

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1 情報収集・ウェブサイトの閲覧 | 6 PayPay や LINE Pay などの
QR コード決済 |
| 2 電子メール等の送受信 | 7 公共施設の予約や行政への電子申請 |
| 3 LINE、X（旧 Twitter）などの
SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス） | 8 1～7のいずれも利用していない |
| 4 商品やサービスの購入のため | 9 その他 |
| 5 インターネットバンキング | （具体的に |

問15

あなたは知多市が発信する情報をどのような媒体から知ることが多いですか。
※あてはまるものを全て選択してください。

- | | |
|---|-----------------|
| 1 広報ちた | 6 テレビ |
| 2 自治会の回覧板 | 7 その他 |
| 3 市ホームページ | (具体的に) |
| 4 市公式 LINE、X (旧 Twitter) などの
SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) | 8 わからない・知ることがない |
| 5 新聞記事 | |

問16

あなたが行政サービスを利用したい場合、どのように調べますか。
※あてはまるものを全て選択してください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 市ホームページを検索する | 6 友人・知人に尋ねる |
| 2 市公式 LINE から質問する | 7 その他 |
| 3 市役所に電話する | (具体的に) |
| 4 市ホームページのフォームで問合せする | 8 わからない・調べることがない |
| 5 市役所の窓口を訪ねる | |

問17

あなたは今後、行政サービスのデジタル化が進む中で、どのようなサービスに期待していますか。 ※最もあてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 市役所などに行かなくても、パソコンやスマートフォンで各種行政手続きができる
- 2 AI に質問すると行政サービスを分かりやすく案内してもらえる
- 3 窓口で申請書などの書類に書く内容が減る
- 4 自分に必要な情報が市から自動でスマートフォンに届く
- 5 顔を検知できる AI カメラなどを活用した、犯罪の抑止やこども・高齢者の見守り
- 6 エコな暮らしのため、エネルギーの使用量や CO₂の関連データが可視化される
- 7 高齢者向けのスマートフォン貸出や使い方の講座実施、相談窓口の開設
- 8 行政が保有するデータ (オープンデータなど) を加工・利用できる
- 9 その他 ()
- 10 わからない・期待していない

問18

あなたが現在の行政サービスに対して不満に思っていることはありますか。
※最もあてはまるものを3つまで選択してください。

- | | |
|------------------|---------|
| 1 土日祝日・夜間はやっていない | 7 その他 |
| 2 待ち時間が長い | (具体的に) |
| 3 市役所が遠い | 8 不満はない |
| 4 身体的な理由から行けない | |
| 5 電話が繋がらない | |
| 6 紙の書類に書くのが面倒 | |

「知多市」全般についてお聞きします。

問19 次の①から④について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
①	知多市は暮らしやすい	1	2	3	4	5
②	知多市は子育てしやすい	1	2	3	4	5
③	知多市に愛着がある	1	2	3	4	5
④	知多市でこれからも暮らし続けたい	1	2	3	4	5

問20 知多市について感じていることなど、ご自由にお書きください。

ご協力、ありがとうございました。

記入していただいたアンケートは、7月17日（水）までに投函してください。



梅香る わたしたちの緑園都市

知多市の未来を考える市民アンケート調査

調査結果報告書

令和7年3月

知多市企画部企画情報課

〒478-8601 知多市緑町1番地

電話 0562-36-2639 (直通) FAX 0562-32-1010

URL <https://www.city.chita.lg.jp>

E-mail kikaku@city.chita.lg.jp